

第五十回 貴族院議事速記録第十八號

大正十四年三月四日(水曜日)

午前十時九分開議

議事日程 第十八號 大正十四年三月四日

午前十時開議

一 衆議院議員選舉法改正法律案(政府提出 衆議院送付)

第一讀會

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

〔小林書記官朗讀〕

一昨二日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

預金部預金法案

大藏省預金部特別會計法案

臨時國庫證券收入金特別會計法廢止法律案

遠洋漁業獎勵法中改正法律案

同日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日之ヲ衆議院ニ送付セリ

明治三十二年法律第七十號中改正法律案

明治四十一年法律第五十二號中改正法律案

明治四十四年法律第五十一號中改正法律案

大正十年法律第二十五號中改正法律案

同日本院ニ於テ採擇スヘキモノト議決シタル龍田郵便局ニ集配事務開始ノ請願外十五件ノ請願ハ各意見書ヲ附シ即日之ヲ政府ニ送付セリ

同日請願委員長ヨリ子爵會我祐邦君ヲ第二分科擔當委員ニ選定シタル旨ノ報告書ヲ提出セリ

同日衆議院ヨリ左ノ政府提出案ヲ受領セリ

衆議院議員選舉法改正法律案

昨三日特別委員長ヨリ左ノ報告書ヲ提出セリ

裁判所構成法中改正法律案可決報告書

同日衆議院ヨリ左ノ議案ヲ提出セリ

齒科醫師法中改正法律案

議院法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

鐵道敷設法中改正法律案

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ本日ノ會議ヲ開キマス、日程第一、衆議院議員選舉法改正法律案、政府提出、衆議院送付、第一讀會、内閣總理大臣加藤子爵

衆議院議員選舉法改正法律案

右政府提出案本院ニ於テ修正議決セリ因テ議院法第五十四條ニ依リ及送付候也

大正十四年三月二日

貴族院議長公爵德川家達殿

衆議院議長 粕谷義三

(小字ハ衆議院ノ修正文、ハ同削除ノ符號ナリ)

衆議院議員選舉法

第一章 選舉ニ關スル區域

第一條 衆議院議員ハ各選舉區ニ於テ之ヲ選舉ス

選舉區及各選舉區ニ於テ選舉スヘキ議員ノ數ハ別表ヲ以テ之ヲ定ム

第二條 投票區ハ市町村ノ區域ニ依ル

地方長官特別ノ事情アリト認ムルトキハ市町村ノ區域ヲ分チテ數投票區ヲ設ケ又ハ數町村ノ區域ヲ合セテ一投票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ投票區ヲ設ケタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ規定ニ依リ設クル投票區ノ投票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三條 開票區ハ郡市ノ區域ニ依ル

地方長官特別ノ事情アリト認ムルトキハ郡市ノ區域ヲ分チテ數開票區ヲ設クルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ開票區ヲ設ケタルトキハ地方長官ハ直ニ之ヲ告示スヘシ

第二項ノ規定ニ依リ設クル開票區ノ開票ニ關シ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四條 行政區畫ノ變更ニ因リ選舉區ニ異動ヲ生スルモ現任議員ハ其ノ職ヲ失フコトナシ

第二章 選舉權及被選舉權

第五條 帝國臣民タル男子ニシテ年齡二十五年以上ノ者ハ選舉權ヲ有ス

帝國臣民タル男子ニシテ年齡三十年以上ノ者ハ被選舉權ヲ有ス

第六條 左ニ掲クル者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス

一 禁治產者及準禁治產者

二 破產者ニシテ復權ヲ得サル者

三 貧困ノ爲公私ノ救恤ヲ受クル者

四 一定ノ住居ヲ有セザル者

五 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者

六 刑法第二編第一章、第三章、第九章、第十六章乃至第二十一章、第二十五章又ハ第三十六章乃至第三十九章ニ掲クル罪ヲ犯シ六年未滿ノ

懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至リタル後其ノ刑期ノ二倍ニ相當スル期間ヲ經過スルニ至ル迄ノ者但シ其ノ期間五年ヨリ短キトキハ五年トス

七 六年未滿ノ禁錮ノ刑ニ處セラレ又ハ前號ニ掲クル罪以外ノ罪ヲ犯シ六年未滿ノ懲役ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第七條 華族ノ戶主ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス
陸海軍軍人ニシテ現役中ノ者(未タ入營セサル者及歸休下士官兵ヲ除ク)及戰時若ハ事變ニ際シ召集中ノ者ハ選舉權及被選舉權ヲ有セス兵籍ニ編入セラレタル學生生徒(勅令ヲ以テ定ムル者ヲ除ク)及志願ニ依リ國民軍ニ編入セラレタル者亦同シ

第八條 選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於テ被選舉權ヲ有セス

第九條 在職ノ宮内官、判事、朝鮮總督府判事、臺灣總督府法院判官、關

東廳法院判官、南洋廳判事、檢事、朝鮮總督府檢事、臺灣總督府法院檢察官、關東廳法院檢察官、南洋廳檢事、陸軍法務官、海軍法務官、行政裁判所長官、行政裁判所評定官、會計檢查官、收稅官吏及警察官吏ハ被選舉權ヲ有セス

第十條 官吏及待遇官吏ハ左ニ掲クル者ヲ除クノ外在職中議員ト相兼スルコトヲ得ス

一 國務大臣

二 內閣書記官長

三 法制局長官

四 各省政務次官

五 各省參事官

六 內閣總理大臣秘書官

七 各省秘書官

第十一條 北海道會議員及府縣會議員ハ衆議院議員ト相兼スルコトヲ得ス

第三章 選舉人名簿

第十二條 町村長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ其ノ日迄引續キ六月以上其ノ町村内ニ住居ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ選舉人名簿二本ヲ調製シ十月十五日迄ニ之ヲ郡長ニ送付スヘシ

郡長ハ町村長ヨリ送付シタル名簿ヲ調査シ其ノ修正スヘキモノハ修正ヲ加ヘ一本ハ十月三十一日迄ニ之ヲ町村長ニ返付スヘシ

市長ハ毎年九月十五日ノ現在ニ依リ其ノ日迄引續キ六月以上其ノ市内ニ住居ヲ有スル者ノ選舉資格ヲ調査シ十月三十一日迄ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

第一項又ハ前項ノ住居ニ關スル要件ヲ具備セサル選舉人ハ選舉人名簿ニ登錄セラルルコトヲ得ス

選舉人名簿ニハ選舉人ノ氏名、住居及生年月日等ヲ記載スヘシ

第一項又ハ第三項ノ住居ニ關スル期間ハ行政區畫變更ノ爲中斷セラルルコトナシ

第十三條 郡長及市町村長ハ十一月五日ヨリ十五日間郡市役所、町村役場又ハ其ノ指定シタル場所ニ於テ選舉人名簿ヲ縦覽ニ供スヘシ

郡長及市町村長ハ縦覽開始ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ縦覽ノ場所ヲ告示

スヘシ

第十四條 選舉人名簿ニ脱漏又ハ誤載アリト認ムルトキハ選舉人ハ理由書及證憑ヲ具ヘ其ノ修正ヲ郡市長ニ申立ツルコトヲ得

縦覧期限ヲ經過シタルトキハ前項ノ申立ヲ爲スコトヲ得ス

第十五條 郡市長ニ於テ前條ノ申立ヲ受ケタルトキハ其ノ理由及證憑ヲ審査シ申立ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ之ヲ決定スヘシ其ノ申立ヲ正當ナリト決定シタルトキハ直ニ選舉人名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ申立人及關係人ニ通知シ併セテ之ヲ告示スヘシ其ノ申立ヲ正當ナラスト決定シタルトキハ其ノ旨ヲ申立人ニ通知スヘシ

前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ直ニ其ノ旨ヲ關係町村長ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ町村長ハ直ニ名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第十六條 前條郡市長ノ決定ニ不服アル申立人又ハ關係人ハ郡市長ヲ被告トシ決定ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ地方裁判所ニ出訴スルコトヲ得

前項裁判所ノ判決ニ對シテハ控訴スルコトヲ得但シ大審院ニ上告スルコトヲ得

第十七條 選舉人名簿ハ十二月二十日ヲ以テ確定ス

選舉人名簿ハ次年ノ十二月十九日迄之ヲ据置クヘシ但シ確定判決ニ依リ修正スヘキモノハ郡市長ニ於テ直ニ之ヲ修正シ其ノ旨ヲ告示スヘシ

前項ノ規定ニ依リ名簿ヲ修正シタルトキハ郡長ハ直ニ其ノ旨ヲ關係町村長ニ通知スヘシ

前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ町村長ハ直ニ名簿ヲ修正シ其ノ旨ヲ告示スヘシ

天災事變其ノ他ノ事故ニ因リ必要アルトキハ更ニ選舉人名簿ヲ調製スヘシ

前項選舉人名簿ノ調製及其ノ期日、縦覧確定ニ關スル期日、期間等ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四章 選舉、投票及投票所

第十八條 總選舉ハ議員ノ任期終リタル日ノ翌日之ヲ行フヲ例トス但シ特別ノ事情アル場合ニ於テハ議員ノ任期終リタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ行フコトヲ妨ケス

議會開會中又ハ議會閉會ノ日ヨリ二十五日以内ニ議員ノ任期終ル場合ニ於テハ總選舉ハ議會閉會ノ日ヨリ二十六日以後三十日以内ニ之ヲ行フ衆議院解散ヲ命セラレタル場合ニ於テハ總選舉ハ解散ノ日ヨリ三十日以内ニ之ヲ行フ

總選舉ノ期日ハ勅命ヲ以テ之ヲ定メ少クトモ二十五日前ニ之ヲ公布ス

第十九條 選舉ハ投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第二十條 市町村長ハ投票管理者ト爲リ投票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第二十一條 投票所ハ市役所、町村役場又ハ投票管理者ノ指定シクル場所ニ之ヲ設ク

第二十二條 投票管理者ハ選舉ノ期日ヨリ少クトモ五日日前ニ投票所ヲ告示スヘシ

第二十三條 投票所ハ午前七時ニ開キ午後六時ニ閉ツ

第二十四條 議員候補者ハ各投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ本人ノ承諾ヲ得テ投票立會人一人ヲ定メ選舉ノ期日ノ前日迄ニ投票管理者ニ届出ツルコトヲ得但シ議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ其ノ届出テタル投票立會人ハ其ノ職ヲ失フ

前項ノ規定ニ依リ投票立會人三人ニ達セサルトキ若ハ三人ニ達セサルニ至リタルトキ又ハ投票立會人ニシテ參會スル者投票所ヲ開クヘキ時刻ニ至リ三人ニ達セサルトキ若ハ其ノ後三人ニ達セサルニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ投票區ニ於ケル選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ中ヨリ三人ニ達スル迄ノ投票立會人ヲ選任シ直ニ之ヲ本人ニ通知シ投票ニ立會ハシムヘシ

投票立會人ハ正當ノ事故ナクシテ其ノ職ヲ辭スルコトヲ得ス

第二十五條 選舉人ハ選舉ノ當日自ラ投票所ニ到リ選舉人名簿ノ對照ヲ經テ投票ヲ爲スヘシ

投票管理者ハ投票ヲ爲サムトスル選舉人ノ本人ナリヤ否ヤヲ確認スルコト能ハサルトキハ其ノ本人ナル旨ヲ宣言セシムルヘシ其ノ宣言ヲ爲ササ

ル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ヌ

第二十六條 投票用紙ハ選舉ノ當日投票所ニ於テ之ヲ選舉人ニ交付スヘシ

第二十七條 選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ自ラ議員候補者一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スヘシ

投票用紙ニハ選舉人ノ氏名ヲ記載スルコトヲ得ヌ

第二十八條 投票ニ關スル記載ニ付テハ勅令ヲ以テ定ムル點字ハ之ヲ文字ト看做ス

第二十九條 選舉人名簿ニ登錄セラレサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ヌ但シ選舉人名簿ニ登錄セラレヘキ確定判決書ヲ所持シ選舉ノ當日投票所ニ到ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲシテ投票ヲ爲サシムヘシ

第三十條 選舉人名簿ニ登錄セラレタル者選舉人名簿ニ登錄セラレルコトヲ得サル者ナルトキハ投票ヲ爲スコトヲ得ヌ選舉ノ當日選舉權ヲ有セサル者ナルトキ亦同シ

自ラ議員候補者ノ氏名ヲ書スルコト能ハサル者ハ投票ヲ爲スコトヲ得ヌ

第三十一條 投票ノ拒否ハ投票立會人ノ意見ヲ聽キ投票管理者之ヲ決定スヘシ

前項ノ決定ヲ受ケタル選舉人不服アルトキハ投票管理者ハ假ニ投票ヲ爲サシムヘシ

前項ノ投票ハ選舉人ヲシテ之ヲ封筒ニ入レ封緘シ表面ニ自ラ其ノ氏名ヲ記載シ投函セシムヘシ

投票立會人ニ於テ異議アル選舉人ニ對シテモ亦前二項ニ同シ

第三十二條 投票所ヲ閉ツヘキ時刻ニ至リタルトキハ投票管理者ハ其ノ旨ヲ告ケテ投票所ノ入口ヲ鎖シ投票所ニ在ル選舉人ノ投票終了スルヲ待チテ投票函ヲ閉鎖スヘシ

投票函閉鎖後ハ投票ヲ爲スコトヲ得ヌ

第三十三條 勅令ヲ以テ指定スル業務ニ従事スル選舉人ニシテ勅令ノ定ムル業務上ノ事由ニ因リ選舉ノ當日其ノ投票區内ニ在ラサル爲自ラ投票所ニ到リ投票ヲ爲シ能ハサルヘキコトヲ證スル者ノ投票ニ關シテハ第二十五條、第二十六條、第二十七條第一項、第二十九條但書及第三十一條ノ規定ニ拘ラス勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第三十四條 投票管理者ハ投票録ヲ作り投票ニ關スル顛末ヲ記載シ投票立

會人ト共ニ之ニ署名スヘシ

第三十五條 投票管理者ハ一人又ハ數人ノ投票立會人ト共ニ町村ノ投票區ニ於テハ投票ノ翌日迄ニ、市ノ投票區ニ於テハ投票ノ當日投票函、投票録及選舉人名簿ヲ開票管理者ニ送致スヘシ

第三十六條 島嶼其ノ他交通不便ノ地ニシテ前條ノ期日ニ投票函ヲ送致スルコト能ハサル情況アリト認ムルトキハ地方長官ハ適宜ニ其ノ投票ノ期日ヲ定メ開票ノ期日迄ニ其ノ投票函、投票録及選舉人名簿ヲ送致セシムルコトヲ得

第三十七條 天災其ノ他避クヘカラサル事故ニ因リ投票ヲ行フコトヲ得サルトキ又ハ更ニ投票ヲ行フノ必要アルトキハ投票管理者ハ選舉長ヲ經テ地方長官ニ其旨ヲ届出ツヘシ此ノ場合ニ於テハ地方長官ハ更ニ期日ヲ定メ投票ヲ行ハシムヘシ但シ其ノ期日ハ少クトモ五日前ニ之ヲ告示セシムヘシ

第三十八條 第七十五條又ハ第七十九條ノ選舉ヲ同時ニ行フ場合ニ於テハ一ノ選舉ヲ以テ合併シテ之ヲ行フ

第三十九條 何人ト雖選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ陳述スルノ義務ナシ

第四十條 投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ保持シ必要ナル場合ニ於テハ警察官吏ノ處分ヲ請求スルコトヲ得

第四十一條 選舉人、投票所ノ事務ニ従事スル者、投票所ヲ監視スル職權ヲ有スル者及警察官吏ニ非サレハ投票所ニ入ルコトヲ得ヌ

第四十二條 投票所ニ於テ演說討論ヲ爲シ若ハ喧騒ニ涉リ又ハ投票ニ關シ協議若ハ勸誘ヲ爲シ其ノ他投票所ノ秩序ヲ紊ル者アルトキハ投票管理者ハ之ヲ制止シ命ニ從ハサルトキハ投票所外ニ退出セシムヘシ

第四十三條 前條ノ規定ニ依リ投票所外ニ退出セシメラレタル者ハ最後ニ至リ投票ヲ爲スコトヲ得但シ投票管理者ハ投票所ノ秩序ヲ紊ルノ虞ナシト認ムル場合ニ於テ投票ヲ爲サシムルコトヲ妨ケス

第五章 開票及開票所

第四十四條 郡市長ハ開票管理者ト爲リ開票ニ關スル事務ヲ擔任ス

第四十五條 開票所ハ郡市役所又ハ開票管理者ノ指定シタル場所ニ之ヲ設ク

第四十六條 開票管理者ハ豫メ開票ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第四十七條 第二十四條ノ規定ハ開票立會人ニ之ヲ準用ス

第四十八條 開票管理者ハ總テノ投票函ノ送致ヲ受ケタル日ノ翌日開票所ニ於テ開票立會人立會ノ上投票函ヲ開キ投票ノ總數ト投票人ノ總數トヲ計算スヘシ

第四十九條 前條ノ計算終リタルトキハ開票管理者ハ先ツ第三十一條第二項及第四項ノ投票ヲ調査シ開票立會人ノ意見ヲ聽キ其ノ受理如何ヲ決定スヘシ

開票管理者ハ各投票所ノ投票ヲ混同シ開票立會人ト共ニ○投票區毎ニ點檢スヘシ

投票ノ點檢終リタルトキハ開票管理者ハ直ニ其ノ結果ヲ選舉長ニ報告スヘシ

第五十條 選舉人ハ其ノ開票所ニ就キ開票ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第五十一條 投票ノ效力ハ開票立會人ノ意見ヲ聽キ開票管理者之ヲ決定スヘシ

第五十二條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

一 成規ノ用紙ヲ用ヒサルモノ

二 議員候補者ニ非サル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

三 一投票中二人以上ノ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

四 被選舉權ナキ議員候補者ノ氏名ヲ記載シタルモノ

五 議員候補者ノ氏名ノ外他事ヲ記載シタルモノ但シ官位、職業、身分、住居又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルモノハ此ノ限ニ在ラス

六 議員候補者ノ氏名ヲ自書セサルモノ

七 議員候補者ノ何人ヲ記載シタルカヲ確認シ難キモノ

八 衆議院議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
前項第八號ノ規定ハ第七十五條又ハ第七十九條ノ規定ニ依ル選舉ノ場合ニ限リ之ヲ適用ス

第五十三條 投票ハ有效無効ヲ區別シ議員ノ任期間開票管理者ニ於テ之ヲ保存スヘシ

第五十四條 開票管理者ハ開票錄ヲ作り開票ニ關スル顛末ヲ記載シ開票立會人ト共ニ署名シ投票錄ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第五十五條 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ノ開票ニ於テハ其ノ投票ノ效力ヲ決定スヘシ

第五十六條 第三十七條ノ規定ハ但書ヲ除キ開票ニ之ヲ準用ス

第五十七條 開票所ノ取締ニ付テハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第六章 選舉會

第五十八條 地方長官ハ各選舉區內ニ於ケル郡市長ノ中ニ就キ選舉長ヲ定ムヘシ但シ一縣一選舉區タル場合ニ於テハ其ノ地方長官ヲ、一市一選舉區タル場合ニ於テハ其ノ市長ヲ選舉長トス

選舉長ハ選舉會ニ關スル事務ヲ擔任ス

第五十九條 選舉會ハ選舉長ノ屬スル縣廳若ハ郡市役所又ハ選舉長ノ指定シタル場所ニ之ヲ開ク

第六十條 選舉長ハ豫メ選舉會ノ場所及日時ヲ告示スヘシ

第六十一條 第二十四條ノ規定ハ選舉立會人ニ之ヲ準用ス

第六十二條 選舉長ハ總テノ開票管理者ヨリ第四十九條第三項ノ報告ヲ受ケタル日又ハ其ノ翌日選舉會ヲ開キ選舉立會人立會ノ上其ノ報告ヲ調査スヘシ

選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行ヒタル場合ニ於テ第四十九條第三項ノ報告ヲ受ケタルトキハ選舉長ハ前項ノ例ニ依リ選舉會ヲ開キ他ノ部分ノ報告ト共ニ更ニ之ヲ調査スヘシ

第六十三條 選舉人ハ其ノ選舉會ノ參觀ヲ求ムルコトヲ得

第六十四條 選舉長ハ選舉錄ヲ作り選舉會ニ關スル顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ署名シ第四十九條第三項ノ報告ニ關スル書類ト併セテ議員ノ任期間之ヲ保存スヘシ

第六十五條 第三十七條ノ規定ハ但書ヲ除キ選舉會ニ之ヲ準用ス

第六十六條 選舉會場ノ取締ニ付テハ第四十條乃至第四十二條ノ規定ヲ準用ス

第七章 議員候補者及當選人

第六十七條 議員候補者タラムトスル者ハ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル日ヨリ選舉ノ期日前七日迄ニ其ノ旨ヲ選舉長ニ届出ツヘシ

選舉人名簿ニ記載セラレタル者他人ヲ議員候補者ト爲サムトスルトキハ

前項ノ期間内ニ其ノ推薦ノ届出ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ期間内ニ届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超ユル場合ニ於テ其ノ期間ヲ經過シタル後議員候補者死亡シ又ハ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前二項ノ例ニ依リ選舉ノ期日ノ前日迄議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲スコトヲ得

議員候補者ハ選舉長ニ届出ヲ爲スニ非サレハ議員候補者タルコトヲ辭スルコトヲ得ス

前四項ノ届出アリタルトキ又ハ議員候補者ノ死亡シタルコトヲ知リタルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第六十八條 議員候補者ノ届出又ハ推薦届出ヲ爲サムトスル者ハ議員候補者一人ニ付二千圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス

議員候補者ノ得票數其ノ選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ十分ノ一ニ達セサルトキハ前項ノ供託物ハ政府ニ歸屬ス

議員候補者選舉ノ期日前十日以内ニ議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ前項ノ規定ヲ準用ス但シ被選舉權ヲ有セサルニ至リタル爲議員候補者タルコトヲ辭シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

第六十九條 有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ以テ當選人トス但シ其ノ選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ四分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

當選人ヲ定ムルニ當リ得票數同シキトキハ年齡多キ者ヲ取り年齡モ亦同シキトキハ選舉會ニ於テ選舉長抽籤シテ之ヲ定ム

第八十一條又ハ八十三條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ル場合ニ於テハ選舉會ヲ開キ之ヲ定ムヘシ

當選人當選ヲ辭シタルトキ、死亡者ナルトキ又ハ第七十條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキハ直ニ選舉會ヲ開キ第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

當選人第八十四條ノ規定ニ依ル訴訟ノ結果又ハ第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ選舉會ヲ開キ其ノ第七十四條ノ規定ニ依ル當選承諾届出期限前ナル場合ニ於テハ前項ノ例ニ依リ其ノ届出期限經過

後ナル場合ニ於テハ第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者ノ中ニ就キ當選人ヲ定ムヘシ

前三項ノ場合ニ於テ第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ之ヲ當選人ト定ムルコトヲ得ス

第七十條 當選人選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ有セサルニ至リタルトキハ當選ヲ失フ

第七十一條 第六十七條第一項乃至第三項ノ規定ニ依ル届出アリタル議員候補者其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ヲ超エサルトキハ其ノ選舉區ニ於テハ投票ヲ行ハス

前項ノ規定ニ依リ投票ヲ行フコトヲ要セサルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ投票管理者ニ通知シ併セテ之ヲ告示シ且地方長官ニ報告スヘシ

投票管理者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ直ニ其旨ヲ告示スヘシ

第一項ノ場合ニ於テハ選舉長ハ選舉ノ期日より五日以内ニ選舉會ヲ開キ議員候補者ヲ以テ當選人ト定ムヘシ

前項ノ場合ニ於テ議員候補者ノ被選舉權ノ有無ハ選舉立會人ノ意見ヲ聽キ選舉長之ヲ決定スヘシ

第七十二條 當選人定リタルトキハ選舉長ハ直ニ當選人ニ當選ノ旨ヲ告知シ同時ニ當選人ノ氏名ヲ告示シ且當選人ノ氏名、得票數及其ノ選舉ニ於ケル有效投票ノ總數其ノ他選舉ノ顛末ヲ地方長官ニ報告スヘシ

當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキハ選舉長ハ直ニ其ノ旨ヲ告示シ且之ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第七十三條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタルトキハ其ノ當選ヲ承諾スルヤ否ヤヲ選舉長ニ届出ツヘシ

一人ニシテ數選舉區ノ當選ヲ承諾スルコトヲ得ス

選舉長第一項ノ規定ニ依ル届出ヲ受ケタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ報告スヘシ

第七十四條 當選人當選ノ告知ヲ受ケタル日より二十日以内ニ當選承諾ノ届出ヲ爲ササルトキハ其ノ當選ヲ辭シタルモノト看做ス

第七十五條 左ニ掲クル事由ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ更ニ選舉ヲ行フコトナクシテ當選人ヲ定メ得ルトキヲ除クノ外地方長官ハ選舉ノ期日ヲ

定メ少クトモ十四日前ニ之ヲ告示シ更ニ選舉ヲ行ハシムヘシ但シ同一人ニ關シ左ニ掲クル其ノ事由ニ依リ又ハ第七十九條第六項ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキハ此ノ限ニ在ラス

一 當選人ナキトキ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルトキ

二 當選人當選ヲ辭シタルトキ又ハ死亡者ナルトキ

三 當選人第七十條ノ規定ニ依リ當選ヲ失ヒタルトキ

四 第八十一條又ハ第八十三條ノ規定ニ依リ訴訟ノ結果當選人ナキニ至リ又ハ當選人其ノ選舉ニ於ケル議員ノ定數ニ達セサルニ至リタルトキ

五 當選人第八十四條ノ規定ニ依リ訴訟ノ結果當選無効ト爲リタルトキ

六 當選人第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキ

第九章ノ規定ニ依リ訴訟ノ出訴期間ハ前項ノ規定ニ依リ選舉ヲ行フコトヲ得ス其ノ出訴アリタル場合ニ於テ訴訟繫屬中亦同シ

第一項ノ選舉ノ期日ハ第九章ノ規定ニ依リ訴訟ノ出訴期間満了ノ日、其ノ出訴アリタル場合ニ於テハ地方長官第八十六條第一項ノ規定ニ依リ訴訟繫屬セサルニ至リタル旨ノ大審院長ノ通知ヲ受ケタル日又ハ第四百三條ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日ヲ超ユルコトヲ得ス

第一項各號ノ一ニ該當スル事由議員ノ任期ノ終ル前六月以内ニ生シタルトキハ第一項ノ選舉ハ之ヲ行ハス

第七十六條 當選人當選ヲ承諾シタルトキハ地方長官ハ直ニ當選證書ヲ付與シ其ノ氏名ヲ告示シ且之ヲ内務大臣ニ報告スヘシ

第七十七條 第九章ノ規定ニ依リ訴訟ノ結果選舉若ハ當選無効ト爲リタルトキ又ハ當選人第三百三十六條ノ規定ニ依リ當選無効ト爲リタルトキハ地方長官ハ直ニ其ノ旨ヲ告示スヘシ

第八章 議員ノ任期及補闕

第七十八條 議員ノ任期ハ四年トシ總選舉ノ期日ヨリ之ヲ起算ス但シ議會開會中ニ任期終ルモ閉會ニ至ル迄在任ス

第七十九條 議員ニ關員ヲ生スルモ其ノ關員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達スル迄ハ補闕選舉ハ之ヲ行ハス

議員ニ關員ヲ生シタルトキハ内務大臣ハ議院法第八十四條ノ規定ニ依リ衆議院議長ノ通牒ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ地方長官ニ對シ其ノ旨ヲ

通知スヘシ

地方長官ハ前項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタルトキハ其ノ關員ト爲リタル議員カ第七十四條ノ規定ニ依リ當選承諾届出ノ期限前ニ於テ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第一項但書ノ得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者アルトキ又ハ其ノ期限經過後ニ於テ關員ト爲リタル者ナル場合ニ於テ第六十九條第二項ノ規定ノ適用ヲ受ケタル得票者ニシテ當選人ト爲ラサリシ者アルトキハ直ニ議員關員ト爲リタル旨ヲ選舉長ニ通知スヘシ

選舉長ハ前項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ第六十九條第四項乃至第六項ノ規定ヲ準用シ當選人ヲ定ムヘシ

地方長官ハ第二項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル場合ニ於テ第三項ノ規定ノ適用アルトキ及同一人ニ關シ第七十五條ノ規定ニ依リ選舉ノ期日ヲ告示シタルトキヲ除クノ外其ノ關員ノ數同一選舉區ニ於テ二人ニ達スルヲ待チ最後ニ第二項ノ規定ニ依リ通知ヲ受ケタル日ヨリ二十日以内ニ補闕選舉ヲ行ハシムヘシ

補闕選舉ノ期日ハ地方長官少クトモ十四日前ニ之ヲ告示スヘシ

第七十五條第二項乃至第四項ノ規定ハ補闕選舉ニ之ヲ準用ス

第八十條 補闕議員ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス

第九章 訴訟

第八十一條 選舉ノ效力ニ關シ異議アル選舉人又ハ議員候補者ハ選舉長ヲ被告トシ選舉ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

第八十二條 選舉ノ規定ニ違反スルコトアルトキハ選舉ノ結果ニ異動ヲ及ホスノ虞アル場合ニ限り裁判所ハ其ノ選舉ヲ全部又ハ一部ノ無効ヲ判決スヘシ

第八十三條ノ規定ニ依リ訴訟ニ於テモ其ノ選舉前項ノ場合ニ該當スルトキハ裁判所ハ其ノ全部又ハ一部ノ無効ヲ判決スヘシ

第八十三條 當選ヲ失ヒタル者當選ノ效力ニ關シ異議アルトキハ當選人ヲ被告トシ第七十二條第一項及第二項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得但シ第六十九條第一項但書ニ定メタル得票ニ達シタルトノ理由、第六十九條第六項若ハ第七十條ノ規定ニ該當セストノ理由

又ハ第七十一條第五項ノ決定違法ナリトノ理由ニ因リ出訴スル場合ニ於

テハ選舉長ヲ被告トスヘシ
前項ノ規定ニ依ル訴訟ノ裁判確定前當選人死亡シタルトキハ檢事ヲ被告トス

第八十四條 第一百條ノ規定ニ依リ當選ヲ無効ナリト認ムル選舉人又ハ議員候補者ハ當選人ヲ被告トシ第七十二條第一項ノ告示ノ日ヨリ三十日以内ニ大審院ニ出訴スルコトヲ得

第八十五條 裁判所ハ本章ノ規定ニ依ル訴訟ヲ裁判スルニ當リ檢事ヲシテ口頭辯論ニ立會ハシムヘシ

第八十六條 本章ノ規定ニ依ル訴訟ノ提起アリタルトキハ大審院長ハ其ノ旨ヲ内務大臣及關係地方長官ニ通知スヘシ訴訟ノ繫屬セサルニ至リタルトキ亦同シ

本章ノ規定ニ依ル訴訟ニ付判決アリタルトキハ大審院長ハ其ノ判決書ノ謄本ヲ内務大臣ニ送付スヘシ帝國議會開會中ナルトキハ併セテ之ヲ衆議院議長ニ送付スヘシ

第八十七條 本章ノ規定ニ依ル訴訟ヲ提起セムトスル者ハ保證金トシテ三百圓又ハ之ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託スルコトヲ要ス
原告敗訴ノ場合ニ於テ裁判確定ノ日ヨリ七日以内ニ裁判費用ヲ完納セサルトキハ保證金ヲ以テ之ニ充當シ仍足ラサルトキハ之ヲ追徴ス

第十章 選舉運動

第八十八條 議員候補者ハ選舉事務長一人ヲ選任スヘシ但シ議員候補者自ラ選舉事務長ト爲リ又ハ推薦届出者(推薦届出者數人アルトキハ其ノ代表者)議員候補者ノ承諾ヲ得テ選舉事務長ヲ選任シ若ハ自ラ選舉事務長ト爲ルコトヲ妨ケス

議員候補者ノ承諾ヲ得シテ其ノ推薦ノ届出ヲ爲シタル者ハ前項但書ノ承諾ヲ得ルコトヲ要セス

議員候補者ハ文書ヲ以テ通知スルコトニ依リ選舉事務長ヲ解任スルコトヲ得選舉事務長ヲ選任シタル推薦届出者ニ於テ議員候補者ノ承諾ヲ得タルトキ亦同シ

選舉事務長ハ文書ヲ以テ議員候補者及選任者ニ通知スルコトニ依リ辭任スルコトヲ得

選舉事務長ノ選任者(自ラ選舉事務長ト爲リタル者ヲ含ム以下之ニ同シ)

ハ直ニ其ノ旨ヲ選舉區内警察官署ノ一ニ届出ツヘシ

選舉事務長ニ異動アリタルトキハ前項ノ規定ニ依リ届出ヲ爲シタル者直ニ其ノ届出ヲ爲シタル警察官署ニ其ノ旨ヲ届出ツヘシ

第九十五條ノ規定ニ依リ選舉事務長ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ハ前項ノ例ニ依リ届出ツヘシ其ノ之ヲ罷メタルトキ亦同シ

第八十九條 選舉事務長ニ非サレハ選舉事務所ヲ設置シ又ハ選舉委員若ハ選舉事務員ヲ選任スルコトヲ得ス

選舉事務長ハ文書ヲ以テ通知スルコトニ依リ選舉委員又ハ選舉事務員ヲ解任スルコトヲ得

選舉委員又ハ選舉事務員ハ文書ヲ以テ選舉事務長ニ通知スルコトニ依リ辭任スルコトヲ得

選舉事務長選舉事務所ヲ設置シ又ハ選舉委員若ハ選舉事務員ヲ選任シタルトキハ直ニ其ノ旨ヲ前條第五項ノ届出アリタル警察官署ニ届出ツヘシ選舉事務所又ハ選舉委員若ハ選舉事務員ニ異動アリトキ亦同シ

第九十條 選舉事務所ハ議員候補者一人ニ付七箇所ヲ超ユルコトヲ得ス
選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合又ハ第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ選舉事務所ハ前項ニ掲クル數ヲ超エサル範圍内ニ於テ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ノ定メタル數ヲ超ユルコトヲ得ス

地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)前項ノ規定ニ依リ選舉事務所ノ數ヲ定メタル場合ニ於テハ選舉ノ期日ノ告示アリタル後直ニ之ヲ告示スヘシ

第九十一條 選舉事務所ハ選舉ノ當日ニ限り投票所ヲ設ケタル場所ノ入口ヨリ三町以内ノ區域ニ之ヲ置クコトヲ得ス

第九十二條 休憩所其ノ他之ニ類似スル設備ハ選舉運動ノ爲之ヲ設クルコトヲ得ス

第九十三條 選舉委員及選舉事務員ハ議員候補者一人ニ付通シテ五十人ヲ超ユルコトヲ得ス

第九十條第二項及第三項ノ規定ハ選舉委員及選舉事務員ニ關シ之ヲ準用ス

第九十四條 選舉事務長選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第九十九條第二

項ノ規定ニ依リ選舉運動ヲ爲スコトヲ得サル者ナルトキハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ直ニ其ノ解任又ハ退任ヲ命スヘシ

第八十九條第一項ノ規定ニ違反シテ選舉事務所ノ設置アリト認ムルトキハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ直ニ其ノ選舉事務所ノ閉鎖ヲ命スヘシ第九十條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉事務所ノ設置アリト認ムルトキハ其ノ超過シタル數ノ選舉事務所ニ付亦同シ

前條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉委員又ハ選舉事務員ノ選任アリト認ムルトキハ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ直ニ其ノ超過シタル數ノ選舉委員又ハ選舉事務員ノ解任ヲ命スヘシ選舉委員又ハ選舉事務員選舉權ヲ有セサル者ナルトキ又ハ第九十九條第二項ノ規定ニ依リ選舉運動ヲ爲スコトヲ得サル者ナルトキ其ノ選舉委員又ハ選舉事務員ニ付亦同シ

第九十五條 選舉事務長故障アルトキハ選任者代リテ其ノ職務ヲ行フ推薦届出者タル選任者モ亦故障アルトキハ議員候補者ノ承諾ヲ得スシテ其ノ推薦ノ届出ヲ爲シタル場合ヲ除クノ外議員候補者代リテ其ノ職務ヲ行フ

第九十六條 議員候補者、選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ニ非サレハ選舉運動ヲ爲スコトヲ得ス但シ演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ハ此ノ限ニ在ラス

第九十七條 選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ハ選舉運動ノ爲ニ要スル飲食物、船車馬等ノ供給又ハ旅費、宿泊料其ノ他ノ實費ノ辨償ヲ受クルコトヲ得演說又ハ推薦狀ニ依リ選舉運動ヲ爲ス者其ノ運動ヲ爲スニ付亦同シ

選舉事務員ハ選舉運動ヲ爲スニ付報酬ヲ受クルコトヲ得

第九十八條 何人ト雖投票ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサルノ目的ヲ以テ戸別訪問ヲ爲スコトヲ得ス

何人ト雖前項ノ目的ヲ以テ連續シテ個個ノ選舉人ニ對シ而接シ又ハ電話ニ依リ選舉運動ヲ爲スコトヲ得ス

第九十九條 選舉權ヲ有セサル者ハ選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ト爲ルコトヲ得ス

選舉事務ニ關係アル官吏及吏員ハ其ノ關係區域内ニ於ケル選舉運動ヲ爲

スコトヲ得ス

第一百條 內務大臣ハ選舉運動ノ爲頒布シ又ハ揭示スル文書圖畫ニ關シ命令ヲ以テ制限ヲ設クルコトヲ得

第十一章 選舉運動ノ費用

第一百一條 立候補準備ノ爲ニ要スル費用ヲ除クノ外選舉運動ノ費用ハ選舉事務長ニ非サレハ之ヲ支出スルコトヲ得ス但シ議員候補者、選舉委員又ハ選舉事務員ハ選舉事務長ノ文書ニ依ル承諾ヲ得テ之ヲ支出スルコトヲ妨ケス

議員候補者、選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ニ非サル者ハ選舉運動ノ費用ヲ支出スルコトヲ得ス但シ演說又ハ推薦狀ニ依ル選舉運動ノ費用ハ此ノ限ニ在ラス

第一百二條 選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ各號ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス

一 選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

二 選舉ノ一部無効ト爲リ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ於テハ選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ關係區域ノ選舉人名簿ニ記載セラレタル者ノ總數ヲ除シテ得タル數ヲ四十錢ニ乘シテ得タル額

三 第三十七條ノ規定ニ依リ投票ヲ行フ場合ニ於テハ前號ノ規定ニ準シテ算出シタル額但シ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)必要アリト認ムルトキハ之ヲ減額スルコトヲ得

地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ選舉ノ期日ノ公布又ハ告示アリタル後直ニ前項ノ規定ニ依ル額ヲ告示スヘシ

第一百三條 選舉運動ノ爲財産上ノ義務ヲ負擔シ又ハ建物、船車馬、印刷物、飲食物其ノ他ノ金錢以外ノ財産上ノ利益ヲ使用シ若ハ費消シタル場合ニ於テハ其ノ義務又ハ利益ヲ時價ニ見積リタル金額ヲ以テ選舉運動ノ費用ト看做ス

第一百四條 左ノ各號ニ掲クル費用ハ之ヲ選舉運動ノ費用ニ非サルモノト看做ス

一 議員候補者カ乗用スル船車馬等ノ爲ニ要シタル費用

二 選舉ノ期日後ニ於テ選舉運動ノ殘務整理ノ爲ニ要シタル費用

三 選舉委員又ハ選舉事務員ノ支出シタル費用ニシテ議員候補者又ハ選舉事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ但シ第一百一條第一項ノ規定ノ適用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

四 第六十七條第一項乃至第三項ノ届出アリタル後議員候補者、選舉事務長、選舉委員又ハ選舉事務員ニ非サル者ノ支出シタル費用ニシテ議員候補者又ハ選舉事務長ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ但シ第一百一條第二項ノ規定ノ適用ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

五 立候補準備ノ爲ニ要シタル費用ニシテ議員候補者若ハ選舉事務長ト爲リタル者ノ支出シタル費用又ハ其ノ者ト意思ヲ通シテ支出シタル費用以外ノモノ

第一百五條 選舉事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ帳簿ヲ備ヘ之ニ選舉運動ノ費用ヲ記載スヘシ

第一百六條 選舉事務長ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ選舉運動ノ費用ヲ精算シ選舉ノ期日ヨリ^{十四}七日以内ニ第八十八條第五項ノ届出アリタル警察官署ヲ經テ之ヲ地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ニ届出ツヘシ

地方長官(東京府ニ在リテハ警視總監)ハ前項ノ規定ニ依リ届出アリタル選舉運動ノ費用ヲ告示スヘシ

第一百七條 選舉事務長ハ前條第一項ノ届出ヲ爲シタル日ヨリ一年間選舉運動ノ費用ニ關スル帳簿及書類ヲ保存スヘシ

前項ノ帳簿及書類ノ種類ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一百八條 警察官吏ハ選舉ノ期日後何時ニテモ選舉事務長ニ對シ選舉運動ノ費用ニ關スル帳簿又ハ書類ノ提出ヲ命ジ、之ヲ檢査シ又ハ之ニ關スル説明ヲ求ムルコトヲ得

第一百九條 選舉事務長辭任シ又ハ解任セラレタル場合ニ於テハ遲滞ナク選舉運動ノ費用ノ計算ヲ爲シ新ニ選舉事務長ト爲リタル者ニ對シ、新ニ選舉事務長ト爲リタル者ナキトキハ第九十五條ノ規定ニ依リ選舉事務長ノ職務ヲ行フ者ニ對シ選舉事務所、選舉委員、選舉事務員其ノ他ニ關スル事務ト共ニ其ノ引繼ヲ爲スヘシ第九十五條ノ規定ニ依リ選舉事務長ノ職務ヲ行フ者事務ノ引繼ヲ受ケタル後新ニ選舉事務長定リタルトキ亦同シ

第一百十條 議員候補者ノ爲支出セラレタル選舉運動ノ費用カ第一百二條第二

項ノ規定ニ依リ告示セラレタル額ヲ超エタルトキハ其ノ議員候補者ノ當選ヲ無効トス但シ議員候補者及推薦届出者カ選舉事務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シ且選舉事務長又ハ之ニ代リテ其ノ職務ヲ行フ者ニ於テ選舉運動ノ費用ノ支出ニ付過失ナカリシトキハ此ノ限ニ在ラス

第十二章 罰則

第一百十一條 詐偽ノ方法ヲ以テ選舉人名簿ニ登錄セラレタル者又ハ第二十五條第二項ノ場合ニ於テ虛偽ノ宣言ヲ爲シタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百十二條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ金錢、物品其ノ他ノ財産上ノ利益若ハ公私ノ職務ノ供與、其ノ供與ノ申込若ハ約束ヲ爲シ又ハ響應接待、其ノ申込若ハ約束ヲ爲シタルトキ

二 當選ヲ得若ハ得シメ又ハ得シメサル目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ其ノ者又ハ其ノ者ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ直接利害關係ヲ利用シテ誘導ヲ爲シタルトキ

三 投票ヲ爲シ又ハ爲ササルコト、選舉運動ヲ爲シ若ハ止メタルコト又ハ其ノ周施勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ選舉人又ハ選舉運動者ニ對シ第一號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ

四 第一號若ハ前號ノ供與、響應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、第一號若ハ前號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第二號ノ誘導ニ應ジ若ハ之ヲ促シタルトキ

五 前各號ニ掲クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルトキ

第一百十三條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メシムル目的ヲ以テ議員候補者若ハ議員候補者タラムトスル者ニ對シ又ハ當選ヲ辭セシムル目的ヲ以テ當選人ニ對シ前條第一號又ハ第二號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルトキ

二 議員候補者タルコト若ハ議員候補者タラムトスルコトヲ止メタルコト、當選ヲ辭シタルコト又ハ其ノ周旋勸誘ヲ爲シタルコトノ報酬ト爲ス目的ヲ以テ議員候補者タリシ者、議員候補者タラムトシタル者又ハ

當選人タリシ者ニ對シ前條第一號ニ掲クル行爲ヲ爲シタルコトキ

三 前二號ノ供與、響應接待ヲ受ケ若ハ要求シ、前二號ノ申込ヲ承諾シ又ハ第一號ノ誘導ニ應シ若ハ之ヲ促シタルコトキ

四 前各號ニ掲クル行爲ニ關シ周旋又ハ勸誘ヲ爲シタルコトキ

第一百十四條 前二條ノ場合ニ於テ收受シタル利益ハ之ヲ沒收ス其ノ全部又ハ一部ヲ沒收スルコト能ハサルトキハ其ノ價額ヲ追徵ス

第一百五條 選舉ニ關シ左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

一 選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者又ハ當選人ニ對シ暴行若ハ威力ヲ加ヘ又ハ之ヲ拐引シタルコトキ

二 交通若ハ集會ノ便ヲ妨ケ又ハ演說ヲ妨害シ其ノ他偽計詐術等不正ノ方法ヲ以テ選舉ノ自由ヲ妨害シタルコトキ

三 選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者若ハ當選人又ハ其ノ關係アル社寺、學校、會社、組合、市町村等ニ對スル用水、小作、債權、寄附其ノ他特殊ノ利害關係ヲ利用シテ選舉人、議員候補者、議員候補者タラムトスル者、選舉運動者又ハ當選人ヲ威逼シタルコトキ

第一百十六條 選舉ニ關シ官吏又ハ吏員故意ニ其ノ職務ノ執行ヲ怠リ又ハ職權ヲ濫用シテ選舉ノ自由ヲ妨害シタルコトキハ三年以下ノ禁錮ニ處ス

官吏又ハ吏員選舉人ニ對シ其ノ投票セムトシ又ハ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示ヲ求メタルトキハ三月以下ノ禁錮又ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百七條 選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者選舉人ノ投票シタル被選舉人ノ氏名ヲ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ

以下ノ罰金ニ處ス其ノ表示シタル事實虛偽ナルトキ亦同シ

第一百十八條 投票所又ハ開票所ニ於テ正當ノ事由ナクシテ選舉人ノ投票ニ關涉シ又ハ被選舉人ノ氏名ヲ認知スルノ方法ヲ行ヒタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

法令ノ規定ニ依ラスシテ投票函ヲ開キ又ハ投票函中ノ投票ヲ取出シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百十九條 投票管理者、開票管理者、選舉長、立會人若ハ選舉監視者ニ暴行若ハ脅迫ヲ加ヘ、選舉會場、開票所若ハ投票所ヲ騷擾シ又ハ投票、投票函其ノ他關係書類ヲ抑留、毀壞若ハ奪取シタル者ハ四年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

第一百二十條 多衆聚合シテ第一百十五條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯シタル者ハ左ノ區別ニ從テ處斷ス

一 首魁ハ一年以上七年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

二 他人ヲ指揮シ又ハ他人ニ率先シテ勢ヲ助ケタル者ハ六月以上五年以下ノ懲役又ハ禁錮ニ處ス

三 附和隨行シタル者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第一百十五條第一號又ハ前條ノ罪ヲ犯ス爲多衆聚合シ當該公務員ヨリ解散ノ命ヲ受クルコト三回以上ニ及フモ仍解散セサルコトキハ首魁ハ二年以下ノ禁錮ニ處シ其ノ他ノ者ハ百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス

第一百二十一條 選舉ニ關シ銃砲、刀劍、棍棒其ノ他人ヲ殺傷スルニ足ルヘキ物件ヲ携帶シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

警察官吏又ハ憲兵ハ必要ト認ムル場合ニ於テ前項ノ物件ヲ領置スルコトヲ得

第一百二十二條 前條ノ物件ヲ携帶シテ選舉會場、開票所又ハ投票所ニ入りタル者ハ三年以下ノ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百二十三條 前二條ノ罪ヲ犯シタル場合ニ於テハ其ノ携帶シタル物件ヲ沒收ス

第一百二十四條 選舉ニ關シ多衆集合シ若ハ隊伍ヲ組ミテ往來シ又ハ煙火、松明ノ類ヲ用ヒ若ハ鐘鼓、喇叭ノ類ヲ鳴ラシ旗幟其ノ他ノ標章ヲ用フル等氣勢ヲ張ルノ行爲ヲ爲シ警察官吏ノ制止ヲ受クルモ仍其ノ命ニ從ハサル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第一百二十五條 演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス第一百十二條、第一百十三條、第一百十五條、第一百十八條乃至第一百二十二條及前條ノ罪ヲ犯サシムル目的ヲ以テ人ヲ煽動シタル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス但シ新聞紙及雜誌ニ在リテハ仍其ノ編輯人及實際編輯ヲ擔當シタル者ヲ罰ス

第二百二十六條 演說又ハ新聞紙、雜誌、引札、張札其ノ他何等ノ方法ヲ以テスルニ拘ラス左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス新聞紙及雜誌ニ在リテハ前條但書ノ例ニ依ル

一 當選ヲ得又ハ得シムル目的ヲ以テ議員候補者ノ身分、職業又ハ經歷ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタルトキ

二 當選ヲ得シメサル目的ヲ以テ議員候補者ニ關シ虛偽ノ事項ヲ公ニシタルトキ

第二百二十七條 選舉人ニ非サル者投票ヲ爲シタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

氏名ヲ詐稱シ其ノ他詐僞ノ方法ヲ以テ投票ヲ爲シタル者ハ二年以下ノ禁錮又ハ千圓以下ノ罰金ニ處ス

投票ヲ偽造シ又ハ其ノ數ヲ増減シタル者ハ三年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

選舉事務ニ關係アル官吏、吏員、立會人又ハ監視者前項ノ罪ヲ犯シタルトキハ五年以下ノ懲役若ハ禁錮又ハ二千圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十八條 立會人正當ノ事故ナクシテ本法ニ定メタル義務ヲ缺クトキハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百二十九條 第九十六條若ハ第九十八條ノ規定ニ違反シタル者又ハ第九十四條ノ規定ニ依ル命令ニ從ハサル者ハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十條 第九十條第一項第二項ノ規定ニ依ル定數ヲ超エ若ハ第九十一條ノ規定ニ違反シテ選舉事務所ヲ設置シタル者又ハ第九十二條ノ規定ニ違反シテ休憩所其ノ他之ニ類似スル設備ヲ設ケタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第九十三條ノ規定ニ依ル定數ヲ超エテ選舉委員又ハ選舉事務員ノ選任ヲ爲シタル者亦前項ニ同シ

第二百三十一條 第八十九條第一項、第九十九條又ハ第九十九條ノ規定ニ違反シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十二條 第八十八條第五項乃至第七項又ハ第八十九條第四項ノ届出ヲ怠リタル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十三條 規定ニ依ル命令ニ違反シタル者亦前項ニ同シ

第二百三十三條 選舉事務長又ハ選舉事務長ニ代リ其ノ職務ヲ行フ者第二百

條第二項ノ規定ニ依リ告示セラレタル額ヲ超エ選舉運動ノ費用ヲ支出シ又ハ第一百一條一項但書ノ規定ニ依ル承諾ヲ與ヘテ支出セシメタルトキハ一年以下ノ禁錮又ハ五百圓以下ノ罰金ニ處ス

第二百三十四條 第一百一條ノ規定ニ違反シテ選舉運動ノ費用ヲ支出シタル者ハ一年以下ノ禁錮ニ處ス

第二百三十五條 左ノ各號ニ掲クル行爲ヲ爲シタル者ハ六月以下ノ禁錮又ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

一 第一百五條ノ規定ニ違反シテ帳簿ヲ備ヘス又ハ帳簿ニ記載ヲ爲サス若ハ之ニ虛偽ノ記入ヲ爲シタルトキ

二 第一百六條第一項ノ届出ヲ怠リ又ハ虛偽ノ届出ヲ爲シタルトキ

三 第一百七條第一項ノ規定ニ違反シテ帳簿又ハ書類ヲ保存セサルトキ

四 第一百七條第一項ノ規定ニ依リ保存スヘキ帳簿又ハ書類ニ虛偽ノ記入ヲ爲シタルトキ

五 第一百八條ノ規定ニ依ル帳簿若ハ書類ノ提出若ハ検査ヲ拒ミ若ハ之ヲ妨ケ又ハ説明ノ求ニ應セサルトキ

第二百三十六條 當選人其ノ選舉ニ關シ本章ニ掲クル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ其ノ當選ヲ無効トス選舉事務長第二百三十二條又ハ第二百三十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ亦同シ但シ選舉事務長ノ選任及監督ニ付相當ノ注意ヲ爲シタルトキハ此限ニ在ラス

第二百三十七條 本章ニ掲クル罪ヲ犯シタル者ニシテ罰金ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後五年間、禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ在リテハ其ノ裁判確定ノ後終行ヲ終ル迄又ハ刑ノ時効ニ因ル場

合ヲ除クノ外刑ノ執行ノ免除ヲ受クル迄ノ間及其ノ後五年間衆議院議員及選舉ニ付本章ノ規定ヲ準用スル議會ノ議員ノ選舉權及被選舉權ヲ有セ

ス禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者ニ付其ノ裁判確定ノ後刑ノ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ間亦同シ

前項ニ規定スル者ト雖情狀ニ因リ裁判所ハ刑ノ言渡ト同時ニ前項ノ規定ヲ適用セス又ハ其ノ期間ヲ短縮スル旨ノ宣告ヲ爲スコトヲ得

前二項ノ規定ハ第六條第五號ノ規定ニ該當スル者ニハ之ヲ適用セス

第二百三十八條 第二百二十七條第三項及第四項ノ罪ノ時効ハ一年ヲ經過スル

ニ因リテ完成ス
前項ニ掲クル罪以外ノ本章ノ罪ノ時効ハ六月ヲ經過スルニ因リテ完成ス
但シ犯人逃亡シタルトキハ其ノ期間ハ一年トス

第十三章 補則

第三百三十九條 選舉ニ關スル費用ニ付テハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四百十條 議員候補者又ハ推薦届出者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ選舉區内ニ在ル選舉人ニ對シ選舉運動ノ爲ニスル通常郵便物ヲ選舉人一人ニ付一通ヲ限リ無料ヲ以テ差出スコトヲ得

公立學校其ノ他勅令ヲ以テ定ムル營造物ノ設備ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ演說ニ依ル選舉運動ノ爲其ノ使用ヲ許可スヘシ

第四百十一條 選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ本法ニ規定シタルモノヲ除クノ外民事訴訟ノ例ニ依ル

選舉ニ關スル訴訟ニ付テハ裁判所ハ他ノ訴訟ノ順序ニ拘ラス速ニ其ノ裁判ヲ爲スヘシ

第四百十二條 第十二章ニ掲クル罪ニ關スル刑事訴訟ニ付テハ上告裁判所ハ刑事訴訟法第四百二十二條第一項ノ期間ニ依ラサルコトヲ得

第四百十三條 當選人其ノ選舉ニ關シ第十二章ニ掲クル罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキ又ハ選舉事務長第四百十二條若ハ第四百十三條ノ罪ヲ犯シ刑ニ處セラレタルトキハ裁判所ノ長ハ其ノ旨ヲ内務大臣及關係地方長官ニ通知スヘシ

第四百十四條 町村組合ニシテ町村ノ事務ノ全部又ハ役場事務ヲ共同處理スルモノハ本法ノ適用ニ付テハ之ヲ一町村、其ノ組合管理者ハ之ヲ町村長、其ノ組合役場ハ之ヲ町村役場ト看做ス

第四百十五條 郡長ヲ置カサル地ニ於テハ本法中郡ニ關スル規定ハ島司又ハ北海道廳支廳長ノ管轄區域ニ、郡長ニ關スル規定ハ島司又ハ北海道廳支廳長ニ、郡役所ニ關スル規定ハ島廳又ハ北海道廳支廳ニ之ヲ適用ス

市制第六條ノ市ニ於テハ本法中市ニ關スル規定ハ區ニ、市長ニ關スル規定ハ區長ニ、市役所ニ關スル規定ハ區役所ニ之ヲ適用ス

町村制ヲ施行セサル地ニ於テハ本法中町村ニ關スル規定ハ町村ニ準スヘキモノニ、町村長ニ關スル規定ハ町村長ニ準スヘキ者ニ、町村役場ニ關スル規定ハ町村役場ニ準スヘキモノニ之ヲ適用ス

第四百十六條 交通至難ノ島嶼其ノ他ノ地ニ於テ本法ノ規定ヲ適用シ難キ事項ニ付テハ勅令ヲ以テ特別ノ規定ヲ設クルコトヲ得

第四百十七條 第三十三條ノ規定ニ依ル投票ニ付テハ其ノ投票管理スヘキ者ハ之ヲ投票管理者、其ノ投票ヲ記載スヘキ場所ハ之ヲ投票所、其ノ投票ニ立會フヘキ者ハ之ヲ投票立會人ト看做シ第十二章ノ規定ヲ適用ス

第四百十八條 本法ノ適用ニ付テハ明治十三年第三十六號布告刑法ノ重罪ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者、同法ノ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ハ之ヲ六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレタル者ト看做ス

第四百十九條 明治十三年第三十六號布告刑法第二編第四章第九節ノ規定ハ衆議院議員ノ選舉ニ關シテハ之ヲ適用セス

第五百十條 本法ハ東京府小笠原島並北海道廳根室支廳管内占守郡、新知郡、得撫郡及色丹郡ニハ當分ノ内之ヲ施行セス

附則

本法ハ次ノ總選舉ヨリ之ヲ施行ス

本法ニ依リ初テ議員ヲ選舉スル場合ニ於テ第十八條ノ規定ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ總選舉ノ期日ヲ定ムルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ總選舉ニ必要ナル選舉人名簿ニ關シ第十二條、第十三條、第十五條又ハ第十七條ニ規定スル期日又ハ期間ニ依リ難キトキハ勅令ヲ以テ別ニ其ノ期日又ハ期間ヲ定ム但シ其ノ選舉人名簿ハ次ノ選舉人名簿確定迄其ノ效力ヲ有ス

別表

東京府選舉區

議員數

第一區

五人

第二區

五人

麴町區
芝區
麻布區
赤坂區
四谷區
牛込區
神田區
小石川區
本郷區
下谷區

兵庫縣

第三區

高座郡 中郡 足柄上郡 足柄下郡 愛甲郡 津久井郡

四人

第一區

神戶市

五人

第二區

尼崎市 武庫郡 川邊郡 有馬郡 津名郡 三原郡

四人

第三區

明石市 明石郡 美加郡 多加郡 加西郡 加古郡 加南郡 印南郡

三人

第四區

姫路市 飾磨郡 神崎郡 揖保郡 赤穂郡 佐用郡 宍粟郡

四人

長崎縣

第五區

城崎郡 出石郡 養父郡 朝來郡 美濃郡 永上郡 多紀郡

三人

第一區

長崎市 西彼杵郡 北高來郡 南高來郡 對馬廳管内

五人

第二區

佐世保市 東彼杵郡 北松浦郡 南松浦郡 壹岐郡

四人

新潟縣

第一區

新潟市 西蒲原郡 佐渡郡 北蒲原郡 中蒲原郡 東蒲原郡

三人

第二區

岩船郡 長岡市 南蒲原郡 三島郡 古志郡

四人

第三區

北魚沼郡 南魚沼郡 刈羽郡

五人

埼玉縣

第四區

高田市
中魚沼郡
東頸城郡
中頸城郡
西頸城郡

三人

第一區

川越市
北足立郡
入間郡
比企郡
秩父郡
兒玉郡
大里郡

四人

第二區

北埼玉郡
南埼玉郡
北埼玉郡
北埼玉郡
北埼玉郡
北埼玉郡
北埼玉郡

四人

第三區

北葛飾郡
南葛飾郡
北葛飾郡
北葛飾郡
北葛飾郡
北葛飾郡
北葛飾郡

三人

群馬縣

第一區

前橋市
桐生市
勢多郡
利根郡
佐波郡
新田郡
山田郡
邑樂郡
高崎市
群馬郡
多野郡
北甘樂郡
碓氷郡
吾妻郡

五人

第二區

碓氷郡
吾妻郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡
碓氷郡

四人

千葉縣

第一區

千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市
千葉市

四人

第二區

印旛郡
海上郡
海城郡
香取郡
長生郡
山武郡
夷隅郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡

三人

第三區

安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡
安房郡

四人

茨城縣

第一區

水戸市
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡
茨城郡

四人

第二區

久慈郡
多賀郡
新治郡
筑波郡
眞壁郡
猿島郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡

三人

第三區

結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡
結城郡

四人

栃木縣

第一區

宇都宮市
河內郡
上野郡
鹽谷郡
那須郡

五人

第二區

足利市
下都賀郡
安曇郡
足利郡

四人

奈良縣

第一區

津市
四日市
桑名郡
員辨郡
三重郡
鈴鹿郡
河藝郡
安濃郡
一志郡
阿賀郡
名賀郡

五人

第二區

宇治市
飯沼郡
多氣郡
度會郡
志摩郡
北牟婁郡
南牟婁郡

四人

愛知縣

第一區

名古屋市
愛知郡
春日井市
春日井市
西春日井市
知多郡

三人

第三區

一宮市
丹羽郡
葉栗郡
中島郡
海部郡

三人

第四區

岡崎市
碧海郡
幡豆郡
額田郡
西加茂郡
東加茂郡

三人

第五區

豐橋市
北設樂郡
南設樂郡
寶飯郡
渥美郡
八名郡

三人

靜岡縣

第一區

靜岡市
清水市
庵原郡
安倍郡
志太郡
榛原郡
小笠原郡

五人

第 三 區			第 二 區			第 一 區			岐 滋 山 阜 賀 梨 縣 縣 縣			第 三 區			第 二 區		
吉大益惠土可加本揖安不養海羽大郡武山稻岐			引濱周磐濱富駿田賀沼														
城野田那岐兒茂巢斐八破老津島垣上儀縣葉阜			佐名智田松士東方茂津														
郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡市郡郡郡郡市			郡郡郡郡市郡郡郡郡市														
三 人			三 人			三 人			五 五 人 人			四 人			四 人		

第 一 區			宮 城 縣			第 四 區			第 三 區			第 二 區			第 一 區			長 野 縣		
遠志加黑宮名互伊柴刈仙			北南東西松下上諏埴小北南上			下上諏埴小北南上			下上諏埴小北南上			下上諏埴小北南上			下上諏埴小北南上			下上諏埴小北南上		
田田美川城取理具田田臺			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊		
郡郡郡郡郡郡郡郡郡市			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊			安安筑筑本伊伊		
五 人			三 人			四 人			三 人			三 人			三 人			三 人		

福島縣

第二區

玉造郡 栗原郡 登米郡 桃生郡 牡鹿郡 本吉郡

三人

第一區

福島市 郡 山形市 信達郡 伊達郡 安達郡 安積郡

三人

第二區

若松市 岩手郡 南會津郡 北會津郡 耶麻郡 大河沼郡 大沼郡 東白河郡 西白河郡 白石郡 石川郡 田村郡 石川郡 相馬郡 雙葉郡

五人

第三區

相馬郡 雙葉郡 石川郡

三人

巖手縣

第一區

盛岡市 巖手郡 紫波郡 下閉伊郡 九戸郡 二戸郡 稗貫郡 賀澤郡 膽澤郡 江刺郡 西磐井郡 東磐井郡 氣仙郡 上閉伊郡

三人

第二區

青森市 津輕郡 上北郡 下北郡 三戸郡 弘前市 西津輕郡 中津輕郡 南津輕郡 北津輕郡

四人

青森縣

第一區

青森市 津輕郡 上北郡 下北郡 三戸郡 弘前市 西津輕郡 中津輕郡 南津輕郡 北津輕郡

三人

第二區

山形市 米澤市 南村山郡 東村山郡 西村山郡 南置賜郡 東置賜郡 西置賜郡

三人

山形縣

第一區

山形市 米澤市 南村山郡 東村山郡 西村山郡 南置賜郡 東置賜郡 西置賜郡

四人

秋田縣

第二區

鶴岡市
北村山郡
最上郡
東田川郡
西田川郡
飽海郡

四人

第一區

秋田市
鹿角郡
北田郡
山本郡
南秋田郡
河邊郡

四人

第二區

由利郡
仙北郡
平鹿郡
雄勝郡

三人

福島縣
石川縣

第一區

金澤市
江沼郡
能美郡
石川郡

三人

第二區

河北郡
羽咋郡
鹿島郡
鳳至郡
珠洲郡

三人

富山縣

第一區

富山市
上新川郡
中新川郡
下新川郡
婦負郡

三人

第二區

高岡市
射水郡
氷見郡
東礪波郡
西礪波郡

三人

島根縣
鳥取縣

第一區

松江市
八束郡
能義郡
仁多郡
大原郡
簸川郡
隱岐島廳管内

三人

第二區

飯石郡
安濃郡
邇摩郡
邑智郡
那賀郡
美濃郡
鹿足郡

三人

岡山縣

第一區

岡御赤和赤久庭道久氣磐津山
市郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

五人

第二區

兒都淺小後吉上房備月田口窪島米田田田庭道久氣磐津山
郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

五人

廣島縣

第一區

廣佐伯島
市郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

四人

第二區

吳安藝
市郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

四人

山口縣

第三區

尾道福山調羅世隈安品石奴三比
市市郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

五人

第一區

宇下關部狹浦禰津武島珂毛濃波敷
市市郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

四人

第二區

大玖熊都佐吉
郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

五人

和歌山縣

第一區

和歌山
市郡郡郡郡郡郡郡郡郡郡

三人

德島縣 第二區

有田郡 日高郡 西牟婁郡 東牟婁郡

三人

第一區

德島市 勝浦郡 那賀郡 海部郡 名西郡

三人

第二區

板野郡 阿波郡 麻植郡 美馬郡 三好郡

三人

香川縣

第一區

高松市 大川郡 木田郡 小豆郡 香川郡

三人

第二區

丸龜市 綾歌郡 仲多度郡 三豐郡

三人

愛媛縣

第一區

松山市 温泉郡 伊豫郡 上野郡 喜多郡

三人

高知縣

第三區

宇和島市 西宇和郡 東宇和郡 北宇和郡 南宇和郡

三人

第二區

今治市 越智郡 周桑郡 新居郡 宇摩郡

三人

第一區

高知市 安藝郡 香美郡 長岡郡 土佐郡 吾川郡

三人

第二區

福岡市 福岡郡 糟屋郡 宗像郡 朝倉郡

三人

福岡縣

第一區

福岡市 福屋郡 糟屋郡 宗像郡 朝倉郡 筑紫郡 早良郡 糸島郡

四人

大分縣										熊本縣																		
第一區					第四區					第三區					第二區													
日田郡	玖珠郡	直入郡	大野郡	北海部郡	大分市	大分市	大分市	大分市	大分市	小倉市	門司市	企救郡	田川郡	京都郡	築上郡	三山郡	八女郡	三井郡	三井郡	浮羽郡	大牟田市	久留米市	嘉穗郡	鞍手郡	遠賀郡	戸畑市	八幡市	若松市
四人					四人					五人					五人													

熊本縣										佐賀縣																				
第一區					第二區					第一區					第二區															
天草郡	球磨郡	葦北郡	八代郡	下益城郡	上益城郡	宇土郡	宇土郡	宇土郡	宇土郡	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	熊本市	藤津郡	杵島郡	西松浦郡	東松浦郡	小倉郡	三城郡	神埼郡	佐賀市	佐賀市	宇佐郡	下毛郡	速見郡	東國東郡	西國東郡	別府市
五人					五人					三人					三人					三人										

宮崎縣
鹿兒島縣

五人

第一區
鹿兒島市
鹿兒島郡
掛宿郡
川邊郡
熊毛郡
日置郡

五人

第二區
薩摩郡
出水郡
伊佐郡
始良郡
始良郡
噲啖郡

四人

第三區
肝屬郡
大島島廳管内

三人

沖繩縣
北海道

五人

第一區
札幌市
小樽市
石狩支廳管内
後志支廳管内

四人

第二區
旭川市
上川支廳管内
宗谷支廳管内
留萌支廳管内

四人

第三區
函館市
檜山支廳管内
渡島支廳管内

三人

第四區
室蘭市
空知支廳管内
膽振支廳管内
浦河支廳管内

五人

第五區
釧路市
釧路國支廳管内
根室支廳管内
網走支廳管内

四人

本表ハ十年間ハ之ヲ更正セス

〔國務大臣子爵加藤高明君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(子爵加藤高明君) 諸君、恭ンデ考ヘマスルニ、先帝維新ノ宏謨
フ定メ給ヒタルヨリ、我國諸般ノ施設ハ實ニ驚クベキ速度ヲ以テ進ンダノデ
アリマス、明治五年ニハ學制ガ頒布セラレ、六年ニハ徵兵令ニ依リ國民皆兵
ノ制ガ創始セラレ、八年ニハ元老院及地方官會議ガ設ケラレ、十四年ニ至ッテ
ハ國會開設ガ宣布セラレ、等、其革新ノ程度ハ眞ニ世界史乘類例ノ稀ナル所
デアリマシテ、遂ニ明治二十二年ヲ以テ大憲ガ制定セラレ、愈、立憲ノ制ガ
實施セラレ、コトトナッタノデアリマス、恭ンデ按ジマスルニ、憲法制定終
極ノ御趣旨ハ廣ク國民ヲシテ大政ニ參與セシメラレ、周ネク國民ヲシテ國家
ノ進運ヲ扶持セシメラレ、ニアリト信ジマス、學制頒布以來、實ニ五十餘年
ヲ經マシタル今日ニ於キマシテハ、國民ノ知見モ大イニ進ミ、國民教育ノ普
及竝ニ程度ニ至ッテハ、世界列強ニ比シテ別ニ遜色アリトモ考ヘラレマセヌ、
徵兵令ニ依ル國民皆兵ノ制ガ行ハレテ以來五十年、其間、數回ノ對外戰爭ヲ
モ經、廣ク國民ハ義勇奉公ノ誠ヲ致シ、國家防護ノ責ヲ盡スノ實績ヲ擧ゲタ
リト見ルニ十分ナリト信ズルノデアリマス、將又地方自治ノ創始以來、國民
ガ政治的試鍊ヲ經タル事、是亦五十年ニ近イノデアリマス、斯ノ如クシテ政
治的責任ノ自覺及其普及ニ至リマシテモ頗ル徹底セルモノアリト認ムルノデ
アリマス、近時ニ至リ普通選舉制ノ鬱然トシテ輿論ノ大勢ヲ爲スニ至リマシ
タコトハ、洵ニ偶然デナイト言ハネバナリマセヌ、政府ハ此時代精神ノ趨向
ニ鑑ミ、廣ク國民ヲシテ國家ノ義務ヲ負擔セシメ、周ネク國民ヲシテ政治上

ノ責任ニ參加セシメ、以テ國運發展ノ衝ニ膺ラシムルノガ刻下最モ急務ナリト認メタノデアリマス、斯カル趣旨ヨリ致シマシテ普通選舉制ヲ骨子トスル衆議院議員選舉法改正案ヲ提出シタル次第デアリマス、偕又近時ノ選舉ヲ實見イタシマスルニ、各種ノ惡弊百出シ、殆ど其極ニ達シタカト見ラル、程デアリマス、斯ノ如クニシテ改ムル所ナクンバ適材ハ候補タルコトヲ忌避スルニ至リ、從テ議員全般ノ威信ノ低落トナリ、憲政前途ノタメ、洵ニ憂慮ニ堪ヘナイ所デアリマス、就中、選舉費用ノ濫増ハ最モ著シキモノノ一ツデアリマス、政府ハ是等弊害ヲ矯正シテ選舉ノ公正ヲ期スルノ途ヲ樹テ、選舉費用ノ低下ヲ圖リ、選良ヲ衆議院ニ網羅スルノ法ヲ講ズルハ立憲政治ヲシテ健全ニ發達ヲ遂ゲシムル所以ナリト信ジ、是等ニ關シ現制ニ對シ根本的改正ヲ施スノ必要ヲ認メタノデアリマス、以上ノ趣旨ヲ以チマシテ衆議院議員選舉法全般ニ互ル訂正案ヲ提出イタシマシタ……改正案ヲ提出イタシマシタ、何卒御審議ノ上、御協賛ヲ請フ次第デアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 衆議院議員選舉法ハ明治二十二年二月十一日帝國不磨ノ大典タル大日本帝國憲法ノ宣布イタサレマス同時ニ、同日法律第三號トシテ初メテ公布セラレタノデアリマス、次デ明治三十三年三月ニ至リマシテ其全部ノ改正ガ行ハレ、爾來十有餘年ノ間、明治三十五年、明治四十一年及明治四十三年ニ一部ノ改正ガ行ハレテ居リマスケレドモ、特ニ重要ナリト認ムベキ大改正ノ加ヘラレタコトガナカッタノデアリマス、大正改元ノ初頭ノ頃ヨリ世運ノ推移ニ伴ヒマシテ選舉法改正ノ必要ガ大ニ朝野ノ間ニ主張セララル、ニ至リマシテ、遂ニ大正八年六月選舉權及選舉區制等ニ付テ、重要ナル改正ガ行ハレタノデアリマス、併ナガラ時勢ノ進運ト國民ノ政治的思想ノ發達トハ、更ニ選舉法ノ改正ヲ要求スルコトガ頗ル切實ナルモノガアルノデアリマシテ、依テ政府ハ此際、内外ノ情勢ニ鑑ミ、又從來ニ於ケル選舉ノ實蹟ニ徴シマシテ、衆議院議員選舉法ノ全部ニ互ッテノ改正ヲ行ハムトスルノデアリマス、惟フニ現行衆議院議員選舉法ニ付テハ、選舉資格及選舉區制ハ固ヨリ、其他選舉方法、選舉運動ノ取締及罰則等ニ關係イタシマシテ、改正ノ必要アルモノガ少クナイノデアリマス、政府ハ是等ノ諸點ニ關シテ、本法案ニ於テ大體適當ナル改正ヲ圖リ得タト信ジテ居リマス、此法案ニ於キマシテ改正ヲナサムトスル所ノ要點ハ、大凡次ノ通りデアリマスノデ、箇條ヲ分ッテ

是ヨリ其内容ニ付テ申上ゲヤウト思ヒマス、第一ニハ選舉權ニ付テ申上ゲタイノデアリマス、選舉資格中、納税ニ關スル要件ハ此度之ヲ撤廢スルコトニ致シタルデアリマス、是ガ所謂普通選舉ヲ施行セムトスルモノデアリマシテ、蓋シ今回選舉法改正ノ最大眼目デアアルノデアリマス、凡ソ立憲政治ノ運用ハ、成ルベク多數ノ國民ヲシテ國政ニ參與セシメ、國民ノ意思ニ聽イテ政治ノ進展ヲ期スルノヲ以テ其本義ト致シテ居ルノデアリマス、而シテ其國民ヲシテ國政ニ參與セシメマス途ハ、選舉ノ手段ニ依ルノガ根本デアアルノデアリマス、併ナガラ國民ノ政治能力未ダ進マズ、憲法政治ノ運用尙ホ練熟ノ域ニ達シナイ時代ニ於キマシテ納税ニ關スル選舉資格ノ制限ヲ設ケテ、之ニ依ッテ議會制度ノ穩健ナル運用ヲ期シマスコトハ、固ヨリ適當ノ措置デアリマスケレドモ、教育ノ普及其他時勢ノ進運ニ伴ヒマシテ、國民ノ政治的能力竝ニ訓練ガ又相當ニ進歩セリト認メラルベキ今日ニ於キマシテ、單ニ納税ノ事實ヲ以テ國民ノ參政能力ノ有無ヲ判斷スルコトノ標準ト致シマスコトハ、全ク其理由ヲ發見スルニ苦シム所デアリマス、從テ本改正案ニ於キマシテハ、特別ノ事由ニ基キテ缺格者ヲラシムベキ必要ノアル者ヲ除クノ外ハ、苟モ帝國國民タル滿二十五年以上ノ男子ハ、總テ選舉權ヲ有スルコトニ致シマシテ、衆議院議員ノ選舉ニ關シテハ、各自其意思ヲ國政ノ上ニ述ブルノ機會ヲ與ヘタノデアリマス、是ハ我が國情ニ照シテ最モ適切ナル處置デアルト存ジマス、其結果、選舉有權者ノ數ハ、現行選舉法ニ依リマスト有權者ノ數ガ三百三十四萬餘人デアリマスノニ對シテ、改正案ニ依リマスルト千四百十五萬人ホドニナルノデアリマシテ、其普及ノ割合ハ人口百ニ對シテ現行法ニ於テハ六人デアリマスモノガ、改正案ニ於テハ二十五人トナルノデアリマス、世間往々所謂納税要件ノ無條件撤廢ヲ以テ、急激ニ過グル改正デアルト言ッテ、論議ヲ試ミテ居ル者ガナイノデアリマセス、中ニハ世帶主ヲ以テ選舉資格ノ制限ニスルノガ相當デアルト云フ議論ヲシテ居ル者モアルノデアリマス、併ナガラ世帶主ヲ以テ制限ト致シマスレバ、矢張り選舉人ハ今日ノ三百萬餘カラシテ九百四十萬人位ニ上ボルノデアリマス、此選舉人ハ上ノ方ヨリモ下層ノ方面ガ人ノ多イコトハ申上ゲル迄モナイコトデアリマスカラ、選舉權ヲ擴張スレバ、下層ニ至ルニ從ッテ人數ノ急激ニ増加スルノハ、當然ノ結果デアリマシテ、怪シムニ足リナイノデアリマス、而モ世帶主ニ限ッテ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、事理ニ於テ全ク其正シキヲ見ナイ次第デアリマスカラ、政府ハ

左様ナ方法ヲ採ラナカッタノデアリマス、住所ニ關スル要件ハ選舉資格中ヨリ之ヲ除キマシテ、「住所」ヲ「住居」ト云フコトニ改メテ、選舉人名簿ニ登載セラル、場合ノ條件トスルコトニ致シマシタ、思フニ住居ニ關スル要件ハ、選舉權享有ノ資格トセズシテ、是ガ行使ノ要件ト致シマスコトガ、寧ロ其性質ニ合スルモノト認メラル、ノデアリマス、而シテ同一市町村内ニ六箇月以上ノ住居ヲ有スルコトヲ必要ト致シマシタノハ、選舉人名簿調製ノ正確ヲ期シ、延イテ公正ナル選舉ノ實行ヲ望ムガ爲ニ、此程度ノ條件ヲ存スルコトガ必要デアルト認メタ次第デアリマス、現行法ニ「住所」トアリマスノヲ、此度「住居」ト改メマシタノハ、單ニ法律上ノ抽象觀念デアリマス所ノ住所ヲ以テ名簿登錄ノ要件ト致シマスヨリハ、住居ト云フ具體的標準ヲ捉ヘテ、之ヲ以テ名簿登錄ノ要件トナシマスコトガ、却テ便宜デアルト認メラル、カラデアリマス、學生生徒ニ對シテ、現行法ニ於テハ選舉權ガ認メテアリマセヌノデアリマスガ、今回ハ現行法ノ制限ヲ撤廢イタシテ、選舉權ヲ附與スルコトニ致シタノデアリマス、蓋シ年齡二十五ニ達シ相當ニ思慮智能ノ發達シタ者デアリマス以上ハ、其學生生徒デアアルガ故ニ、選舉權ヲ制限スルト云フ理由ハ、頗ル乏シイト思ハレルノデアリマス、普通ニ學歷ヲ經テ行キマス者ニアツテハ、年齡二十五ニナリマスレバ、大抵ハ多ク既ニ學校ヲ卒業スルノデアリマス、其間偶々學校ヲ卒業セヌヤウナ者ニシテ、特ニ夜學等ニ通學シテ居ル篤學ノ士ニ對シテ、其選舉權ヲ制限スルガ如キハ、普通選舉ノ趣旨ニ反スルモノデアルト申シテモ宜カラウト思ヒマス、ソレ故ニ此度ハ學生生徒ニモ選舉權ヲ與ヘルコトニ致シタノデアリマス、第二ニハ被選舉權ニ付テ申上ゲマス、被選舉權ニ付テモ、亦相當ノ改正ヲ加ヘマシタ、即チ從來ノ被選舉權缺格者デアアル所ノ學生生徒ニ對シテ、選舉權ヲ與ヘタト同様ニ被選舉權ヲ與ヘルコトトナシタノデアリマスガ、其理由ハ是等ノ者ニ選舉權ヲ與ヘタト同様ノ理由デアリマシテ、學生生徒デアアル故ヲ以テ特ニ他ニ一般國民ト區別ヲシテ被選舉權ヲ與ヘナイ理由ガ無イ爲デアアルノデアリマス、次ニ神官神職僧侶其他諸宗ノ教師、小學校教員ニ對シテモ被選舉權ヲ與フルコトニ改正ヲ致シマシタ、從來、是等ノ者ノ被選舉權ヲ制限シテ居リマシタ理由ハ、是等ノ者ヲシテ専心其職務ニ當ラシムトスルコトト、其職務ニ隨伴スル不當勢威ヲ利用シテ選舉ノ公正ヲ害スルガ如キコト無カラシメムガ爲デアッタノデアリマス、併ナガラ民智大イニ進ミ、普通選舉ヲ實施セムトスル今日ニ於キ

マシテ、是等ノ者ノ不當ノ勢威ニ依ツテ選舉ノ公正ヲ害セラルベシトモ信ゼラレスノデアリマス、且ツ職務ニ専心セナケレバナラス者ハ、必シモ神官僧侶等ニ限ラレル次第デアリマセヌ故ニ、是等ノ者ノ被選舉權ヲ制限スル理由ハ既ニ其根據ニ乏シイモノト申サヌケレバナリマセヌ、ソレ故ニ選舉權ノ擴張ニ伴ヒマシテ、被選舉權ノ範圍ニ付テモ必要ナル程度ニ之ヲ擴張セムトスル方針ニ依リマシテ、是等ノ者ニ對スル被選舉權ノ制限ハ之ヲ撤廢スルコトト致シタノデアリマス、政府ニ對シテ請負ヲ爲シテ居リマス者ニ對シテモ亦一般ノ者ト同様ニ被選舉權ヲ與フルコトニ改正ヲ致シマシタ、蓋シ政府ニ對シテ請負ヲ爲ス者ノ被選舉權ヲ制限イタシテ居リマス現行法ノ理由ハ、是等ノ者ガ議員タルニ於テハ、其請負者タルノ立場上、或ハ公正ナル意見ヲ發表スルコトノ出來ヌコトガ有ルノデアラウシ、或ハ又議員タルノ地位ヲ利用シテ不正ヲ圖ル等ノ事ガ有ツテハナラヌト云フ慮リニ出タモノデアラウト思ハレマスケレドモ、會計法規等ガ今日十分ニ完備シテ居ルノデアリマスカラ、斯ノ如キ危險ハ大ニ減少セリト認メラル、ノデアリマス、從テ是等ノ者ノ被選舉權ヲ制限シテ置ク必要ハ既ニ去ツタモノト思フノデアリマスカラ、之ヲ撤廢イタシタノデアリマス、選舉事務ニ關係アル官吏、吏員ハ現行法ニ依リマスト云フト、職ヲ罷メマシテモ尙ホ一定ノ期間ノ或ル間ハ被選舉權ヲ有ツコトガ出來ヌヤウニナツテ居リマス、之ニ對シテ本改正案ニ於テハ是等ノ官吏、吏員ハ在職中ニ限ツテノミ被選舉權ヲ有タシメナイコトニ改正ヲ致シタノデアリマス、現行法ノ如ク職務ヲ罷メタ後ニモ尙ホ一定ノ期間ノ間、是等ノ者ノ被選舉權ヲ制限イタシマスコトハ其必要ガ無イト認メタノデアリマス、且ツ一面ニ於キマシテ、是等ノ者ガ在職ノ儘、選舉運動ヲ致シマスコトハ、今回ノ改正案ニ於テハ之ヲ嚴禁スルコトニ致シタノデアリマスカラ、左様イタシマスレバ或者ガ職ヲ罷メマシタ後ニ直チニ被選舉權ヲ與ヘマシテモ、何等ノ弊害ノ無イモノト信ズルノデアリマス、現行法第十五條ノ官吏ノ上ニ植民地ノ司法官及陸海軍法務官等ヲ加ヘマシテ、是等ノ官吏ハ其在職中、被選舉權ヲ有セザルコトヲ明カニ致シタノデアリマスガ、是ハ單ニ現行法ノ規定ノ趣意ヲ明確ニ致スト共ニ、新ニ同性質ノ官吏ヲ加ヘタダケデアリマシテ、全ク其意義ヲ擴充セルニ止マル次第デアリマス、其他ノ一般ノ官吏及待遇官吏ニ關シマシテハ被選舉權ヲ奪フノ理由ガ有リマセヌケレドモ、法律ニ列舉シテアリマス所ノ政務官ヲ除クノ外ハ、議員トノ兼職ヲ許サナイコトニ致シマシ

テ、以テ弊竇ノ發生ヲ防止セムコトヲ期シタ次第デアリマス、併ナガラ政務官ダケハ官吏ト議員トヲ兼職スルコトヲ許シテアリマスガ、是ハ政務官ノ性質ニ顧ミマシテ、特ニ議員トノ兼職ヲ認メル方ガ却テ必要デアルト考ヘタカラデアアルノデアリマス、第三ハ選舉區ニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、選舉區ニ付キマシテハ、現行ノ小選舉區制ヲ廢シテ、府縣ヲ基礎ト致シテ、之ヲ議員定數三名乃至五名ノ選舉區ニ分割イタシマシタコト、即チ世間ノ所謂中選舉區制ナルモノヲ採用イタシマシタコトガ、重大ナル改正ノ一點デアアルノデアリマス、大選舉區制、小選舉區制、各其區制ニ付テハ、既ニ屢、議論セラレテアリマスガ如ク、利弊長短ヲ存シテ居ルノデアリマス、而シテ我國ニ於テハ既ニ此兩者ヲ實施シタ經驗ヲ有ッテ居リマスガ、何レモ適當且ツ十分デアルト申スコトガ出來ヌノデアリマス、ソレ故ニ今回ノ改正ニ於テハ兩者ノ長所ヲ採ッテ其短所ヲ除イテ、新ニ中選舉區ノ制度ヲ採用シヤウト思フノデアリマス、而シテ其標準トシテ一選舉區ニ配當スベキ議員ノ數ハ之ヲ三名乃至五名ト定メタノデアリマス、二名以下又ハ六名以上ト云フヤウナ例外ノ選舉區ハ全ク之ヲ設ケナカッタノデアリマスガ、之ヲ設ケナカッタノハ、中選舉區ノ主義ヲ徹底セムガ爲デアアルノデアリマス、又人口ニ對スル議員ノ配當標準ヲ定メマヌノニハ、現在ノ議員定數ニハ成ルベク増減ナカラシメムコトヲ期シタノデアリマスカラ、其目的ヲ以テシテ各府縣ニ付テ、人口十二萬ニ付テ議員一人ヲ配當スルノ割合ヲ定メタノデアリマス、現行法ハ人口十三萬人ニ付テ議員一人ト云フ割合ニ定メテアリマスガ、此度ノ改正案ニ於テハ、人口十二萬人ニ付テ議員一人ト云フ割合ニ配當スルコトニ致シタノデアリマス、其結果、衆議院議員ノ定數ハ四百六十六名トナルノデアリマス、現在ノ四百六十四名ニ對シテ二名ダケ増加スルコトニナッテ、大體ハ數ニ増減ノ無イト云フコトニナッテ居ルノデアリマス、次ニ市及島嶼ノ獨立選舉區ノ制度ヲ撤廢イタシタノデアリマス、今日デハ市及島嶼ニ付テハ獨立選舉區ト云フ制度ヲ認メテ居リマスガ、改正案ニ於テハ之ヲ撤廢ヲ致シマシタ、既ニ選舉區制ノ根本主義トシテ中選舉區制ヲ採用イタシマシタ以上ハ、市及島嶼ノ獨立選舉區制ヲ存置スル理由ハ全ク無イト思フノデアリマス、又選舉區ハ原則トシテ地方代表トカ或ハ利益代表ト云フ意味ヲ持ツベキモノデナイト思ハル、ノデアリマスカラ、特殊ノ事情ノ無イ限りハ、市部又ハ島嶼ノ特別ナ地位ヲ代表スルノ意味ノアリマス所ノ選舉區制ヲ存置スベキモノデナイト考ヘラル、ノデアリマ

ス、假ニ或程度ノ利益代表觀念ヲ認ムルコトガ正當デアルト致シマシテモ、市及島嶼ノ獨立選舉區ヲ認メテ、是デ其目的ヲ達成スルト云フノハ疑ガアルト思ハレルノデアリマス、其制度ヲ廢メタカラト云ウテ、或程度ノ利益代表ノ觀念ハ、大體ノ選舉區制ノ間ニ於テ自ラ含ンデ居ルモノト見テ相當デアラウト存ジマス、第四ニハ選舉ノ方法ニ付テ申上ゲマス、新ニ選舉ノ期間ヲ短縮スルノ規定ヲ設ケタノデアリマス、是マデハ解散或ハ任期終了ノ後ニ總選舉ヲ行ヒマス期間ハ、可ナリ長カッタノデアリマスガ、今回ハ其選舉ノ期間ヲ短縮スルコトニ致シマシタ、蓋シ斯ノ如キ規定ヲ設ケマシタノハ、長ク世間ヲ選舉競爭ノ裡ニ置クノ弊ヲ少カラシメルコトニシタイノデアリマス同時ニ、一面ニ於テハ選舉期間ノ短縮ニ依リマシテ、選舉費用ノ……選舉運動ノ費用ヲ減少セシメムトスル所ノ趣意デアアルノデアリマス、即チ解散ノ場合ニ於テハ、解散ノ日ヨリ三十日以内ニ總選舉ヲ行フベキモノト致シ、其他ノ場合ニアリマシテモ、大體之ト同一ノ趣旨ヲ採用イタシマシテ、期間ノ短縮ヲ企テタノデアリマス、開票區ニ關スル規定ニ付テモ、此度ハ普通選舉ヲ實施シ、且ツ中選舉區制ヲ設ケタノデアリマスカラ、開票區ト云フ規定ヲ設クル必要ガアルト致シテ之ヲ設ケタノデアリマス、何トナレバ斯ノ如キコトニ相成リマスト云フト、各選舉區内ノ有權者數ハ大ニ増加ヲ致シマスルシ、且ツ選舉會場ハ各投票所ト相當遠隔ノ地ニ設ケラルベキ關係ニナリマスカラ、ドウシテモ郡市ヲ區域トシタ開票區ノ制ヲ設ケテ、開票ニ關スル手續上ノ便宜ヲ圖ラナケレバナラスカラデアアルノデアリマス、又從來、立會人ノ選任ニ付キマシテハ屢、紛爭ヲ醸シテ選舉ノ公正ヲ疑ハシムル論議ヲ招イタコトガ少クナカッタノデアリマスカラ、此度ハ投票立會人、開票立會人及選舉立會人ハ、議員候補者カラ之ヲ決メテ届出デサスルト云フコトヲ原則トスルコトニ致シタノデアリマス、蓋シ是等ノ立會人ノ職務ハ選舉ノ公正ヲ期スルト共ニ、各議員候補者ト極メテ利害關係ノ密接ナル關係ヲ有ッテ居ルモノデアリマスカラ、議員候補者カラ其人ヲ極メテ届出デシメルコトガ最モ宜シイト存ジタカラ、斯様ニ致シタノデアリマス、是マデハ自ラ被選人ヲ書キマセスケレバナラスコトニナッテ居リマシタ爲ニ、盲人ハ選舉ヲ行フコトガ出來スコトニ相成ッテ居リマシタガ、今回ハ原則ハ固ヨリ自ラ被選人ノ姓名ヲ書カナケレバナリマセスガ、盲人ニ付テダケハ點字ノ投票ヲ有效ト認メマシテ、是ガ規定ヲ設ケマシタ、又現在デハ選舉ハ必ズ投票所ニ行ッテ投票セスケレバナ

リマセヌ爲ニ、船舶乗組員ノ如キ、陸上ニ常ニ居ラナイヤウナ者ノ投票ヲスルコトガ出來ナイヤウナ關係デアリマシタガ、此度ハ不在者ノ投票ニ關シテ相當ノ方法ヲ設クルコトニ致シマシタ、此盲人ノ爲ニ點字ノ投票ヲ認メ、不在者ノ投票ニ關シテ相當ノ方法ヲ設ケマスコトハ、選舉權ノ行使上極メテ緊要ナルコトヲ感ジマシタカラ、新ニ其規定ヲ設ケタノデアリマス、而シテ其投票ノ範圍及方法等ニ關シマシテハ、勅令デ相當ニ之ヲ規定スル考デアリマス、又眞面目ニ當選ノ目的ヲ有ツテ居ラナイデ、漫然トシテ立候補ノ聲明ヲ爲シ、當選ヲ萬一ニ僥倖セムトシタリ、又ハ他人ノ當選ヲ妨害セムトスルヤウナ目的デ、選舉ヲ利用シヤウト云フ者ノ出テ參リマスコトハ、近時往々選舉界ニ見ル所ノ弊害デアリマスガ故ニ、新ニ議員候補者ニ關スル届出制度ト云フモノヲ設ケテ、専ラ其弊害ヲ矯正セムト致シタノデアリマス、又議員候補者ノ届出ヲ致シマスニハ、二千圓又ハ二千圓ニ相當スル額面ノ國債證書ヲ供託イタサセマシテ、其供託物ハ、當該議員候補者ノ得票數ガ、其選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ十分ノ一ニ達シマセヌトキカ、又ハ當該議員候補者ガ選舉期日前十日以後ニ於キマシテ、同候補ヲ止メマシタトキニハ、是ハ政府ニ沒收シテ政府ノ所得ニ屬スルモノト致シタノデアリマス、是モ亦立候補ヲシテ最モ慎重ナラシメ、所謂泡沫候補者ノ輩出ヲ防止セムトスル趣意ニ外ナラヌ次第デアリマス、各選舉區ニ於テ議員候補者ノ數、選舉スベキ議員ノ數ヲ超エテ居リマセヌトキハ、即チ言葉ヲ換ヘテ申上ゲレバ、無競争ノ投票區ニ於キマシテハ、投票ヲ行ハズシテ直チニ其議員候補者ヲ以テ當選者ト致スコトニシタノデアリマス、斯ノ如キ場合ニ於テハ、其候補者ガ當選人ニナリマスコトハ、最早初メカラ能ク明カニナツテ居ルノデアリマスカラ、成ルベク選舉ノ手續ヲ簡略ニシテ、不必要ナル投票ノ手續ヲ省略セムトスルノ趣意デアリマス、又法定得票數ノ計算方法ヲ改メマシテ、其選舉區内ノ議員ノ定數ヲ以テ、有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ四分ノ一ト云フコトニ致シタノデアリマス、現行法ニ於キマシテハ、法定得票數ノ計算ハ、選舉區内ノ議員ノ定數デ有權者ノ總數ヲ割ツテ、ソレノ四分ノ一ト云フコトニナツテ居リマシタ、ソレヲ此度ハ有效投票ノ總數ヲ割ツタモノ、即チ棄權シタモノヲ除イテ、投票ヲ致シタ有效投票ノ總數ヲ割ツテ得タル數ノ四分ノ一ト云フコトニ致シタノデアリマス、是ハ選舉權ノ擴張ニ伴ヒマシテ、一時或ハ棄權者ノ率が大イニ増加スルト云フヤウナ虞レ

ガアリマス、棄權者ガ増加スル時ニ有權者總數ノ標準カラ割出シマス、此四分ノ一ト云フモノハ餘リ多イ數ニ上ボリマスカラ、ソレ故ニ有效投票ト云フコトニ致シタノデアリマス、斯様ニ改正法ニ於テ各選舉區ニ於ケル有效投票ノ總數ヲ基礎トスルト云フ主義ヲ採リマシテ、之ニ從來ニ於ケル選舉ノ實踐ヲ考慮シテ、有效投票ノ總數ヲ議員ノ定數ニテ割ツテ得タル數ト云フコトニ致シマシタノハ、繰返シテ申上ゲマス通り、法定ノ得票數ト云フモノヲ實際ニ於テ餘リ甚シキ不當ノモノニナサナイガ爲デアリマス、補選選舉又ハ再選舉ト云フコトガ誠ニ選舉ニ於テ煩ハシイ關係ヲ生ジテ、從來、其弊ニ堪ヘヌデ居ツタノデアリマス、ソレ故ニ此度ハ補選選舉又ハ再選舉ヲ行フ場合ニ關シマシテ、或種ノ制限ヲ設ケタノデアリマス、即チ議員ノ關員ガ二人ニ達スルマデハ補選選舉ヲ行ハナイコトト致シ、又議員ノ任期終了前六箇月以内ニ當選人又ハ議員ニ關員ヲ生ジマシテモ、再選舉又ハ補選選舉ヲ行ハヌコトト致シタノデアリマス、斯ノ如ク改正ヲ致シマシタノハ、是ガ爲ニ必シモ代議制度ノ運用ニ著シキ支障ヲ生ズルモノトモ認メ難イモノデアアル上ニ、又斯ノ如キ任期終了ニ近イ期間ニ至リマシテ選舉ヲ行ツテ見マシタ所ガ、選舉ヲ行ツタ效果ガ極メテ少イガ故デアアルノデアリマス、又當選承諾届出期限前ニ當選人又ハ議員ニ關員ヲ生ジタトキニハ、法定數以上ノ得票ノアル次點者ヲ以テ之ヲ補充スルノ制度ヲ設ケタノデアリマスガ、是モ亦成ルベク選舉ノ煩ヒヲ省略セムトスルノ趣意ト、一面ニ於テハ此期間ハ選舉ノ結果ガ尙ホ未ダ十分ニ確定シテ居ナイ期間デアリマスルガ故ニ、此期間ニ限ツテ次點者ヲ以テ補充スルコトノ制度ヲ認メマシテモ、敢テ不可ナルコトデナイト考ヘタ次第デアアルノデアリマス、當選人ガ選舉ノ期日後ニ於テ被選舉權ヲ喪失イタシマシタトキハ、其當選ヲ失ハシムルコトニシタノデアリマス、蓋シ被選舉權ナイ者ハ初メヨリ當選人トナルコトガ出來ヌノデアリマスカラ、當選後、被選舉權ヲ失ヒマシタ以上ハ、之ヲ失格者トナシマスルコトハ、當然ノ歸結デアアルカラデアリマス、而シテ一定ノ期間内ニ失格シタル場合ニ於テ、別ニ選舉ヲ行フコトナクシテ、次點者ヲ以テ是ガ補充タラシムルコトト致シマシタノハ、斯様致シマスコトガ、弊害ガ無クシテ却テ便宜ナル方法デアルト考ヘタカラデアリマス、第五ニハ訴訟ニ付テ申上ゲマス、訴訟ニ付テハ選舉ノ結果ヲシテ成ルベク速ニ確定セシムルコトガ最モ望マシイコトデアルト思ハレマス、依テ現行法ノ二級審制度ヲ改メマシテ、選舉訴訟、當選訴訟トモ第一審デ

終審ト致スコトシテ、初メカラ之ヲ大審院ニ出訴スベキモノト致シテ、大審院ノ管轄ニ屬セシムルコトニシタノデアリマス、次ニ選舉運動費用ノ制限超過ノ爲ニ、當選人ノ當選ガ無効トナリマス場合ニ關スル訴訟ヲ認メマシタノハ、運動費制限ノ趣旨ヲ徹底セシムルガ爲デアリマシテ、而モ運動費ノ制限超過ノ爲ニ當選人ノ當選ヲ無効トスルカ否ヤト云フコトハ、裁判ヲ決定スルコトガ最モ穩當ノ手續デアルト考ヘルカラデアリマス、第六ニハ選舉運動及費用ノコトニ付テ申上ゲタイト思ヒマス、選舉運動及其費用ニ付キマシテハ改正法律案ニモ新ニ第十章選舉運動、第十一章選舉運動ノ費用ト云フ二章ヲ設ケタノデアリマス、斯ノ如ク新ナル章ヲ設ケマシタノハ、選舉犯罪ノ誘發ヲ未然ニ防止シ、選舉ノ公正ヲ保持セムト致スト共ニ、選舉運動ノ費用ヲ成ルベク制限イタシタイ趣意ニ出タモノデアアルノデアリマス、選舉ノ公正ヲ保持イタシマスガ爲ニハ、或ハ選舉事務所及選舉運動員ノ數ヲ限定シ、選舉運動員ノ資格ヲ制限シ、選舉ノ當日、投票所附近ニ休憩所ヲ設ケテ氣勢ヲ揚ゲルコトヲ禁止シ、或ハ奇矯ナル宣傳方法ヲ用キルコトナカラシムルガ爲ニ、適宜ノ制限ヲ設ケ得ルノ途ヲ開キ、又選舉運動ハ主トシテ言論文章ニ依ルノヲ以テ最モ適當デアルト認メラレル次第デアリマス故ニ、此方面ニ成ルベクダケ多クノ自由ヲ留保イタシタリ、戸別訪問ヲ全ク禁止スルコトニ致シタノデアリマス、選舉運動ノ費用ハ選舉ノ回數ヲ加フル毎ニ著シク増加スル傾向デアリマス、若シ現狀ノ儘ニシテ推移シテ行キマスト云フト、將來、選舉運動ハ一層激甚トナリマシテ、其爲ニ消費スル費用モ愈々膨脹スルコトニナラウト思ハレマス、殊ニ資力ノ乏シイ候補者ハ、假令、其人格識見ニ於テ卓越シテ居リマシテモ、資力富裕ナル候補者ニ壓倒セラレルコトニナラウト思ハレマス、斯ノ如キ資力ノ競争ヲ致シマスコトハ、決シテ公正ナル選舉競争デアルト云フコトハ出來マセズ、ソレ故ニ新ニ規定ヲ設ケマシテ、選舉運動ノ費用ヲ直接間接ニ制限イタサウト思フノデアリマス、其直接ニ之ヲ制限スル規定ト致シマシテハ、選舉運動ノ費用ニ最大限度ヲ設ケマシテ、其限度以上ニハ選舉費ハ使ッテナラスト云フコトヲ法律ニ定メタノデアリマス、其間接ニ選舉費用ヲ制限スル趣旨ノ規定ト致シマシテハ、前ニ申上ゲタ所ノ選舉運動ノ取締ノコトガ、即チ選舉運動ノ費用ヲ間接ニ制限スルコトニナリマスノデ、選舉事務所ノ數ニ制限ヲ設ケ休憩所其他ノ設備ヲ禁止シ、選舉ノ當日投票所附近ニ選舉事務所等ヲ設ケルコトヲ禁ジ、及ビ選舉運動員ノ資格竝ニ數ヲ限

定イタシタイノデアリマス、是等ノ事柄ハ皆間接ニ選舉運動費ヲ制限スルコトニナルノデアリマス、而シテ法定ノ選舉運動員ニ限リマシテ、選舉運動ノ爲ニ要シマシタ實費ヲ支給シテモ宜シイ、又ハ報酬ヲ受ケテモ宜シイト云フコトニ致シマシタ、又候補者及法定ノ選舉運動員以外ノ第三者ハ演說ヲシタリ或ハ推薦狀ヲ出スコトハ差支アリマセスケレドモ、演說ヲ致スコトト推薦狀ヲ出シマス場合ノ外ハ、選舉運動ヲ致シタリ、又ハ選舉運動ノ費用ヲ出スコトハ嚴ニ之ヲ禁止スルコトニ致シタノデアリマス、而シテ法律ニ定メタル制限額ヲ超過シテ、選舉運動ノ費用ヲ支出イタシマシタトキニハ、場合ニ依ッテ其議員候補者ノ當選ヲ無効トスルコトニ致シテ、以テ選舉運動ノ費用ヲ制限セムトスル目的ノ貫徹ヲ期シタノデアリマス、更ニ或範圍内ニ於キマシテ選舉運動ノ爲ニ、學校トカ或ハ其他ノ公共ノ建物等ノ使用ヲ認メマシテ、又郵便モ一回ダケハ無料ニ發送スルコトガ出來ルヤウナコトヲ認メマシタノモ、亦選舉運動費ヲ減少セムトスル趣意デアアルノデアリマス、而シテ選舉費用ヲ制限イタシマスコトハ、一面ニ於テハ選舉犯罪ノ誘發ヲ未然ニ防止セムトスル意思ヲモ含ンデ居ルモノデアアルノデアリマス、第七トシテ罰則ニ付テ申上ゲタイノデアリマス、罰則ニ付テハ現行法ニ定メテアリマス刑罰規定ハ全部皆之ヲ殘シテ置キマシテ、更ニ之ニ必要ナル追加ト改正ヲ加ヘタノデアリマス、即チ近頃選舉界ニ於キマスル違法行為ガ益々多キヲ加フル傾向ガアルコトニ對シマシテ、之ニ對スル現行法所定ノ刑罰ハ稍々輕キニ過ギル嫌ヒガアルト思ハレマスカラ、新法ニ於キマシテハ一般ニ其刑罰ヲ重ク致シテ取締ノ效果ヲ徹底セシムルコトヲ期シタノデアリマス、現行法第八十七條ノ規定ハ條文ガ煩瑣デアリマシテ、是ガ解釋ニ於テ時ニ依ッテ解釋上ニ色々ナ解釋ヲ見タ弊ガアッタノデアリマスカラ、此度ハ之ヲ改正ヲ致シマシテ、其趣旨ヲ平易ニ規定イタシマシタノミナラズ、新法實施ノ曉、議員候補者ヲシテ利益ニ依リテ其進退ヲ二三ニスルノ弊ヲ無カラシムルガ爲ニ、特ニ此種ノ犯罪ヲ區別シテ條文ヲ設ケタノデアリマス、次ニ利害關係ナル文字ヲ利用シテ誘導ヲ爲シマスル犯罪ニ付テハ、特殊ノ直接利害關係ナル文字ヲ用キマシテ、其意義ヲ明瞭ナラシメテ、解釋ノ區々ニ涉ルコトヲ避ケムト致シタノデアリマス、新法實施ノ曉ニ於テハ、選舉運動ハ専ラ言論ニ依ルコトニナルデアラウト存ジマスカラ、言論ノ自由ヲ保護スルコトガ最モ大切デアルト存ジマシテ、是ガ妨害ヲスル行為ヲ嚴ニ取締ルコトニ致シテ、又一面、從來ノ規定ニ加ヘテ議

員候補者ノ當選ヲ得ル目的ヲ以テ其資格經歷ニ付テ虛偽ノ事項ヲ公ニシテ選舉人ヲ欺クヤウナ行爲ヲモ處罰スルコトニ致シタノデアリマス、現行法ハ當選人ガ其選舉ニ關シテ罰則違反ノ行爲ヲ爲シマシテ刑ニ處セラレマシタトキハ、其當選ヲ無効トスルコト云フコトニナツテ居リマスガ、改正案ニ於テハ、更ニ選舉事務長ガ或種ノ選舉犯罪ニ依ッテ刑ニ處セラレマシタトキハ、其當選人ノ當選ヲ失ハシムルコトニ致シタノデアリマス、是レ專ラ選舉ノ公正ヲ庶幾セムトスルノ趣旨ニ外ナラヌノデアリマス、選舉犯罪ニ依ル選舉權被選舉權ノ停止ニ關シマシテハ、單ニ衆議院議員ノ選舉權被選舉權ヲ停止スルノミニ止メマセデ、廣ク道府縣會議員、市町村會議員等選舉ニ付テ此法律ノ罰則ノ規定ヲ準用スル議會ノ議員ノ選舉權並ニ被選舉權ニモ及ボスコトニ致シタノデアリマス、是ト共ニ一面、裁判所ハ情狀ニ依ッテハ判決ニ於テ此選舉權ノ停止ヲ全然爲サナイト云フコトモ出來ルシ、又ハ其禁止ノ期間ヲ法律ニ定メテ居リマス最長限ヲ短縮スルコト云フ言渡ヲモ爲スコトガ出來ルヤウニシタノデアリマスガ、是等ハ選舉ニ關スル犯罪ノ勦滅ヲ期スルコト共ニ、一面ニ於テハ各場合場合ニ於テ時宜ニ適シタル適切ノ判決ヲ爲サシメムガ爲デアアルノデアリマス、現行法ニ於キマシテ、選舉犯罪ノ時効ハ總テ六箇月デアッタノデアリマスガ、或種ノ犯罪及逃亡犯罪人ニ關シテハ、六箇月デハ短イト思ハル、憾ミガアルノデアリマスカラ、改正案ニ於テハ或種ノ犯罪ニ付テハ、時効ノ期間ヲ一年ト致シ、又逃亡犯罪人ニ付テハ何レノ犯罪ニ付テモ時効ノ期間ヲ一年ト致シタノデアリマス、以上ノ外、新法ニ於テハ新ニ選舉運動及選舉運動ノ費用ノ二章ヲ設ケマシテ、是等事項ニ關スル各種ノ取締規定ヲ制定イタシタノデアリマスカラ、其趣旨ヲ承ケテ是等取締規定ノ違反者ヲ處罰スル規定數條ヲ設ケマシテ、サウシテ之ニ依ッテ選舉取締ノ效果ヲ全カラシムルコトト致シタノデアリマス、最後ニ第八トシテ本法施行ノ時期ニ付テ申上ゲタイノデアリマス、本法ハ之ヲ次ノ總選舉ヨリ施行シャウト考ヘルノデアリマス、既ニ時勢ノ進展ニ伴ヒ、且ツ現行法實施ノ經驗ニ徴シテ、選舉法全部ニ互ルノ改正ヲ行ヒマシタ以上ハ、是ガ改正ノ根本精神ニ鑑ミマシテ、努メテ其施行ノ時期ノ速カナラムコトヲ期シマシテ、次ノ總選舉ヨリ直チニ之ヲ施行スルコトガ最モ必要ノ事デアルト考ヘタノデアリマス、但シ初メテ本法ニ依ッテ議員ヲ選舉イタシマス場合ニ於テハ、必シモ本法ノ規定ニ依リ難イ場合ガアルノデアリマスカラ、此場合ニ關シテハ、特ニ勅命又ハ勅令ヲ以テ適

當ナル措置ヲ爲シ得ルコトトシテアルノデアリマス、是ガ附則ノ第二項及第三項ノ規定ノアル所以デアリマス、政府提出原案ノ内容ノ大體ヲ申上ゲルト斯ノ如キコトデアアルノデアリマス、之ニ對シテ衆議院ニ於テハ四ツノ修正ヲ加ヘラレテ居ルノデアリマス、其一ツハ華族ノ戸主ニ對スル選舉權及被選舉權デアアルノデアリマス、政府提出ノ原案ニ於テハ、現行法通り華族ノ戸主ニ對シテハ選舉權並ニ被選舉權ヲ有セシメナイト云フコトニナツテ居リマシタガ、衆議院ニ於テハ此條文ヲ削除ヲ致シマシテ、華族ノ戸主ニモ選舉權及被選舉權ヲ有セシメルコトニシャウト云フノガ修正ノ一ツデアリマス、衆議院ガ此修正ヲ加ヘラレタ趣意ハ、此度ハ所謂普通選舉ヲ行フト云フコトデアッテ、衆議院ニハ國民全體ヲ……總テ其代表者ヲ有セシメルヤウニスルノガ、普通選舉ノ趣旨デアアルノデアアル、ソレデアアル以上ハ、苟モ國民デアアル以上ハ何等カ資格ヲ失ハシメナケレバナナイ特別ノ必要ナ理由ノナイ限リハ、總テ選舉權、被選舉權ヲ有セシメルノガ當然デアアル、華族ノ戸主デアアルト云フ故ヲ以テ、衆議院議員ノ選舉權、被選舉權ヲ有セシメナイト云フノハ、全ク其理由ノナイコトデアアルト云フノガ、衆議院ガ此點ニ關シテ改正ヲ加ヘラレタ趣意デアルト云フヤウニ承ッテ居ルノデアリマス、其次ニ衆議院ノ修正ハ第四十九條デアリマシテ、政府ノ原案ニ於キマシテハ、投票ヲ開キマストキニハ、投票區毎ニ投票ヲ持つテ來タモノヲ混同シテ開票ヲシャウト云フコトニナツテ居ッタノデアリマス、之ヲ衆議院ノ修正ニ於テハ、開票モ亦ソノ投票區域毎ニ、別ニシテ開票ヲシャウト云フコトニ改正セラレタノデアリマス、現行法ニ於テ投票ヲ混同シテ開票スルト云フノハ、別々ニシテ置クト云フト、單記無記名デアアルケレドモ、投票ガ少イガ爲ニ或ハ誰某ガ投票シタデアラウト云フコトガ分ル虞レガアルカラ、之ヲ混同シテ開票シャウト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、衆議院ノ改正ハ此度ハ普通選舉ニナツテ、選舉人ガ非常ニ増加シタノデアアルカラ、別々ニ開票ヲシテモ決シテ單記無記名ノ趣旨ヲ沒却スルコトハナイ、決シテ何人ガ投票シタカト云フコトヲ分ラシメルヤウナコトニハナラナイノデアアル、而シテ一方ニ於テ選舉人ガ非常ニ多クナツタ場合ニ、若シ其間、選舉上ノ手續ノ上ニ何カ間違ガアッタト云フコトデ、爭議デモ起ツタ場合ニハ混同シテアルト、一開票區域全部ニ付テ、再投票ヲ行ハナケレバナラヌ煩ヒガアル、之ニ反シテ投票區域毎ニ開票シテアレバ、其間違ッタルノ區域ダケデ、再投票スレバ宜シイノデアアルカラ、投票ノ上ニ於テ大イニ煩

ヒヲ除クコトガ出來ル、故ニ此度ノ如キ選舉人ノ數ガ多クナッタ以上ハ、投票區域毎ニ開票シテモ、決シテ單記無記名ノ趣旨ヲ沒却シナイデ、而シテ或場合ニ於ケル煩累ヲ除クコトニ大イナル利益ガアルカラ、斯ノ如キ改正ヲスルノガ宜シイト云フノガ、衆議院ノ改正ノ理由デアッタヤウニ伺ッテ居ルノデアリマス、第三ノ改正ハ第六條デアリマス、是ハ此度ハ選舉運動ノ費用ニ付テ規定ヲ設ケタノデアリマスカラ、選舉ガ終リマシテカラ候補者カラシテ、此度ノ選舉ニ付テハドレダケノ費用ヲ斯ウ云フヤウニ使ッタト云フ、選舉費用ノ届出デヲサセルコトニナッテ居ルノデアリマス、其届出デノ日限ガ政府原案ニ依リマスと云フト、選舉ノ終ハッタ時カラ一週間内、即チ七日内ニ届出デナケレバナラヌコトニナッテ居リマス、一週間内ト云フノハ餘リニ期間ガ短クシテ、ソレデハ届出デラヌル上ニ非常ニ不便ガ多イカラト云フコトデ、衆議院ニ於テハ之ヲ二週間ニ、即チ十四日ニシヤウト云フ修正ヲ加ヘラレタノデアリマス、第四ノ修正ハ第三百三十六條デアリマス、政府ノ原案ニ於テ：：現行法ニ於テハ當選人ガ選舉法ニ違反シテ犯罪ニ依ッテ刑ニ處セラレマシタトキニハ、當選ガ無効ニナルト云フコトニナッテ居ル、現行法ニ於テハ……政府ノ改正案ニ於テハ、當選人ガ選舉違反ニ依ッテ刑ニ處セラレタトキニ當選ガ無効ニナル外ニ、選舉事務長ガ或種ノ犯罪ヲ犯シテ、刑ニ處セラレマシタトキニハ、當選ガ無効ニナルト云フ規定ニナッテ居ッタノデアリマス、他人ノ行爲ニ付テ責任ヲ帶ビルト云フ規定ハ、餘程例外モ例外、大例外デアアルノデアリマス、刑法ニ付テ他人ノ刑罰ニ付テ責任ヲ負フト云フコトハ無イコトニナッテ居リマスガ、選舉ニ付テハドウカシテ選舉ノ公正ヲ期シタイト云フガ爲ニ、例外ノ例外ヲ設ケマシテ、選舉事務長ノ或種ノ犯罪ニ付テハ、其結果、當選人ノ當選ニマデ影響セシムルト云フコトニ致シタノデアリマスカ、其根本ノ趣旨ニ於テハ、衆議院ニ於テモ之ヲ認メラレタノデアリマス、併ナガラ他人ノ行爲ニ付テ責任ヲ負フト云フコトハ、如何ニモ極端デアアル、例外ノ又大例外デアアルガ故ニ、ソレニ付テハ候補者自身ガ大イニ注意ラシテ、サウ云フコトヲヤッテハナラヌト云フテ、十分監督注意ラシテ居ッタニモ拘ラズ、尙且、選舉事務長ガ犯罪ヲシタト云フ場合ニマデ當選人ニ責任ヲ負ハシメルノハ、ソレハ無理デアアルト云フノデ之ニ但書ヲ衆議院ハ加ヘテ、十分當選人ガ監督選任ニ付テ注意ラシテ居ッタ場合ニハ、其失効ガ當選人ニマデハ及バナイト云フ修正ヲ加ヘテ居ラレルノデアリマス、此四ツノ修正ニ付テハ、相

當ノ理由ガ有ルヤウニ考ヘマスノデ、政府ニ於キマシテモ、此修正ニハ同意ヲシテ居ル次第デアリマス

「男爵池田長康君發言ノ許可ヲ求ム」

○議長(公傳德川家達君) 池田男爵ハドウ云フコトデスカ

○男爵池田長康君 議事ノ進行ニ關シマシテ、政府當局ニ御尋ネ致シタイコトデアリマス

○議長(公傳德川家達君) 此頃ハ議事進行ト云フ四字ガ聊カ濫用セラレテ居ルト議長ハ認メテ居リマスガ、ドウ云フ事柄ヲ御尋ネニナルノデスカ、一應御述ベヲ願ヒタイ

○男爵池田長康君 若シカ本員ガ御尋ネ致シマスコトニ付テ、議事ノ進行ニ關シナイト議長ガ御認メニナリマシタナラバ、早速私ノ發言ヲ御中止ヲ御命ジヲ願ヒタウゴザイマス

○議長(公傳德川家達君) 先ヅ其處デ御申述ヲ願ヒタイ

○男爵池田長康君 既ニ本日ハ三月四日ニナッテ居リマス、サウシテ會期ハ餘ス所ニ二句ニ出デナイノデアリマス、既ニ貴族院ニ於キマシテハ、豫算ヲ目下審議中デアリマシテ、承ル所ニ依リマスレバ、貴族院ノ改正ニ關シマスル勅令案モ、近々、議會……貴族院ニ御上程ニナルヤウニ承ッテ居リマス、又衆議院ニ於テハ目下、治安維持ニ關スル所ノ法案ヲ御審議ニナッテ居リマスガ、是モ何レ近々中ニ貴族院ヘ御上程ニナルコトト承知イタシテ居リマス、又本日ハ衆議院議員選舉法ノ問題ニ付キマシテ上程サレテ居ルヤウナ次第デアリマス、貴族院議員デアラレ、現閣僚ニシテ或主要ナ職務ニ御就キニナッテ居ル方々ガ、在野當時ニ於キマシテ常ニ苦キ經驗ヲ御嘗メニナッテ、又當時ニ於キマシテ政府ニ屢、御注意アリ……

○議長(公傳德川家達君) 池田男爵、御發言中御妨ヲ致シテハ恐縮デアリマスガ、唯今、池田男爵ノ議事進行上、政府ニ質問ヲ爲サレタイト云フ御趣意ハ、議長ニ於テ了解イダシマシタカラ、一應御著席ヲ請ヒマシテ、池田男爵ニ議長ハ申上ゲタイコトガゴザイマス、唯今、池田男爵ノ御質問ノ趣意ハ議事ノ進行トハ議長ハ認メマセス、故ニ斯ノ如キ質問ヲ政府ニ爲サル御希望ガアルナラバ、コノ衆議院議員選舉法案ニ對スル政府ヘノ質疑トシテ、通告ヲ爲サレタ方ガ極メテ穩當デアラウト考ヘマス、池田男爵ニ御相談ヲ致シタイト考ヘマス

○男爵池田長康君 議長ガ議事ノ進行ニ是ハ關シナイト云フ御認定デアリマ
スナラバ、或ハ質疑ニ移シマシテ、私ハ此發言ヲ中止イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 議長ハ頗ル満足ニ存ジマス、是ヨリ通告順ニ依リ
マシテ質疑ノ發言ヲ許シマス、板倉子爵

〔子爵板倉勝憲君演壇ニ登ル〕

○子爵板倉勝憲君 質問ニ這入リマスル前ニ一言申上ゲテ置キタイコトゴザ
イマス、私ハ過日、豫算總會ノ席上ニ於キマシテ、コノ衆議院議員ノ選舉法
及貴族院令改正案ニ付キマシテ、政府ニ洵ニ誠意ガ無い、眞面目ヲ缺イテ居
ル、定見ガ無い、確信ガ無い、唯、申譯的デアアル、徒ラニ他人ニ罪ヲ轉嫁スル
云フヤウナコトガ見エル、斯ウ云フコトヲ總理大臣ニ對シテ御質問ヲ申上ゲ
タノデゴザイマス、私ガ豫想シテ居ッタ如ク、總理大臣加藤サンノ御答辯ハ極
メテ不得要領デアッタノデアリマス、私ハ事實ヲ擧ゲテ質問シテ居ルノデア
ル、然ルニ總理大臣ノ御答辯ハ少シモ事實ニ觸レテ居ラナイ、唯、政府ハ眞
面目デアアル、誠心誠意デアアル、決シテ申譯デハナイ、冗談デ天下ノ政治ニ當
ッテ居ラヌゾ、是ダケノ御話デ、何モ無いノデアアル、唯、明答ヲ得マシタノ
ハ、唯今モ若槻内務大臣カラ御話ノアッタ通り、此度コノ衆議院議員ノ選舉
法ガ、所謂普選法案ガ貴衆兩院ヲ通過シテ、可決確定ヲシタ曉ニ、政府ハ速ニ
議會ヲ解散シテ、コノ新選舉法ノ下ニ總選舉ヲ行フカト云フ私ノ答辯ニ對シ
テ、ソレハサウデナイ、直チニ解散ハシナイ、又解散ヲシテ新ラシイ總選舉
ヲ此年ノ秋グラキニ行フト云フ準備モ何モシテナイ、斯ウ云フコトダケハ確
ニ御答辯ヲ得タノデゴザイマス、加藤總理大臣ノ豫算總會ニ於テ私ニ對ス
ル御答辯ノ中ニハナカ／＼面白イ事ガ有ル、先ヅ第一ニ總理大臣曰ク、板倉
サンノ御質問ハ豫算ニチットモ觸レテ居ラナイ、豫算ニ觸レテ居ラナイ質問
ダカラ、先ヅ豫算總會デハ御答辯ニハ及ブマイ、何レ他ノ機會ニ答辯スルト
言ハレテアッタ、嚴正ニ申シマスレバ、サウデゴザイマセウト私モ考ヘル、私
モ、豫算總會ニ於ケル議員ノ質問ガ豫算ニ觸レテ居ナイト云フコトハ、面白
クナイコトデアラダラウトハ私モ考ヘテ居ル、併シモウハハ既ニ數十年ト云
フカ、或ハ十數年デゴザイマスカ分リマセヌガ、兎ニ角、長ラクノ間、是ハモ
ウ議院ノ慣例トナツテ居ッタ、何モ私ノミデハナイノデ、皆豫算總會ノ質問ニ
於テ、豫算ニ觸レテナイ質問ハ澤山アッタ、又現ニ政府ガ此度ノ豫算總會ニ
於テモ現ニソレニ答辯シテ居ラレル、豫算ニ觸レテナイ質問ニ對シテ政府ハ

答辯シテ居ラレルノデアアル、唯、私ノ質問ニ對シテ、御前ノ質問ハ豫算ニ觸
レテ居ラナイカラ答ヘナイ、何レ他ノ機會ニ讓ラウト云フ御話ガ、私ニハ分
ラナイノデス、又モウ一ツ斯ウ云フ事ガ有ル、加藤總理大臣ハ私ノ答辯……
質問ニ對シテ、ソレハ板倉サン御一人カ御二人ノ仰シヤルコトデアアル、貴重ナ
ル時間ヲ其爲ニ無駄ニ費スコトハ出來ナイ、ソレダカラシテ、若シ多數ノ御方
ノ御希望デアアルナラバ、私モ亦他ノ機會ニ答ヘヤウ、私ハ敢テ政府ニ借問ス
ルノデアアルガ、過去ハ勿論ノコト、現在ニ於テモ豫算總會ノ質問デ私ハ研究
會百何十人ノ代表者デゴザル、私ハ公正會何十人ノ代表者デゴザル、私ハ同
成會何十人ノ代表者デゴザル、私ハ交友俱樂部何十人ノ代表者デゴザル、私
ハ茶話會何十人ノ代表者デゴザルト言ッテ、政府ニ質問シテ居ル人ガ一人デ
モアリマスカ、唯、板倉一人デアアル、一人カ二人ノ爲ニ貴重ノ時間ハ無駄ニ
出來ナイ、ソレダカラ答ヘナイ、斯ノ如キ御質問ハ殆ド理由ノナイ……何ン
ト申シテ宜イカ、殆ド筋ノ立たナイ御答辯デアアルノデアアル、私ハ總理大臣ニ
申スノデアアル、決シテ……御答辯ガナケレバナイデ宜イノデアアル、御答辯ガ
出來ナケレバ出來ナイデ、ソレデ宜シイノデアアル、ソレヨリ外ニ申スコトハナ
イ、又今日、高橋農商務大臣、寧ロ高橋農商務大臣ト申シマスルガ、私ノ言フ所
ハ高橋政友會總裁……御出デニナリマセヌカラ何カノ無いニ矢ヲ放ツト云
フコトガゴザイマスルガ、此所ニハ小川司法大臣モ居ラレマスコトデアリマ
スカラ、私ハ矢張り高橋サンニ對シテ一言ヲ申シタイト思ヒマス、此間、豫算
總會ニ於キマシテ私ガ質問ヲシテ、ソレニ對スル高橋農商務大臣ノ答辯ト云
フモノハ實ニ驚キ入ッタ答辯デアアル、丸デ政黨ト云フモノヲ否認シテ居ルノデ
アル、政黨内閣ト云フモノヲ否認シテ居ルノデアアル、高橋サンノ言ハレルノ
ニ、政黨ノ主義政策ト云フモノハ恰モ水ニ浮ベル浮草ノ如ク、昨日ハ東、今日
ハ西デ宜シイノデアアル、是ハ時勢ノ推移ニ順應シテ居ルノデアアル、是ハ人心ノ
歸嚮ニ從ツテ居ルノデアアル、是ハ輿論ノ趨勢ニ從ツタノデアアル、コンナ事ハ豹變
デハナクシテ進歩ダ、斯ウ云フコトヲ高橋サンハ言ハレタノデアアル、一年前
ノ普選尙早論カラ一變シテ手ノ平ヲ翻スガ如クシテ普選即行論ニ御變ヘニ
ナッタ政友會、コノ政友會ノ變説改論ト云フモノハ私ハ豹變デアラウト思ッ
タラ、豹變デハナクシテ進歩ダト仰シヤル、是ガ進歩デアアルノカ、果シテ
然ラバ政黨ノ主義、主張、政見、政策、殆ド當テニナラナイ、昨日ノ事ガ今
日變ハル、是ハ進歩ナリ、今日ノ事ガ明日變ハル、是モ進歩デアアル、私モ時

勢ノ推移ニ從テ主義、方針トカ、主張トカ云フモノガ段々ニ變ハツテ行クト云フコトハ是ハ當然ノ事デアル、十年前言ツタ事柄ヲ今日ソレヲ固執スル、二十年前言ツタ事柄ヲソレヲ今日モ守ル、サウ云フコトヲ私ハ攻撃スルノデヤナイ、又質問スルノデモナイ、併シコノ政友會ノ變説改論ノ餘リニ早イコトハ、是ハ實ニ進歩デアルカ、豹變デアルカ、斯ノ如クンバ、政友會ト云フモノハ天下ニ信ヲ得ルコトハ出來ナイト思フ、寧ロ、ソレヨリモウ少シ淡泊ニ御答ヘニナツタ方宜カラウト思フ、政友會ノ變説改論ト云フモノハ他ニアル、曰ク政權ニ有リ付キタイ爲デアル、曰ク政權ヲ手離シタクナイ爲デアル、高橋總裁ハ斯ウ淡泊ニ簡單ニ仰シヤツテ下サレバ、私トノ質問ハ極メテ簡單明瞭ニ片付イタノデアル、高橋總裁ガ又言ハレタコトガアル、ソレハ平素、主義、主張、政見、政策ヲ異ニスル反對政黨ト共ニ内閣ヲ組織シテモ差支ナイ、或ハ又其内閣ニ這入ッテソレモ差支ナイ、是ハ君國ニ對スル至誠奉公デアル、苟モ一片私ノ、私心ガ無イナラバ、一片ノ私心ガ無イナラバ何等差支ナイ、斯ウ云フ御答辯ガ此間ノ豫算總會デアッタノデアル、誠ニドウモ驚入ッタ御答辯ト私ハ考ヘル、先ヅ國家有事ノ際ト云フガ如キ非常ナ場合ニ於テハ、所謂舉國一致内閣デ、從來、主義政見ヲ異ニシテ居タ政黨同士ガ舉國一致デ其差當リノ事變ニ當ル、斯ウ云フコトハ何人モハ承認スル次第デアル、併シ平時ニ於テ唯、君國ニ對スル至誠奉公デアルノ、一片ノ私心ガ無イノ、ソノ一點張リデハ、ドウモ超然内閣モ許サナクテハナラズ、特權内閣モ許サナクテハナラズ、何モ政黨内閣モ何モアッタモノデヤナイト私ハ考ヘル、私ハ政黨ノ首領トシテ、政友會ノ總裁トシテ高橋是清君カラ斯ノ如キ御答辯ヲ伺フト云フコトハ、實ニ心外千萬ニ存ジタノデアル、此點ニ於テハ小川司法大臣カラ御代理デ御答ヘ下サレバ私ハソレデ満足イタシマス、實ハコノ高橋サンノ御居デニナラナイノニ、斯ウ云フコトヲ言フノモ、オカシウゴザイマスガ、其時ニハ、アノ豫算總會ノ室ト云フモノハ甚ダ温カッタモノデアルカラ、高橋農商務大臣ハ少シ坐睡ツテ居ラレタノデナイカ、寢惚ケ眼デコナ御答辯ガ出タノデナイカト私ハ思フノデアル、或ハ又サウデナクシテ、私ノ質問ガ少シ亂暴ダッタモノダカラ癪ニサワツテ、何ヲ小癪ナト云フヤウナ御氣ニナツテ、ツイ、コンナ脱線的ノ御答辯ガアッタノデハナイカト私ハ思フノデアル、昔、源義經ガ軟弓ヲ恥ヂタト云フ話ガアル、義經ハ大層弱イ弓ヲ引イテ強イ弓ノ引ケナカタ人デアル、是ガ自分ノ軟弓ヲ落シタノデ、ソ

コデ敵前ニ於テ、敵ノ前ニ於テ矢石ヲ冒シテ、サウシテ自分ノ軟弓ヲ拾ッテ歸ツタ、敵ニ自分ノ恥ヲ遣シテハイカス、ト云フコトデ拾ッテ歸ツタト云フ話ヲ、私ハウロ覚えニ覺エテ居ル、私ハ高橋農商務大臣ニ失禮ナガラ御勸メヲシタイノハ、此間ノ豫算總會ノ御答辯ハドウカ御取消ニナツテ、速記録カラ御抹消ニナル方ガ高橋總裁ト云フ農商務大臣ノ爲ニ、高橋農商務大臣ノ名譽ノ爲ニ然ルベキコトデアルダラウト考ヘル、免ニ角、加藤總理大臣ノ御答辯ト云ヒ、高橋農商務大臣ノ御答辯ト云ヒ、甚ダ不得要領デアッタノデアリマスカラ、私ハソコデ考ヘタノニ、ソレハ私ノ質問ガ甚ダ不得要領デアッタノデハナイカ、私ノ質問ガ不得要領デアッタ爲ニ、之ニ對スル御答辯ガ不得要領ニ終ツタノデハアルマイカト考ヘマス、ソレ故ニ、私ハ此質問ノ原稿ヲ印刷ニ付シマシテ、此間、國務大臣ノ御手許ヘハ差上ゲテ置キマシタ、又失禮デハゴザイマスルガ、議員諸君ノ御手許ヘモ上ゲテ置キマシタ、若シ出來マスルナラバ、之ニ對スル加藤總理大臣、高橋農商務大臣ノ明瞭ナル御答辯ヲ、無論、今日デナクテ宜シウゴザイマスカラ、後日ニ文書ヲ以テ御答辯ヲ得タイ、斯ウ云フコトヲ質問ニ這入リマスル前ニ、一言申上ゲテ置クノデゴザイマス、唯今カラ此本案ニ付テノ私ノ質問ヲ致シマス、私ノ質問ハ斯ウ云フコトデゴザイマス、私ハ此法案ノ撤回ヲ政府ニ勸告スル、政府ハ此法案ヲ御撤回ナスタ方宜カラウト云フコトヲ政府ニ勸告スル、政府ハ果シテ私ノ此勸告ニ應ズルノ意思アリヤ否ヤト云フコトヲ御質問スル、御斷リヲ申シテ置キマスカ、私ハ普通選舉反對論デナイ、反對論トシテ此勸告スル譯デハナイノデアル、私ハ普通選舉贊成者ノ一人デアル、私ハ此普通選舉ノ贊成人ノ一人トシテ此勸告スルノデアル、是ダケハ先ヅ明瞭ニ御承知置キヲ願ヒタイノデアル、私ハ昨日ヤ今日ノ普通選舉論者デハナイノデアリマス、曩ニ法制審議會ノ特別委員會ニ於キマシテモ、所謂普選、即チ納稅資格ノ撤廢ト云フコトニ贊成シタ一人デアル、少シ極端デハゴザイマシタガ、男女同權、男女平等、男女無差別、私ハ男モ女モ皆一絡ニ選舉權ヲ與ヘロ、被選舉權ヲ與ヘロ、斯クマデ言ツタ私デゴザイマス、私ハ今日マデ其說ハ少シモ變ヘナイ、私ハ豹變ハシナイノデアル、私ハ其代リ進歩モシナイカモ知レナイ、依然トシテ普通選舉論者デアル、ソノ普通選舉ノ論者デアリ、コノ普選贊成人ノ立場カラ私ハ政府ニ對シテ、コンナ法案ハ御撤回ニナル方ガ然ルベキダと思フノデアル、是カラ、マア一二、其理由ヲ申上ゲヤウト思フ、第一ニハ此法案、今

茲ニ御提出ニナツテ居ル法案ハ甚ダ杜撰千萬デアル、元來、此法案ハ無確信デアル、無定見デアル、少シモ腰ノ据ッテ居ナイ現内閣ト、又從來、此問題ニ付テ御意見ヤ主張ガ全然異ナツテ居タ與黨三派トガ、不自然ナ寄合デ捏ネ上ゲタ是ハ法案デアルノデアル、其上ニ持ッテ行ッテ、又樞密院ノ修正ニ盲從シタノデアル、之ヲ以テ見ルモ、此法案ノ間ニ一貫シタル主義主張ナキヲ怪シマナイノデアル、政府ノ意思ノ在ル所ヲ忖度シマスルト私ハ斯ウ言ヒタイノデアル、唯、是ハ申譯ノ案デアル、ダカラシテ選舉人、被選舉人ノ年齡ガ二十五歳デアラウト、三十デアラウト、ソナ事ハチットモ構ハナイ、私ノ救恤トカ云フ文句ガ曖昧デアラウト曖昧デナカラウト、ソナ事ハ構ハナイ、大選舉區比例代表ガ無クナツマッテ、ソコヘ中選舉區ナント云フヤウナ變ナモノガ出テ來タツテ、ソレハ構ハナイ、又華族ノ戸主ニ選舉權ヲ與ヘルトカ、被選舉權ヲ與ヘルトカ、イヤ、ソレハ與ヘナイトカ、或ハ罰則ノ連坐法ガ宜イトカ、イケナイトカ、要スルニ、此改正法案ガ普通選舉案ラシク見エレバソレデ宜イノデアル、此法案ガ普通選舉案ラシク世間ニ見エサヘスレバ、ソレデ政府ノ目的ハ達シテ居ルノデアル、斯ウ私ハ推測スルノミナラズ、斯ウ確信シテ居ルノデアリマス、不思議ナノハ、此法案ニ對スル衆議院ノ與黨三派、コノ與黨三派ノ態度ガ甚ダ不思議デアル、初メ此與黨三派ノ申合デ政府ノ原案ガ出來上ガッタノデアル、デ、之ヲ樞密院ニ提出シタノデアル、所ガ樞密院ノ議論ガナカ／＼遅タトシテ進マナイ、御詮議ガナカ／＼抄ラナイ、何ダカ大キナ修正ガ茲ニ加ヘラレルヤウナ模様ガアッタ、當時、其當時……其當時ト申シマスルト大層長イ、古イヤウダガ、一月バカリ前ノ話デアル、其當時、腕ヲ扼シ肩ヲ怒ラシ目ヲ睨イテ、遙ニ樞密院ノ方ヲ睨ンデ、選舉人及被選舉人ノ年齡ノコトダトカ、及華族ノ戸主ニ此權利ヲ與フルト云フコトナドハ、實ニ此法案ノ重大ナル骨子デアル、是ハ一步モ譲ルベキモノデナイ、斯ウ叫ンダノハ一體誰カ、憲政會デハナカッタノデアリマセウカト私ハ言ヒタイ、然ルニ樞密院デハ選舉權者……被選舉權者ノ年齡ヲ三十歳ト改メテ來マシタ、華族ノ戸主ニ對スル條項ハ是ハ削ッテ來タノデアリマス、オマケニ、私ノ救恤ト云フヤウナ妙ナ御慰斗マデ附ケテ政府ニ返シテ來タ、政府ハソレヲ默ッテ引受ケタ、サウシテ、ソレガ今回ノ衆議院ニ提出サレタ政府ノ原案トナツタノデアル、憲政會ノ總務デアル若槻内務大臣ノ御説明ニ曰ク、是ハ衆議院

ニ於テノ事デアル、被選舉人ノ……若槻サンノ仰シヤルコトデスヨ、若槻サンノ仰シヤルコトハ、被選舉人ノ年齡ニ付テハ、二十五歳ヲ可トスル説モ有ル、又三十歳ヲ可トスル説モ有ル、要スルニ、唯五ツ違ヒデヤナイカ、別段大シタコトデモナイデヤナイカ、ソレダカラシテ今暫ク之ヲ三十歳ニシテ置イタノデアル、斯ウ言ハレル、又華族ノ戸主ニ選舉權、被選舉權ヲ與ヘルト云フコトニ付テモ、之ヲ與ヘルト云フ方ガ宜イト云フ説モ有ル、與ヘルコトガ宜イト云フヤウナ説モ有ル、又ソレニ對シテ反對論モ有ル、與ヘナイ方ガ宜イト云フ反對論モ有ル、何モ是ハ千人バカリノ華族ノ戸主ニ關スルコトデアル、大シタ事デヤナイ、斯ウ若槻サンハ説明ナサル、故ニマア大シタ事デヤナイカラ、暫ク現行法通り華族ノ戸主ニハ選舉權、被選舉權ヲ與ヘナクテモ宜イデヤナイカ、何モ大シタ事ハナイカラ左様御承知ヲ願ヒタイト云フ若槻サンノ説明ガアッタ、サウスルト今マデ目ヲ睨キ、腕ヲ扼シテ居ラレウニヤ／＼ニナツテ、被選舉權者ノ年齡、ソレハマア三十歳デモ二十五歳デモ宜イ、ソレハ政府ノ言フ通り大シタ事デヤナイ、華族ノ戸主、マア是モ大シタ事デヤナイ、政府ノ言フ通り大シタ事デヤナイ、苟モ政府ノ言フ通り、皆是ハ大シタ事デヤナイカラ、皆サウシテ政府ノ言フ通りデ宜カラウ……

○議長(公爵徳川家達君) 御質問中デアリマスガ、用語ハ、ドウゾ十分御注意ヲ請ヒタウゴザイマス

○子爵板倉勝憲君 先ヅソレデ憲政會トシテハ、此二條項、即チ年齡ノコト、華族ノコト、此二條項ハ大シタ事デナクナツマッテ、一月バカリ前マデハ、是ハ許スベカラザル要件デアル、一步モ譲ラナイト仰シヤッタ其二條項ガ、一月後ニナルト大シタ事デヤナイカラ、ドウデモ宜カラウ、斯ウナツテシマッタノデアル、スルト茲ニ現ハレテ來タノガ政友會デアル、岡崎政友會總務ノ御言葉ニ依リマスルト、政友會ハ一年以前ノ從來ノ普選尙早、政友會ガ唱ヘテ居タ從來ノ普選尙早ノ非ナルヲ悟ッテ、普選即行ノ可ナルコトヲ知ッテ、輿論ガ普選尙早ハ容サレナイコトニナツタ、コノ普選即行ト云フ輿論デアルカラト云フノデ、輿論ニ從ッテ普選即行ト云フコトニナラレタサウデアル、我々ドモ普選者論カラ見ルト、政友會ハ甚ダ此普選ニ付テハ新參者デアル、一年前カラノ、唯ホンノ新參者デアル、所ガ此新參者ガナカ／＼背カナイノデアアル、被選舉權ノ年齡二十五歳ハ是ハ原案ノ骨子デアル、是ハ一步モ譲ラレザ

ル、讓ルベカラザルモノデアル、華族ノ戸主ニ選舉權ヲ與ヘナイ、斯ウ云フコトハ怪シカラヌ、是ハ廣ク遺漏ナク日本國民ニ權利ヲ附與スルト云フ此改正案ノ根本ノ主義ヲ滅却スルモノデアル、甚ダ不都合ナ修正デアル、決シテ一步モ讓レナイ、斯ウ云フコトガ政友會ノ口カラ出タ、ソレデ此憲政會ト政友會トノ雙方ノ議論ガ意外ニモ段々聲高ニナツテ來テ、政友會ハ假令三派ノ協調ガ破レテモ、此點ハ一步モ讓レナイ、斯ウ言フ、憲政會ハ又憲政會デ、若シ政友會ガ斯カル枝葉末節ニ拘泥スルヤウナコトガアルナラバ、議會ノ解散ヲ賭シテモ後ハ引カナイ、斯ウ憲政會ハ言ヒ出シタ、今ニモ談判破裂スルカト見物人ニ、是ハ一昨日、一昨々日ノ話デゴザイマスガ、見物人ニ手ニ汗ヲ握ラシタノデアル、所ガ先ヅ此狂言ハ諸君御承知ノ通りノ始末デ幕ガ下リテ、サウシテ政府ハ又政友會ノ修正ヲ茲ニ認諾シタノデアル、此法案ハ再ビ茲ニ塗替ヲサレタノデアル、元來、此二條項、即チ華族ノ戸主ニ對スルコト被選舉人ノ年齡ノコト、此二條項ハ一月前マデハ憲政會ガ固ク守ツテ居タ、實ニ重大ナル骨子デ、此法案ノ骨子デアル、斯ウ言ツテ居タモノデアルガ、ソレガ忽チニシテ是ハ大シタ事デナイ、斯ウ云フコトニナツテシマッタ、到頭終ヒニハ枝葉末節、微細ナル、輕微ナル細目ト、斯ウ云フ風ニ至ツタノデアル、實ニ政友會ノ豹變ト申シマスルカ、進歩ト申シマスルカ、先ヅ政友會ノ進歩ガ此處マデ來ルト實ニ徹底的デアルト私ハ考ヘル、高橋農商務大臣ガ先程申シマシタ仰セニ從フト、政黨デハ斯ウ云フコトハ豹變トハ云ハナイ、進歩ト云フノダサウデゴザイマスルカラ、暫クソレニ從ツテ進歩ト申シマスルガ、政友會ノ進歩ノ實ニ早イニモ實ニ驚クノデアリマスガ、憲政會ノ進歩ト來ルト是ハ又一段上ハ手デアル、一月前ノコトガ直グ一月後ニ變ハルト云フヤウナコトデアル、私共ノヤウナ實ニ鈍、遲鈍ナ者ハ唯モウ呆レ返ツテ開イタ口ガ塞ガラスト云フヨリ外ハナイノデアル、兎ニ角、憲政會ハ此條項……二條項ヲ枝葉末節ト言ツタ、枝葉末節デアルナラバ何故ニ暫クソレハ政友會ノ意見ヲ容レナイカ、其政友會ノ所謂合理的修正ノ全部ニ憲政會ガ同意シナカタデアルカ、何故ニ大シタ事デナイ條項ナラバ、サウ切齒扼腕シテ所謂與黨同士ガ喧嘩ヲナサルニモ私ハ及バナイト思フ、私ハ既ニ政府ノ原案ガ樞密院デ修正サレタ時ニ、政府ガ協調ノ必要ト云フコトヲ口實トサレテ、其樞密院ノ修正ニ屈從シタト云フコトハ甚ダ醜イ、陋醜デアルト私ハ認メタ者デアル、サウシテ又ソレノ結果トシテ、コンナ杜撰ナ、少シモ定見ノナ

イ法案ヲ此議會ニ提出サレタト云フコトハ、實ニ政府ノ恥ノ上塗ラシタモノデアルト私ハ考ヘル、其上ニ又今度ハ衆議院ノ修正ヲ受諾シタト云フコトニ至ツテハ、政府ノ威信トカ、政府ノ信望トカ云フモノハ、殆ド地ヲ掃ツテシマッタト云ハナケレバナラヌト思フノデアル、元來、此法案ノ杜撰デアリ、不完全デアリ、支離滅裂デアアル、サウ云フコトハ私バカリ言ツテ居ルノデハナイ、世間ノ少數者ガ之ヲ言ツテ居ルノデハナイノデ、現ニ衆議院ニ於テ之ヲ見テモ、此法案ガ不徹底、不完全デ多クノ修正ヲ要スル點ガアルト云フコトハ、必シモ政府反對黨ノ政友本黨ヤ或ハ其他ノ少數ノ人々バカリ言ツテ居ルノデハナイノデアル、中正會デモ實業同志會デモ皆是ハ不完全ダト言ツテ居ルノデアル、否、政友會デモ憲政會デモ、革新俱樂部デモ皆之ヲ不完全、不徹底ナ案デアルト言ツテ居ルノデアル、政友會、憲政會、革新俱樂部ニ於テ、此案ハ一字モ削ルベカラズ、一條モ削除スベカラズ、完全ナル普選法案デアルト言ツテ居ル人ハ一人モ無イノデアル、殆ド總テノ衆議院議員ハ本案ハ不徹底デアル、不完全デアル、支離滅裂デアルト言ツテ居ルノデハナイカ、唯衆議院ニ於テ此本案鵜呑論者ノ言フ所ハ、此法案ガ洵ニ不徹底デアリ杜撰デアルケレドモ、若シ衆議院ガ政府ノ提案ヲ修正スルナラバ、又貴族院ヲシテ之ニ際ヲ容レ、修正ヲ加フル口實ヲ與ヘルモノデアルカラ、故ニ先ヅ暫ク衆議院デ何等修正ヲ加ヘナイデ、全然鵜呑ニシテ通過スベキモノデアルト云フコトガ、即チ此政府案鵜呑論者ノ唯一ノ理由ナンデアル、私ハ考ヘル、是ハ洵ニ不可思議千萬ナコトデアル、洵ニ譯ノ分ラナイ御斟酌、御遠慮ト云フベキモノデアル、元來、衆議院議員選舉法ハ法案デアル、法律デアル以上ハ、法律的ニ言ヘバ無論貴族院ニ於テ之ヲ容喙スル權利ハアル、權能ハアル、否決モ出來ル、無論、修正ハ出來ル、假令、政府案ヲ衆議院デ改正シヤウガ、修正シヤウガ、又修正シマイガ、貴族院デ更ニ之ヲ否決スルナリ修正スルナリスルコトハ、何等差支ハナイノデアル、衆議院デ修正シタカラ、貴族院ガ修正スル、衆議院ガ鵜呑ニシタカラ、貴族院モ之ヲ鵜呑ニシナクチャナラス、サウ云フ理窟ハ私ハ無イト考ヘル、併ナガラ之ヲ政治的ニ言ヘバ……法律的デナク政治的ニ云ヘバ、衆議院議員ノ選舉法ハ衆議院議員ダケノ選舉法デアル、貴族院令、即チ貴族院令ノ改正ト云フモノハ、貴族院ダケデ議シテ、衆議院ノ同意ヲ得ル必要ガ無イト云フ唯今ノ極メデゴザイマスルカラ、此法律ノ立前上、先ヅ貴族院トシテハ、相成ルベクハ衆議院ノ選舉法ニハ容喙スルコトヲ避ケルコトガ私ハ政治道德デア

ルダラウ、政治上ノ德義デアルト思フ、是ハ私ノミナラズ、満場ノ諸君モサ
ウ御考ヘノコトデアルト考ヘマス、故ニ我々貴族院ノ立場カラ言ヘバ、先ヅ
非常ニ重大ナル骨子ニ付テ異論ガ無イ限リハ、先ヅ衆議院ノ選舉法ニ付テハ
貴族院ハ沈黙シテ同意スルコトガ、極メテ穩當ナル政治的行動デアルト私ハ
信ズル、然ルニ衆議院ノ多數者ハ何故ニ其ノ自分ノ主義ヲ固守シテ、衆議院
ニ於テ此法案ニ徹底的修正、確信的修正ヲ御加ヘニナルコトヲ躊躇ナサレタ
ノカ、其譯ガ分ラヌ、何モ貴族院ニ對シテ御遠慮ニハ及バヌ話デアル、寧ロ
衆議院ニ於テ十分ニ議ヲ練リ、説ヲ闘ハセ、而シテ十分ニ政府案ヲ修正シ
テ、是ナラバ完全ダト云フ所マデニ十分御修正ニナツテ、サウシテ之ヲ貴族
院ニ御送付ニナツテ來レバ、貴族院ガ之ニ容喙スルト云フ一體理由ガ無クナッ
テ來ル、衆議院ガ此杜撰ナル政府案ヲ丸吞ニシテ、サウシテ之ヲ貴族院ノ方
ヘ送ツテ來タト云フ……貴族院ニ送付シテ來タ、是ハ却テ貴族院ヲシテ、政
治的ニ行動スルコトヲ止メテ、法律的ニ行動セシムルコトニナルヤウナコト
ハ無イダラウカ、私ハ深ク衆議院ノ爲ニ之ヲ惜ム者デアル、私ハ貴族院ノ諸
公ガ此際此法案ヲ政治的ニ御取扱ヒニナルカ、或ハ又法律的ニ取扱ハレル
カ、ソレハ私ノ知ツタコトデナイ、唯私一人トシテハ所謂普通選舉賛成者ノ
一人トシテ即チ普選論者ノ立場カラ、政府ニ對シテ此杜撰ナル、支離滅裂ナ
ル、申譯案ナル此法案ノ撤回ヲ勸告シ、之ヲ要求スルモノデゴザイマス、第
二ノ理由ヲ申上ゲマス、昔カラ巧遅ヨリ拙速ト云フコトガアル、時代ノ緊急
急速ヲ要スル場合ニハ、不完全ナガラ、不徹底ナガラ、マア取敢ヘズト云フ應
急手段ト云フコトハ、決シテ是ハ無理カラヌコトデアル、私ハ若シ此法案ガ
貴衆兩院ヲ通過シテ法律トナッタトキニハ、政府ハ直チニ其施行準備ニ取掛ッ
テ、遅クモ本年ノ秋頃ニハ衆議院ヲ解散シテ、新ニ出來タ選舉法ニ依ツテ、其
選舉法ノ下ニ總選舉ヲ行フモノデアルト、私ハサウ信ジテ居タ、然ルニサ
ウデナイ、前々申上ゲマシタ通り豫算總會ニ於テモ、加藤總理大臣ノ御答辯
デハ此改正法案ガ假令兩院ヲ通過シテモ、政府ハ之ガ爲ニ此理由デ衆議院ヲ
解散スルノ意思ハ無イ、從テ新選舉法ノ下ニ總選舉ヲ行フト云フ準備ナドハ
シテ居ラナイ、斯ウ明確ニ答ヘラレ、又衆議院ニ於テ若槻內務大臣カラモ同
様ノ御説明、御答辯ガアッタノデアル、次ノ總選舉ト申シマスルト大正十七
年五月、五月ハドウデアリマスカ、マア十七年ニナルノデアル、今カラ三年
先キノ御話ダ、私ハ三年先キノコトヲ今カラ茲デヤキモキ議論ヲシ、論議ス

ル必要ガナイト考ヘル、唯今緊急ヲ要スル、急速ヲ要スルト云フナラバ、此
不徹底案モ茲デ論議シ、意見モ闘ハセル必要モゴザイマスケレドモ、三年先
キノ御話ナラバ、何モ今茲デサウ急イデ議論スル必要ハ無イト思フ、洵ニ是
ハ氣ノ早イ話ト云フノカ、氣ノ長イ話ト云フノカ、トント頭ノ惡イ私ニハ譯
ノ分ラナイ話デアル、加藤總理大臣ハ斯ウ言ハレタ、假令、實施期ガ十七年デ
アツテモ、今日、此改正案ヲ決メテ置ケバソレデ人心ガ安定スル、斯ウ云フコ
トヲ言ハレタ、私ハ考ヘル、ドコノ人心ガ安定スルカ、英吉利カ、亞米利
加カ、ソレトモ露西亞ノ人心デモ安定スルカ知ラヌト私ハ思フ、マサカ日本
ノ人心ガ此法案ガ今日決マッタト云ツテ安定スルコトハナカラウト私ハ思フ、
私前カラ申ス通り普通選舉論者デアルノデアル、私ハ自分ハ普通選舉論者デ
ゴザイマス、併ナガラ能ク此田舎廻リノ辯士ナドガ言フヤウニ、日本國六千
萬人ノ國民ガ皆此普通選舉ニ同意ダナドト云フコトハ私ハ言ヒタクナイ、田
舎廻リノ辯士ノ辯ニ依ルト、同胞六千萬人ノ聲ヲ聞カズヤト云フヤウナコト
ヲ能ク言フモノデ、同胞六千萬人ト云フコトニナルト、日本ノ赤ン坊ハマサカ
ニ普選即行ト言ツテ生レテ來ルモノデナカラウ、又日本ノ赤ン坊ハマサカ
ツノ赤ン坊ガオギヤア、オギヤアト泣イテ居ルガ、是ハマサカニ普通選舉即
行、貴族院改革賛成ナント言ツテ泣イテ居ルノデハ私ハナカラウト思フ、私ハ
今日ノ世間ノ有識者、政治的理解ノアル人、政治能力ノアル人ガ、其人ノ中
デモ尙ホ納稅資格ノ撤廢ニ反對シテ居ル者ガ澤山アルト云フコトヲ私ハ認め
ルノデアル、又普通選舉ハ宜シイ、ソレハ普通選舉ハ宜シイガ、マダ其時期
デナイ、所謂普選尙早論、政友會ノ昔言ハレタ普選尙早論ノ甚ダ多イト
云フコトモ私ハ認メル、又家族制度維持ト云フコトノ主張ノ下ニ、家長選舉
即チ戸主又ハ世帯主ニノミ選舉權ヲ與ヘロ、ト云フ論者ガ世間ニ甚ダ其數ガ
多イ、斯ウ云フコトモ認メルノデゴザイマス、又或ハ普通選舉ニ達スル一階
段トシテ、暫ク戸主或ハ世帯主ニ限ッタ方ガ宜イ、斯ウ云フ論者モ亦少ク
ナイノデ、是ハ何モ私ガ認メルトカ、私ガ認メナイトカ云フ問題デヤナイ、
諸君御承知ノ通り現在ノ事實デアル、政府ガ此度提案セラレマシタ此改正
案ハ、先ヅ普選即行、普選即行ノ聲ヲ以テ國民多數ノ聲ナリトシ、人心ノ歸
嚮スル所ナリ、輿論ノ趨勢デアル、斯ウ云フ風ニ御解釋ニナツテ、此案ガ出
來タモノト私ハ信ズルノデアル、私モ普通選舉論者ノ一人トシテ此政府ノ御
趣意ニハ反對スル者デハナイ、御趣意ニハ私ハ賛成デアル、併シ今回御提出

ニナツタ此法案ヲ見マスルト、洵ニ杜撰千萬デ、是デドウモ人心ガ安定シヤウトハ私ハ思ハナイ、加之、其實施期ハ大正十七年トアル、三年先キノ話デアル、三年先キノ食ベル餅ヲナゼ今カラ掲イテ置ク必要ガアルカ、三年先キノ食ベル米ヲナゼ今カラ炊イテ置ク必要ガアルカ、若シ今掲イテ置カナケレバ三年ノ間ハ掲ケンナイ、今炊イテ置カナケレバ炊ク機會ガナイ、斯ウ云フナラバ是ハ兎モ角モ理窟ニナリマスルケレドモ、事實ハ全クソレニ正反對デアル、假令之ヲ此餅ヲ今年掲イテ置イテモ、來年ニナレバ所謂此次ノ議會ニハ、イツデモ是ハ掲キ直セルノデアル、其次ノ議會デモ掲キ直セルノデアル、十七年ニ實行スルト云フナラバ、マダ二遍掲キ直シ、二遍炊キ直ス機會ガアルノデアル、何モ今茲デ急イデ之ヲ掲キ、之ヲ掲ク必要ハ無イ、寧ロ今コンナ事ヲシテ茲デワイ／＼騒イデ、之ヲ掲クトカ、炊クトカ、所謂此法案ヲ通ストカ通サストカ云フヤウナ決定ノコトヲスルノハ、無駄骨折ニ私ハナリハシナイカト思フ、政府ハ三年先キノ食フ餅デモ今カラ掲イテ置ケバソレデ人心ガ安定スルト云フ、ドウ云フ譯デ人心ガ安定スルカ、チットモ私ニハ其譯ガ分リマセヌノデゴザイマス、假ニ此法案ガ茲デ通過シタ、餅ハ掲ケタ、食フノハ三年先キダ、ソレデハ國民ハ恰モ御預ケラ喰ラッタ犬ノヤウナ形デナイカ、御預ケモ三年トナルト、ナカナカ長イコトダラウト私ハ考ヘル、全體政府ハ即時斷行、普選即行ト云フコトハ、普通選舉即時斷行ト云フコトデアル、此即時斷行ト云フコトヲ、ドウ云フ意味ニ御解釋ニナツテ居ルノデアルカ、何ト心得テ居ラレルノデアルカ、私ハ甚ダ邪推デアルガ、寧ロ政府ハ即時斷行ノ名ニ隠レテ普選尙早ノ實ヲ御取リニナルノデナイカト、私ハ邪推スルノデアル、私ハ此壇上カラ、聲ヲ揚ゲテ廣ク日本國民ニ問ヒタイコトガアル、又世間ノ所謂普選即行論者ニ問ヒタイコトガアル、諸君ハ此三年間ノ御預ケト云フ餅デ満足スルノデアルカ、三年間御預ケノ餅デ諸君ハ安定スルノデアルカ、納得スルノデアルカ、併シ恐ラクハ是デ安定スルト云フ人ハ無カラウシ、是デ納得スルト云フ人モ天下ニハ一人モ無カラウト私ハ考ヘル、唯、能ク考ヘテ見ルト、是デ安定スルモノガ一ツアル、ソレハ何デアルカト云フト、即チ現在ノ衆議院議員デアル、是ハ確ニ安定スル、先ヅ三年間ハ解散ハアルマイト安定スル、其間鐵道ハ「バス」デ乗レルト安定スル、誠ニ私ハ衆議院議員ダケハ此法案ガ通過シタラ先ヅ政府ノ御説ノ通り、三年ノ間ハ安定ダト云フコトデアレバ、是ハ満足スルダラウト思フ、私ノ考ヘルノニ、ドウセ三年先ニ食ベル餅

デアル、三年待ツト云フコトデアラナラバ、來年掲イテモ宜イデハナイカ、再來年掲イテモ宜イデヤナイカ、其方ガ寧ロ新シク上等ナ餅ガ食ヘルデヤナイカ、今カラ掲イテ置ケバ微ガ生エテシマフト云フコトニナル、況ヤ前ニモ申上ゲマシタ通り、唯今、日本國民全國ニ互ツテ、普選反對、普選選舉反對……マア普通選舉反對ト云フヨリハ、寧ロ普通選舉即時斷行ニ反對ノ聲ハ非常ニ多ク、非常ニ高クナツタノデアリマス、之ヲ唱ヘル者ハ實ニ熱誠デ、眞劍味ヲ帶ビテ、國士的態度ノ者ガ澤山アルノデアル、又之ニ和スル者ハ極メテ眞面目ニ、國ヲ思ヒ家ヲ思フ者ガ多イノデアル、決シテ一部ノ煽動ニ附和雷同スルヤウナ聲デハナイ、私ハ實際ノ自分ガ普通選舉論者デゴザイマスカラ、是等ノ人達ト意見見解ニ於テハ、是ハ異ナツテ居リマスケレドモ、相違シテハ居リマスケレドモ、之ニ對シテ十分敬意ヲ拂ヒ、深甚ノ考慮ヲ費サナケレバナラヌト云フコトハ、然ルベキコトト考ヘルノデアリマス、臺閣ノ諸公ハ果シテ此聲ヲ何ト御聞キニナツテ居ラレルヤ、此聲ハ餘リ新聞紙ニハ載ツテ居リマセヌ、併シ隱レタル聲、潜メル叫ビ、斯ウ云フコトヲ、之ヲ聞クコトノ出來ナイ御方々デハ、國政ノ衝ニ當ルコトハ出來ナイト私ハ斯ウ考ヘル、内閣各大臣ノ御耳ニハ、此普選反對ノ聲ハ如何ニ開エマセウカト私ハ考ヘマス、例ヲ別ニシマスガ、恰モ海ニ浮ベル氷山、氷ノ山、海ニ浮ベル氷山ノ如クニ、水面ニ見エテ居ル所ガ新聞ニ載ツテ居ル所、即チ水面ニ見エテ居ル所ハ左マデ大キクハゴザイマセヌガ、サテ其下ニ潜ンデ居ル氷ハ非常ニ大キイノデアル、甚ダ失禮ナ譬デゴザイマスルガ、此今度ノ内閣ノ即チ加藤九ト云フ船ハ、私カラ見レバ失禮ダガ貧弱ナル寄セ木細工ノ船デアル、然ルニ今ヤ其航路ニ對シテ恐ロシイ氷山ガ流レテ來テ居ルノデアル、早ク舵ヲ曲ゲナイト衝突スルノデアル、衝突シタラ私ハ此船ハ一ト堪マリモ無カラウト思フ、私ノ……甚ダ失禮ナコトヲ申シマスルガ、私ガ唯、側デ見テ居リマスル所デハ、此加藤九ト云フ船ハ、テンデ方針ナシニ航海シテ居ラレルヤウナモノデアアル、イツ岩ニ打突カルカ、岸ニ乗上ルカ分ラナイ、ドウモ、アブナクテ仕様ガナイ、而モ此船ノ船長ノ、加藤船長ハ、十年……過去十年間熟柿ノ落ツルノヲ待ツテ居ラレタ方デアル、其爲ニ御眼ガ悪クナツタラウト思フ、十年間甘サウナ柿ノ落ツルノヲ見詰メテ居ッタ爲ニ、御眼ガ悪クナツタト云フコトハ、私ハ無理ナイト考ヘル、併シ惡イノハ此船長ノ御眼バカリデハナイ、船長ノ側ニ在ル遠眼鏡ナゾモ餘程惡イト思フ、先ヅ遠眼鏡ヲ早く御取替ヘニナツタ

方ガ天下泰平ダラウト私ハ考ヘル、餘リニ長クナリマシタカラ、私ノ質問ハ是
デ終リマスガ、要スルニ私ハ何モ今急遽ヲ要セナイ此法案ヲ、此議會ニ於テ決
定スル必要ハ無イカラ、斯ノ如キ確信ノ無イ定見ノ無イ法案ト云フモノハ御
撤回ニナッタラ宜カラウト思フデアリマス、私ハ斯ノ如キ自信ノ無イ確
信ノ無イ政府ハ、斯ノ如キ法案ヲ御出シニナル資格ガ第一無イト私ハ考ヘ
ル、或ハ又貴族院ニ於テハ、斯ウ云フ御説ガアルカモ知レナイ、先ヅ法案
ハ甚ダ不徹底デアル、不完全デアル、併シソレダカラ貴族院デ十分ニ之ニ修
正ヲ加ヘル、ソレガ宜イト云フ御説モアルヤウデゴザイマスガ、此修正トカ
修繕トカト云フヤウナコトニ至ッテハ、モウ抑々末デアル、ソレヨリハ政府ガ
自ラ覺ツテ自發的ニ本案ヲ御撤回ニナッタ方ガ甚ダ宜シクアルマイカト私ハ考
ヘル、政府ハ果シテ私ノ勸告ニ應ズルノ御意志ガ有リヤ無イヤ、之ヲ御質問
申上ゲル、終リニモウト一言申上ゲテ置キタイ、私ハ唯今茲デ政府ヨリ満足
ナル御答辯ヲ得ヤウトハ思ハナイ、得ラレマイ、ソレ故ニ何レ一兩日ノ中ニ
私ノ此質問ノ原稿ヲ印刷ニ付シテ政府ニ差出シマス、又多少讀上ゲ的ノ演説
ニナリマシタカラ、速記デ御覽ニナッテモ、先ヅ私ノ原稿ヲ御覽ニナリ此速
記ヲ御覽ニナッテ、然ル後ニユックリ明確ナル精細ナル御答辯ヲ得タイト考ヘ
ル、唯今此席上デ直グニ御答辯……有レバ結構デゴザイマスケレドモ、御
答辯ヲ決シテ要求スルモノデハナイト云フコトダケヲ御斷リ申シテ置キマ
ス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今、板倉子爵カラ、政府提出ノ衆議院議員選舉
法案ニ付テ、色々ナ御批評ガアリマシタ、此質問ハ之ヲ撤回スルノ意思ガア
ルヤ否ヤト云フコトデアリマスガ、其間ニ色々ナ御批評ガアリマシタ、ソノ
御批評ニ悉ク私ハ御答辯ハ申上ゲマセマスガ、政府ノ原案ガ杜撰デアル、自信
ノナイ案デアルト云フ仰セデアリマスカラ、一言申上ゲテ置カスケレバナリ
マセス、此度ノ改正案ハ所謂普通選舉、即チ從前選舉人ガ一定ノ國稅ヲ納付
シテ居ラナケレバ選舉權ヲ行フコトガ出來ナカタ、其一定ノ國稅ヲ納メナ
ケレバナラスト云フ條件ヲ除イテ、苟モ帝國ノ臣民ニシテ男子ニシテ政治能
力アル者ニハ選舉權ヲ有セシメヤウト云フ點ガ、所謂普通選舉ノ是ハ骨子デ
アリマスガ、コノ所謂選舉ヲ行フニ付テハ選舉人ガ大變澤山ニナル、之ニ付
テハソノ選舉方法ニ付テモ同時ニ考ヘスケレバナラス、ソレガ爲ニ區制ヲ改

正シテ、唯今、小選舉區デアルモノヲ所謂中選舉區ニ直スガ宜カラウ、是ハ
普通選舉法ヲ實施スルニ付テ伴ッテ此改正ヲ爲スガ宜シカラウト云フノデ、區
制ノ改正、選舉ノ方法ノ上ニ於テモ改善ノ出來得ル限りハ改善ヲシテ、サウ
シテ選舉上ノ弊害モ除ケバ、又便利モ達スルヤウニシタイト云フ點、是ガ又
一點デアリマス、ソレト共ニ取締ノ規定ヲ嚴重ニシテ、サウシテ選舉ノ公正
ヲ期シタイ、改正案ノ大體ノ骨子ハ是デアリマス、此目的ヲ達スルコトデア
リマスレバ、政府ガ此度、衆議院議員選舉法ヲ改正シヤウト云フ趣旨ハ達ス
ルノデアリマス、而シテ衆議院議員選舉法ハ憲法附屬ノ法律デアリマス、故
ニ之ヲ議會ニ提出スル前ニ、樞密院ノ議ニ懸ケルベキト云フコトハ、是ハ板
倉子爵ノ御承知ノ通りデアリマス、樞密院ノ議事ハ秘密ニナッテ居リマス、私
共ハ若シ自由ニ之ヲ申述ベルコトガ出來ルナラバ、板倉子爵ノ疑ヲ解ク爲ニ
大イニ申述ベタイノデアリマスケレドモ、樞密院ノ議事ハ秘密ト云フコトニ
ナッテ居ッテ、私ハ之ヲ言フコトガ出來ス、併ナガラ樞密院ノ議ニ懸カルト云フ
事柄ハ、案ニ對シテ一ツモ變化ナイト云フコトハ意味セヌデアリマス、一
ツノ機關ノ議ニ懸ル以上ハ、原案ニ對シテ若干ノソレニ對スル意見ガアッテ、
原案通りニ行ッテ居ナイ場合ノ生ズルト云フコトハ、一ツノ機關ニ懸クル以
上ハ當然ノ結果デアリマス、ソレ故ニ政府ガ當初考ヘテ、斯ウ行クノガ宜シ
カラウ思ッテ居ッタコトガ、樞密院ノ議決ニ依ッテ若干變ハッテ居ルト云フコト
ハ事實デアリマス、所ガ、變ハッテ居ルトカ、ドウ云フ風ナ意味ニ變ハッタ
云フコトハ申上ゲルコトハ出來ス、併シ若干變ハッテ居リマス、ソレハ事實
デアリマス、併シ政府ノ考ヘ前申上ゲル通り、所謂普通選舉ヲ實行スルコト、
選舉ノ區域制度ヲ變ヘルコト、選舉ノ方法ニ改善ヲ加ヘルコト、取締ノ上ニ
十分嚴正ニシテ選舉ノ公正ヲ期スルコト、是ガ土臺デアル、是ノ骨子ニ疵ノ
著カス以上ハ、色々ナ機關ヲ通ル時ニ、其機關ノ意見ニ依ッテ若干ノ修正ハ
加ハ、ルト云フコトハ已ムヲ得ナイ、政府ノ眞意ヲ御問ヒニナッタラバ、當初
ノ發案ノ通りガ一番、宜イト思ッテ居ル、私ハ今日デモ當初發案通りガ一番宜
イト思ッテ居ル、併ナガラ色々ナ機關ヲ通ル以上ハ、而シテ機關ノ意見ガ有
ル以上ハ、根本ノ方針ヲ妨ゲナイ範圍ニ於テ色々ナ意見ヲ聽イテ、結局サウ
ナッタ所ガ大體政府ノ目的ヲ達シ得ラレルナラバ、各、其機關ノ意見ノ在ル所
ヲ尊重シテ行クト云フコトハ、是亦ソレガ即チ樞密院ニ御諮詢ニナル御趣旨
デアルト思ハレルノデアアル、衆議院ダッテモ意見ガ有リマス、政府ハ原案ヲ

主張スルノデアル、衆議院ニモ意見ガ有ル、意見ガアツテ、衆議院ガ修正ヲ加ヘラル、是ハ骨子ニ觸レテ政府ノ趣旨ヲ貫クコトガ出來スト云フナラバ、別ニ執ル手段ガ有リマス、併ナガラ根本ニ觸レズシテ衆議院ノ修正ガアツテ、ソレニモ相當ノ道理ガ有ルノデ、サウシテ政府ノ原案ノ骨子ヲ妨グスト云フコトデアルナラバ、若干是ガ修正ヲ入レタカラト云ウテ、何モ法律案ニ自信ノ無イ法律デアル、杜撰ナ法律デアルト云フ譯ニハ參リマセヌ、私ハ今日衆議院ノ修正ヲ加ヘラレタ、政府ガ茲ニ提出シタル原案ナルモノハ、決シテ杜撰ナルモノデモナケラネバ、自信ノ無イ法律案デモ、何ンデモナイノデアリマス、是デ政府ノ衆議院選舉法ノ改正ニ依ッテ達セムトスル目的ハ十分ニ達シ得ラレルト考ヘテ居ルノデアリマス、ソレ故ニ此案ヲ撤回スルナドト云フコトハ、政府ノ思ヒモ寄ラナイコトデアリマシテ、左様ナ御意見ニ從フコトハ出來ヌノデアリマス、板倉子爵ハ本法ヲ制定セラレテ直チニ衆議院ヲ解散スルナラバ、今改正シナケレバナラヌケレドモ、次ノ總選舉カラ行フト云フナラバ、大正十七年五月デアルカラ、サウ急グニモ及バスト云フ御言葉デアリマス、普通選舉ノ問題ハ大正七八年ノ頃カラ世間ノ非常ナ論議ニ上ボッタ問題デアリマス、而シテ大正九年ニ普通選舉ノ問題其モノデ衆議院ガ解散セラレタノデアリマス、サウシテ普通選舉ヲ行フベキカ否ヤト云フコトニ付テハ其時カラ國論ニ間ハレタ、其時ハ普通選舉ノ主張者ハ、選舉ニ於テ優秀ナ地位ヲ占メセナカッタカラ、國論ハ未ダソコニ至ラスト云フコトガ出來タノデアリマス、併シ此度、普通選舉ガ國論トナリ此題目ニナリマシタ以上ハ、繼續シテ今日マデ、此問題ハ如何ニ解決セナケレバナラヌカト云フコトハ、國民ハ始終一貫シテ之ヲ考ヘテ居ルノデアル、而シテ爾後ノ形勢ニ依ッテ見マスト云フト、國民ノ大多數ハ、ドウシテモ普通選舉ヲ實行セヌケレバナラヌト云フコトニナツテ居ル、之ヲ我々ハ看取シタノデアリマス、ソレハ世間ノ非常ニ廣キ普通選舉ニ反對シテ、世帯主ダケニ選舉權ヲ與ヘテ宜シイト云フヤウナ意見ヲ懷イテ居ル者デアリマス、政府ニハ此事ガ分ラヌカト云フ御尋デアリマスガ、政府モ分ツテ居ルノデアリマス、印刷物ナドノ郵送ヲ受ケテ居リマスカラ、悉ク承知シテ居リマス、併シ其議論ハ國民ノ一部デアツテ、大多數ノ國民ノ意嚮ガ普通選舉ノ實施ニアルト云フコトハ政府ハ疑ハヌノデアリマス、而シテ次ノ總選舉ガ順當ニ行ケバ大正十七年五月デアリマセウ、併ナガラ政治上ニハ如何ナル事ガアツテ、衆議院ノ解散ガ無イトモ限リ

マセヌ、政府ハ唯今、衆議院ノ解散ヲ想像シテハ居リマセヌ、ケレドモ、政治上ノコトハ、如何ナル事デ如何ナル時ニ如何ナル事ガ起ラヌトモ限リマセヌ、其時ニハ總選舉ナルモノハ必ズ大正十七年ノ五月ニノミ起ルト考ヘル譯ニハ參リマセヌ、ソレデアリマスルガ故ニ、次ノ總選舉カラ實行スル案ヲ今日ニ於テ制定シテ置クト云フコトハ、是ハ甚ダ大切デアルト思フ、ソレナラ何故、衆議院ヲ解散シテ直チニ行ハナイノデアルカ、私共ハ常ニ普通選舉ノ事柄ヲ國民ノ前ニ申述ベテ居リマスルノニハ、國論ガ之ニ歸スルナラバ、次ノ總選舉カラ之行フ、斯ウ云フノデ、常ニ言ウテ居ルノデアリマス、必シモ衆議院ヲ解散シテ直チニ之ヲ實行スルト申シテ居ルノデアリマセヌ、ソレ故ニ、次ノ總選舉カラ之行ハスレバ至當デアツテ、而シテ次ノ總選舉ハ必ズ大正十七年ノ五月デアルトハ思ハレヌ、然ル以上ハ、國論ノ大多數ノ要求シテ居ル此法案ハ、今日ニ於テ御協賛ヲ仰グノガ相當デアアル、斯様ニ考ヘテ居リマスカラ、政府ニ於テハ撤回スルト云フ意思ハ全然ナイノデアリマス、之ヲ御答ヘシテ置キマス

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマシテ、午後ハ一時三十分ヨリ開會ヲ致シマス

午後零時三十一分休憩

午後一時四十八分開議

○議長(公爵徳川家達君) 是ヨリ午後ノ會議ヲ開キマス、司法大臣小川平吉君

〔國務大臣小川平吉君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(小川平吉君) 先刻、板倉子爵ヨリ農商務大臣竝ニ私ノ所屬ノ政友會ガ普通選舉制度ニ對スル主張ヲ俄ニ變説改論ヲ致シタカノ如キ御演説ガゴザイマシタ、何カ我々ガ信ズル所ヲ枉ゲテ、今日ノ改正法案ニ同意シタモノデアルカノ如キ御議論ガゴザイマシタ、之ニ付テ一言申上ゲテ置キタイト思フノデアリマス、我々ノ所屬ノ政黨ハ元來選舉權擴張ノ方針ヲ有ツテ居リマスルノデアリマス、即チ明治三十三年ノ改正ノ場合ニ於キマシテモ、降ッテ大正八年ノ選舉法ノ大改正、選舉權大擴張ノ場合ニモ、我々ハ率先シテ是ガ改正ヲ實行イタシタノデアリマス、ノミナラズ、選舉權擴張ノ方針ハ度々天下ニ聲明ヲ致シテ居ル次第デアリマス、而シテ先年ハ御承知ノ通り、原内

閣ニ於テ地方制度ヲ改正イタシマシテ、非常ニ地方制度ニ於ケル所ノ選舉權ヲ擴張イタシ、殆ド普通選舉ニ近イ所マデ擴張ヲ致シタノデアリマス、是ハ固ヨリ地方制度ニ於テ其擴張ノ必要ヲ認メマシタノデゴザリマスルガ、一面ニ於キマシテ衆議院議員ノ選舉權ノ擴張ヲスル前提ト云フ意味モ包含イタシテ居ッタノデアリマス、爾來、國內ノ情況ヲ見マスルト、國運ノ進歩著シク、國民ノ精神能力モ相當ニ發達シテ參ッテ、又普通選舉ノ要求ノ聲モ非常ニ盛ニナッテ參ッテ居リマス、而シテ地方制度ニ於ケル選舉權大擴張ノ結果ニ鑑ミマシテモ、最早衆議院議員選舉ニ於テ選舉權ノ擴張ヲ致シ、普通選舉ニ致シテモ差支ナイト云フ見込ガ立ッタ、又昨年ノ總選舉ノ實際ノ情況等ニ鑑ミマシテモ、最早納稅ノ條件ナルモノハ撤廢スルノガ相當デアアル、斯ノ如ク國民ノ實狀ガ進歩シテ參ッタト云フ所ヲ認メマシタカラシテ、即チ豫テ我々ノ大擴張ノ方針ヲ茲ニ遂行スルニ至ッタト云フニ過ギナイノデアリマス、此擴張ノ方針ヲ逆ニ取リマシテ、縮小スルト云フコトデモアリマシタナラバ、變節改論ト云ヘルカモ知レナイ、我々ハ我々ノ年來主張ヲ致シ且ツ熟考ヲ致シテ來ッタ所ノ大擴張ノ方針ヲ、時勢ノ進運既ニ茲ニ到著セリト見テ茲ニ實行ヲ致シタト云フ次第デゴザイマス、ドウゾ宜シク御了承ヲ願ヒマス

〔子爵板倉勝憲君演壇ニ登ル〕

○子爵板倉勝憲君 私ノ質問ニ對シテ若槻內務大臣及小川司法大臣ノ御答辯、確ニ伺ヒマシテゴザイマス、私ハ午前ニ申シマシタ通り、茲デ精シイ御答辯ヲ伺フト云フコトヲ豫期シテ居ラス、居リマセヌカラ何レ他ノ機會ニユックリ伺ハウト思ッテ居リマス、此御答辯デ満足ヲシテ置キマス、但シチヨット一言反問ヲシタイ、若槻サンノ御話ニ從ヒマシテモ、小川サンノ御話ニ從ヒマシテモ、既ニ普通選舉ノ國民ノ要望ハ盛デアアル、今日ハ其域ニ達シテ居ルト云フ御話デアアル、達シテ居ルナラバ今日、新選舉法ガ決マッタナラバ其下ニ解散シテモ宜イデハナイカ、何モ衆議院ノ解散ト云フ事ガ國家ノ不祥事デモ何デモナイ、苟モ政府ガ今ヤ普通選舉ノ時期來レリト云フ趣意ニ依ッテ、此法案ガ假ニ兩院ヲ通過シテ可決確定ニナッタ、何ノ爲ニ三年待ツノダ、私ハ先刻若槻サンガ御話ニナッタガ、次ノ總選舉ト云フ約束ガアル、次ノ總選舉、次ノ總選舉ト何時マデモ次ノ總選舉ト云フノハ、マルデ鼻ノ先キニ牛肉ヲ附ケラレタ犬ガ、ノベツニ駄ケ續ケルヤウニ、殆ド國民ヲ大扱ヒニスルモノデハナイカト思フ、怪シカラヌ話デアルト思フ、政府ガ普通選舉ノ時期今到レ

リト云フナラバ、其普通選舉ノ法案ガ出來タナラバ、其時ニ解散スルノガ當リ前デヤナイカ、ナゼ三年待ツノカ、私ハ其意味ガ少シモ分ラヌ、小川君ノ如キハ一年前マデハ非常ナ熱誠ナル納稅資格維持論者デアアル、時勢ノ進運デ國民ノ要求ガドウノ斯ウノト云フヤウナ御話ガアリマスケレドモ、ソレガ一年ヤ半年デバット變ルモノデハナイノデアアル、一年前マデハ國民ノ要望ガ未ダ到ラヌ、我々ハマダ納稅資格撤廢ニハ早イ、普通選舉ニハ早イト斯ウ仰シヤッテ、而モ法制審議會ヲ憤然トシテ御立チニナッテ到頭御辭職ニナッタ小川君ガ、直チニ手ヲ翻スガ如ク國民ノ要望ハ普通選舉デアアル、我々モ賛成デアアル、今御話ニ依ルト三十何年前ニ政友會ガ普通選舉法ヲ出シタ、私モ其時ニハ無論議員デハゴザイマセヌガ、ソレヲ蔭ナガラ知ッテ居ルノデアアル、其時ノ政友會ノ普通選舉論ト云フモノハ、ソシナ意味デハナカッタノデアアル、唯貴族院ニ對スル片意地デ普通選舉ヲ出シタノデアアル、所謂穗積八束博士ガ普通選舉法再ビ貴族院ノ門ニ入ルベカラズト云フ議論ヲナスッタコトヲ知ッテ居リマスガ、サウ云フ風デ唯貴族院ニ對スル反抗氣分デ出シタノデアアル、其通リノコトハ其前、原サンノ際ニ憲政會ノ方デ普通選舉ヲ出シタ、政友會ガ尙早論ト言ッタ、其時ニ原サンノ御話ガサウデヤナカッタカ、憲政會ハ政友會ニ向ッテ、オ前十年モ十五年モ前、普通選舉ト言ッタデヤナイカ、今日普通選舉ヲ出スニ、ナゼサウ尙早ト云フカト政友會ハ突込マレタノデハナイカ、其際ニ政友會ハ何ト言ウタ、反抗氣分デ是ハ本當ノ誠心誠意デ言ッタノデヤナイト斯ウ云フ風ニ答ヘタデヤナイカ、其政友會、其政友會ノ總務委員タル小川サンガ、三十年前ノコトヲ而モ誠心誠意デナイ心カラデナイコトヲ、而モ五年前ノ時カラ普通選舉ニハ賛成シテ居ル、普通選舉ハ要望シテ居ル……無論選舉權ノ擴張ト云フコトハ、是ハ政友會ガ仰シヤラナクテモ憲政會ガ仰シヤラナクテモ、我々ハ皆承知シテ居ル、唯其程度如何ニ在ル、私斯ウ言フト何ダカ普通選舉反對ノヤウタガ、私ハ普通選舉ノ賛成論者デアアルカラ、其事ハ御承知ヲ願ヒマス、斯ノ如ク少シモ意味ヲ爲サナイ御答辯ト云フモノハ、私ハ甚ダ不満足デゴザイマスケレドモ、私ハドウモソレハ意味ヲ爲サヌ、ソレハ不都合デヤナイカ、不條理デヤナイカト言ッテ討論ヲシタ所ガ水掛論デゴザイマス、唯一言、政府ノ不満足ナル御答辯ニ満足スル、志水君ノ言ヲ借リテ、ソレダケヲ申上ゲテ私ノ質問ヲ打切りマス

○議長(公爵徳川家達君) 澤柳政太郎君

〔澤柳政太郎君演壇ニ登ル〕

○澤柳政太郎君 唯今、上程サレテアリマスル所ノ衆議院議員選舉法ノ改正案ニ付キマシテハ、先刻、總理大臣ヨリモ詳細ナル提案ノ理由ヲ御示シナリ、又内務大臣ヨリハ改正ノ要點ニ付テ一々御説明ニナリマシテ拜承ヲ致シタノデアリマス、尙ホ私ハ衆議院ニ於キマスル此案ニ對スル所ノ審議、質問應答、討論ノ模様モ、速記録ニ就テ研究ヲ致シテ見タノデアリマス、然ルニ私ノ知ラムト欲スル所ニ觸レナイ點ガ少クナイノデ、茲ニ御尋ヲ致ス次第デアリマス、此改正案ハ私ノ考ヘル所ニ依リマスレバ、議會始マツテ以來ノ最モ重大ナル案件デアラウト思フノデアリマス、空前ト申シテモ宜カラウト思フノデアリマス、或ハ斯ノ如キ重大ナル案ハ再ビ將來ニ現ハレナイト申シテモ宜イカト思フノデアリマス、此選舉法ニ關シマシテ將來如何ナル問題ガ現ハレルカト云フコトヲ考ヘテ見マスレバ、近キ將來ニ於テ婦人參政權問題ガ必ズ解決サレナケレバナラスト思フノデアリマス、縱シ婦人ニ、或ハ英吉利ノ如ク三十歳以上ノ女子ニ悉ク參政權ヲ附與スルト云フヤウナコトニナリマシテモ、思想ノ上ニ於テ、主義ニ於テノ大變更デアリマスケレドモ、政治上ノ實質ニ於キマシテハ必シモ大ナルモノデナイ、量ニ於キマシテモ、今回ノ如ク現在ノ有權者ハ三百數十萬人、今俄ニ三倍以上ノ數ヲ増加スルト云フヤウナコトハ、婦人ニ參政權ヲ與ヘマシテモ決シテサウハナラナイノデアリマス、況ヤ近ク婦人參政權問題ノ解決セラレタル所ノ英吉利並ニ米國ニ於ケル實施ノ跡ニ付キマシテモ、是ハ何等心配スル程ノコトノ無イノハ、皆様御承知ノ通りデアリマス、我國ニ於テ近ク何年ノ後デアリマスルカ、此問題ガ解決セラレテ、再ビ衆議院議員選舉法ノ其點ニ付テノ改正案ガ出マシテモ、私ハ實質上ニ於テ今回ノ案ノ如ク重大ナル政治上ノ結果ヲ來タスモノデハナカラウト信ズルノデアリマス、ソレ故ニ此案ハ實ニ議會始マツテ以來ノ重大ナル案件デアアルノデアアル、恐ラクハ斯ノ如キ案ハ將來再ビ無イ所ノ重大ナルモノデアアル、サレバ最モ慎重ニ審議ヲ致サナケレバナラナイコトハ申ス迄モナイト思フノデアリマス、私ノ主トシテ御尋ヲ致シタイト思フコトハ、總理大臣ガ此案ノ骨子ナリト言ハレタ所ノ普選ナルモノニ付テ、其一點ニ付テ二三ノ疑問ヲ有ツテ居ルノデアリマス、板倉子爵ノ御質問ニ對スル若槻内務大臣ノ御話ニハ、骨子トシテ或ハ選舉權ノ擴張若クハ選舉區制ノコト、選舉ノ

方法等ノ四五ノ點ヲ舉ゲラレテ、是ガ改正ノ骨子ナリト御述べニナリマシタケレドモ、總理大臣ノ御演說ニ依ツテ見マスレバ、此案ノ骨子ハ明カニ普選デアルト云フコトヲ言ハレテ居ル、文字ハ、言葉ノ使ヒ方ハ何レデモ宜シウゴザイマスガ、兎ニ角、此案ノ骨子ハ所謂制限選舉ヲ撤廢シ、納税ノ資格ヲ撤廢ヲ致シタ、普通選舉ニアルコトハ論ヲ俟タヌコトト思フノデアリマス、此普通選舉ヲ行フト云フコトハ何ノ爲ニスルノデアアルカ、之ヲ行ツテ如何ナル政治上ノ效果、結果ヲ豫期セムガ爲ニ此普通選舉ヲ行ハムトスルノデアアルカ、此點ニ關シマシテ總理大臣ノ御演說、内務大臣ノ御演說ヲ拜誦イタシマスルノニ、私ハ先刻モ總理大臣ノ御演說ヲ拜聽イタシテ居リマシタガ、勿論、衆議院ニ於テ御演說ニナツタ所ト一言一句違ヒナク御述べニナツタノデアリマス、故ニ私ハ此速記録ニ就テ少クトモ三回グラキ繰返シテ拜誦ヲ致シタノデアリマス、唯今日ハ普通選舉ヲ行フ時期ニ達シタト云フコトヲ述ベラレテ居ルノデアリマスルガ、普通選舉ヲ行ツテ如何ナル政治上ニ於テノ效果ヲ豫期スルノデアアルカ、國民利福ノ上ニ普通選舉ヲ行フトコトハ如何ナル利益ガアルカト云フコトニ付テハ、兩相ノ御演說ニ付テ一言モ拜承スルコトガ出來ナカッタノデアリマス、併ナガラ此普通選舉ニ關シマシテハ私カラ申シマスル迄モナク、國民ノ思想ガ急轉直下ノ勢ヲ以テ變化イタシテ居ルノデアリマス、之ヲ變説改論ト申シマスルカ、豹變ト申シマスルカ、先刻、板倉子爵ハ加藤總理ヤ或ハ高橋政友會總裁若クハ小川法相等ニ就テ變説トカ或ハ豹變ト云フコトニ就テ色々御質問或ハ御批評モアツタノデアリマスガ、幸ニシテ私ハ、私共ト申シタイノデアリマスルガ、加藤總裁ヤ高橋總裁ノ如ク普通選舉ニ付テ明カニ自分ノ意思ヲ表明シナケレバナラナイ境遇ニ置カレナカッタノデアリマス、ソレ故ニ今日マデ普通選舉ニ付テ或ハ尙早トモ、反對トモ、贊成トモ言ハズニ過ギ來ッタノデアリマスルケレドモ、若シ高橋總裁ノ如キ、或ハ加藤總理ノ如キ位地ニ御互ガ置カレタナラバ、必ズ其時ニ、一年前デアツタカ、二年前デアツタカ、意思ヲ表明シ、而シテ其意思ヲ今日ニナツテ考ヘテ見タナラバ、必ズ大イニ變化ヲ致シテ居ルト思フノデアリマス、私ハ普通選舉ニ關シマシテハ大キク申シマシタナラバ、國民ノ思想ガ急轉直下ノ變化イタシテ居ルノデアアル、國民的ノ是ハ豹變デアルト申シテ宜シイト思フノデアアル、唯今申ス如ク、多クノ人ハ此點ニ付テ何等意思ヲ嘗テ言ハナケレバナラナイ境遇ニ置カレナカッタカラシテ、表明セヌ者何人モ、本月本日ニ於テ此貴族

院ニ於テ本案ヲ審議シナケレバナライト云フヤウナコトヲ豫期シタ者ハ殆
ド無イト申シテ宜イノデアリマス、確ニ普通選舉ニ關シマシテハ、日本ノ國
論ト云ヒマスカ、日本ノ國民ノ思想ト云フモノハ急激ノ變化ヲ致シタノデア
ル、斯ノ如キ急激ノ變化、思想ノ變化ハ私ハ何物ニ付テモ見ルコトハ出來ナ
イ、事實トシテ急激ノ變化ヲ致シタノデアリマス、サレバ此頃毎日ノ如ク我
我ノ手許ニ這入ッテ參リマス所ノ意見書ヲ見マシテモ、無制限ニ選舉權ヲ擴
張スルノハ宜シキヲ得ナイノデアアル、先ヅ以テ世帯主ニ選舉權ヲ與ヘルコト
ニシタラ宜カラウト云フ意見ハ有ルノデアリマスケレドモ、何人モ普通選舉
權ヲ以テ今日ハ尙ホ時期尙早ナリ、將來ハ兎ニ角、今日ニ於テ阻止シナケレバ
ナラスト云フ意見ハ我々ノ所ヘハ參ッテ居ラヌノデアリマス、可ナリ強硬ナ
ル態度ヲ以テ強迫ノ態度ヲ以テ、若シ此案ヲ貴族院ニ於テ通過スルヤウデ
アルナラバ其分ニ置カナイナンゾト、強迫ガマシイ言辭ヲ弄スル所ノ人々モ、
何ト云フノデアアル、此普通選舉ノ案ハ我が國體ニ影響ヲ及ボス、我が家族制
度ヲ破壊スルモノデアアル、世帯主トシタナラバ、其憂ガ無イノデアルト云
フコトヲ申シテ居ルノデアアル、少クトモ、今日現ハレタ所ニ於テハ普通選舉
ニ對シテ正面ヨリシテ今日尙ホ時期尙早ナリト斷言シ得ル者ハ無イ、先ヅ無
イト申シテ宜イノデアルト思フ、斯ノ如クニ日本ノ國民ノ普通選舉ニ對スル
所ノ思想ト云フモノハ變化ヲ致シテ居ルノデアアル、此變化ハ必シモ健全ナル
進歩、健全ナル變化デハナイカモ知レマセム、如何セム、事實トシテ正面ヨリ
本案ニ反對スル者ハ今日先ヅ一人モ無イ、或ハ腹ノ中ニハ反對シタイト考ヘ
テ居ル人モ有ルカモ知レマセムケレドモ、敢然立ッテ之ニ反對スル者ガ何處
ニアルノデアリマセウ、之ヲ以テ或者ガ國論ナリト稱スル……少クトモ形式
ニ於テハ、斯ノ如ク言フコトハ出來得ルコトト思フノデアリマス、茲ニ大イ
ニ考ヘナケレバナラヌコトハ、何故ニ此問題ニ付テ國民ノ考ガ斯ク急激ナル
變化ヲ爲シタノデアアルカ、單リ政黨者流バカリデナイ、一般ノ國民、自由ニ
自分ノ意志ヲ發表シ、自由ノ行動ヲ執リ得ル者ニ於キマシテモ、今日ニ於テ
此案ニ反對スルコトノ出來ナイヤウニ、或ハ嫌ヤ嫌ヤデアアルカモ知レナイガ、
大體ニ於テ認メナケレバナライヤウニ、斯クマデ國民ノ思想ノ大變化ヲ生
ジタ原因ハ、何處ニアルカト云フコトヲ考ヘテ見ルコトハ、私ハ無用ナルコ
トデナカラウト思フノデアリマス、私ノ考ヘル所ニ依レバ選舉ト云フモノニ
對シテ國民ガ非常ナル不満足ヲ感ジテ居ル、謂ハ、選舉ノ弊害ト申シマセウ

カ、首相ノ御演說ノ中ニ於テモ、選舉ニ關シテハ惡弊ガ百出シテ今ヤ其極ニ
達セムトシテ居ルト云フコトヲ御述べニナリマシタガ、洵ニ其通りデアルト
思フノデアリマス、選舉界ノ腐敗ト云フモノハ實ニ甚シキモノデアアルノデア
リマス、而シテ何ト申シマシテモ、立憲政治ノ根本ハ選舉ニアルコトハ申ス
迄モナイノデアアル、其選舉ガ實ニ腐敗ヲ極メテ居ル、是ハ何人モ之ニ對シテ
遺憾ヲ感ゼザル者ハ無イト思フノデアアル、此選舉ノ腐敗、惡弊ヲ如何ニシテ
防グノデアアルカ、現在ノ選舉法ニ於テモ其弊害ヲ防グベキ規定ト云フモノハ
相當ニ備ハッテ居ルノデアアル、選舉ニ臨ミマシテハ、如何ナル政府ニ於キマ
シテモ選舉ノ公正ヲ聲明セザルモノハ無イノデアアル、此取締ニ當ル所ノ官憲
ニ對シテ、選舉ハ公平ニシナケレバナライト云フ事ヲ聲明セザル政府ハ未
ダ曾ッテ無イノデアアル、或場合ニハ其間ニ或ハ其聲明通りニ行ハレナイト云
フコトモ有ルカモ知レマセムケレドモ、兎ニ角、斯ノ如キ相當ナル用意ヲ以
テ之ニ臨ミ、而モ選舉界ハ選舉ヲ經ル毎ニ弊害ヲ續出シ、其腐敗ヲ極メルヤ
ウニナッタノデアリマス、如何ニシテ之ヲ矯正スルカト云フコトニ付キマシ
テハ、茲ニ私ハ普通選舉ガ暗々ノ裡ニ頭ヲ擡ゲテ來タト思フノデアリマス、罰
則ハ如何ニ嚴重ニ致シマシテモ、之ニ依ッテ到底選舉界ノ廓清ヲ期スルコト
ハ出來ナイノデアアル、普通選舉ヲ行フト云フコトニ依ッテ而シテ此腐敗ヲ事
實不可能ナラシムルヨリ外ニ仕方ガ無イト云フヤウナ考ガ、或ハ意識的ニ若
クハ無意識的ニ國民ノ頭ノ中ニ起ッテ來タコトデアラウト思フノデアリマス、
現ニ數年前ニ於テ普通選舉ハ極メテ少數ノ人ニ依ッテ唱ヘラレテ居リマシタ
時ニ、普通選舉論者ハ此選舉界ノ廓清ヲ期スル方法ハ、普通選舉ニ依ル外ハ
無イト云フコトヲ眞向ニ振擧シテ、普通選舉論ヲ主張セラレタ事ヲ覺エテ居
ルノデアリマス、是ハ單ニ早キ時期ニ於テ普通選舉論者ガ唱ヘタバカリデナ
ク、一般國民ガ考ヘマシテ、斯ノ如キ忍ビ得ナイ所ノ腐敗ヲ防グ所ノ方法ハ
普通選舉ニ依ル外ハ無カラウト云フヤウナ考ノ起ルコトハ、私ハ無理カラ
ヌコトデアルト思フノデアリマス、併ナガラ選舉界ノ腐敗ナルモノガ果シテ
現行ノ選舉法、若クハ又普通選舉ニ依ルニアラザレバ、廓清スルコトノ出來
ナイモノデアアルカ、ドウカト云フコトハ、是ハ尙ホ一ツ考究スル餘地ガ有ラ
ウト思フノデアリマス、私ハ寧ろ選舉界ノ腐敗ハ由ッテ來タル所アリトモ信
ズルノデアリマスケレドモ、兎ニ角、選舉界ノ惡弊ト云フモノハ、國民ノ考
コ、ニ及ンダナラバ、實ニ堪ヘ切レナイ程度ニ及ンデ居ルト云フ事實ガ否ム

コトハ出來ナイト思フノデアリマス、此事實ガ今日、普通選舉ハ已ムヲ得ザルモノデアルト云フヤウナ考ヲ一般國民ニ起サシタ相當力強イ原因デアラウト思フノデアリマス、加藤首相ノ、選舉ノ惡弊百出ヲ力説ナサッタノハ、普通選舉論ヲ是認サレル根柢トシテサレタヤウデハ、御演説ヲ拜見シテ見マスルト、ナイノデアリマスガ、政府ニ於テハ、此度普通選舉ヲ行ハムトセラル、ノハ、即チ選舉界ノ廓清ヲ期スル、斯ノ如キ效果ヲ豫期シテ、此案ヲ提出サレタモノデアルカ、其點ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、總理大臣ノ御演説ニ依ッテ見レバ、如何ナル利益ガ有ルカ分ラナイ、トハ明言サレテ居リマセスケレドモ、唯、今日ハ普通選舉ヲ行ッテモ差支ナイト思ハレル時期ニ達シタト云フコトノミヲ述ベラレテ居ルノデアリマス、普通選舉ニ依ッテ如何ナル國民民福ヲ來スカト云フコトニ付キマシテハ、何等言及ラセラレテ居ラヌノデアリマスルガ、選舉界ガ廓清セラレルト云フコトデアリマシタナラバ、是程望マシイコトハ無イト思フノデアリマス、普通選舉ニ關スル國民ノ思想ガ急轉直下ノ勢ヲ以テ變化シテ參リマシタノハ、モウ一ツ重大ナル理由ガ有ルト思フノデアリマス、ソレハ政治上ノ行詰リ、コノ行詰リヲ打破シ、展開シナケレバナラヌト云フコトハ、近ク一兩年前ニ於テハ、國民ノ頭ニ悉ク起ッタト申シテ宜イカト思フノデアリマス、此政治上ノ行詰リナルモノハ、今、精シク之ヲ申ス必要モナイカト思フノデアリマスルガ、嘗テ一度、大隈内閣ノ時分ニ政友會ハ少數ニナッタコトガ有リマスケレドモ、其以前ニ於キマシテハ、選舉ノ度毎ニ政友會ハ其勢力ヲ増加シ參ッタノデアリマス、大隈内閣ノ時ニ、是ハ事實デアリマセウ、或ハ其時ニ於テ已ムヲ得ナカッタノデアリマセウガ、非常ナル選舉干涉ガアツテ、或ハ人ヲシテ不自然ナル少數ニ政友會ハ陷ッタト云フコトヲ言ハシメタノデアリマスケレドモ、政友會ハ忽チ寺内内閣ノ改選ニ於テ、其勢力ヲ恢復イタシマシテ、爾後、選舉ノ度毎ニ其勢力ハ増大ヲ致シ、地方ニ於ケル政友會ノ地盤ナルモノハ、磐石ノ堅キヲ致シタノデアリマス、若シ加藤友三郎男ニ生命ガアツテ、其内閣ノ下ニ於テ選舉ガ行ハレマシタナラバ、加藤内閣ハ政友會ト靈犀一點通ズルカモ知レマセスケレドモ、形ニ於テハ一ツノ中間内閣デアアルノデアリマス、若シ此内閣ノ時ニ選舉ガ行ハレタナラバ、憲政會ナルモノハ益、其勢力ヲ失ヒ、國民黨、今日ノ革新俱樂部ナルモノハ、交渉團體タルカヲ失フデアラウト云フコトハ、十目ノ視ル所デアルト思フノデアリマス、憲政會ニ於ケル有力ナル人々ノ如キ

モ次期ノ改選ニ於テハ、當選舉東ナイト云フコトヲ皆思ハシメタモノデアアルノデアリマス、茲ニ於テ憲政會、國民黨ノ方面ヨリ、此政治上ノ行詰リ、或ハ政治上ノ分野ノ局面ヲ一轉スルガ爲ニ、何等カノ方法ヲ講ジナケレバナラナイト云フコトヲ考ヘルノハ當然ノコトデアアルノデアリマス、而シテ如何ニシテ、其局面ヲ展開スルカ、何人ガ考ヘマシテモ、普通選舉ニ依ッテノミ、初メテ其展開ガ或ハ實現シ得ルト云フコトハ想像シ得ルト思フノデアリマス、其他ノ方法ニ於テハ、當時決シテ此政治上ノ分野ヲ變更スルコトハ出來ナイ感ヲ懷カシメタノデアリマス、而シテ我ガ國民ニハ又久シキニ互ッタナラバ、之ニ飽クト云フ性質モ有ルノデアアル、又強キヲ挫イテ弱キヲ助ケルト云フ國民性モ有ルノデアリマシテ、此政友會ガ長イ間ニ互ッテ勢力ヲ占メテ居ルコトニ對シテ、國民ハ大イナ不滿ヲ感ジタノデアリマス、假令、政友會ガ何等横暴ノコトガ無クトモ、國民ハ久シキニ互ッテ、政友會ヲシテ其勢力ヲ逞ウセシムルコトニ決シテ満足スルモノデハナイト思フノデアリマス、況ヤ勢力ヲ専ラニスル結果ト致シマシテ、政友會ハ或ハ意識的、或ハ知ラズ識ラズデアリマスルカ、横暴ノ責ナキニシモアラズデアアルノデアリマス、茲ニ於テ此政治界ノ分野ニ對シテ何等カノ變化ヲ與ヘル所ノコトヲ國民一般ハ希望スルト云フコトハ、必ズ無理カラヌコトデアルト思フノデアリマス、如何ニシテ此局面ノ展開スルカ、普通選舉ヲ行ウタ結果ハ、ドウナルカ分カラナイ、分ラナイケレドモ、之ヲ行ッタナラバ、政治上ニ於ケル更始一新ヲ期スルコトガ出來ルデアラウト云フヤウナ考ガ總テノ國民ノ腦中ニ起ッテ來タノデアアル、是ガ普通選舉ニ關スル所ノ國民的變説改論ヲ促シタ、私ハ、最大ノ理由デアルト思フノデアリマス、併ナガラ世ノ中ハ妙ナモノデアリマシテ、其局面ハ普通選舉ナルモノニ依ッテノミ初メテ展開シ得ルト考ヘラレマシタケレドモ、此局面ハ政友會ノ分裂ニ依ッテ、幾分行詰リ打破ノ曙光ヲ認ムルコトガ出來、前ノ總選舉ニ於キマシテハ、嘗テハ憲政會ノ前途非常ニ危ブマレタモノガ、憲政會ガ兎ニ角第一黨ヲ占ムルコトニナッタノデアリマス、此政治上ノ行詰リ、或ハ政治上ノ局面ニ一新ヲ來サナケレバナラナイト云フコトハ、今日ニ於テハ其必要ナキニ至ル……他ノ原因ヨリ必要ナキニ至ッタノデアリマス、併ナガラ又靜ニ考ヘテ見マスレバ、今日ニ於テモ、尙ホ現在ノ選舉法ノ下ニ於テハ必シモ、此展開セラレタル局面ガ、展開サレテ續イテ行クコトハ豫期出來ナイト云フ嫌ヒナキニシモアラズデアアルノデアリマス、今日、

三派ノ協調ハ能ク保タレテ居ルヤウデアリマスルケレドモ、政本兩黨ノ合同ト云フコトハ、決シテ是ハ不可能ナルコトデハナイト思フデアリマス、若シ政本兩黨ノ合同ガアリマシタナラバ、嘗テ世人ヲシテ局面展開ヲ思ハシメタ所ノ情況ガ再ビ此處ニ出現スルコトヲ豫期シナケレバナナイ次第デアアルデアリマス、斯ノ如キコトニ關シテ、政府ハ局面ノ展開ヲ必要トスル、是ガ爲ニ早晚來ラナケレバナナイ所ノ普通選舉、或ハ多少時期早キヲ疑ハシムルモノガアルケレドモ、今日ニ之ヲ行フト云フコトモ、一ツノ已ムヲ得ナイ所ノ方法デアルト云フヤウニ考ヘテ居ラル、ノデハナイデアラウカ、私ハ國民ノ政治的能力ガ俄ニ、二三年ノ間ニ増進シタ、サウ云フヤウナ理由ヲ以テスルヨリモ、此久シキニ互ッテ醸成セラレタル所ノ政治上ノ分野、之ヲ一旦打破スルト云フコトハ、國民ノ爲ニ、所謂更始一新ノ爲ニ望マシイノデハナイノデアラウカ、其趣意ヲ以テ本案ヲ提出シ、其實行ヲ期スルモノデアルト、率直ニ御答ヘニナルコトモ、決シテ私ハ政治上ニ於テ理由ノナイコトデハナイト思フデアリマスルガ、政府ガ普通選舉ヲ行ハムトスル所ノ積極的ノ目的、那邊ニアルカト云フコトニ付テ、十分ニ兩相ノ御演說ニ依ッテ私ハ理解スルコトガ出來ナイ、獨リ私ガ理解スルコトガ出來ナイノミナラズ、國民モ理解シ得難イト思フデアリマス、或ハ斯ウ云フ點ニ、普通選舉ヲ斷行セラレル所ノ趣意ガアルノデハナイカト云フコトヲ御尋ネ致ス次第デアアルノデアリマス、純理論ヨリ申シマシタナラバ、今、日本ニ立憲制度ガ行ハレマシテ、國民ニ參政權アリト唱ヘマスルケレドモ、數度ノ選舉權ノ擴張ヲ經テ、今日僅ニ國民中、三百四十五萬ノ者ヨリ選舉權ヲ有ッテ居ラヌノデアリマス、資産ノ少イト申シマスルカ、簡單ニ無産階級ト申シマセウ、無産階級ナル者ガ、國民ノ參政權アリト稱セラル、所ノ日本ニ於テ、參政權ヲ有シテ居ラナイノデアリマス、而シテ無産階級ノ中ノ或過激ナルモノハ社會的ノ改善、或ハ革命ヲ爲スガ爲ニハ此議院政治ノ力ヲ必要トシナイ、議院政治ニ賴ッタナラバ到底彼等ノ目的トスル所ノ社會的革命ナルモノヲ持チ來スコトガ出來ナイト云フヤウナ論者モナキニシモアラズ、ソレ故ニ普通選舉ヲ主張スル所ノ人ニ於テモ、普通選舉ヲ主張、實行セムトスル理由ハ、無産階級ヲシテ國政ニ參與セシメテ政治ノ機關ヲ根本ヨリ信頼セザラムトスル其考ヲ轉換セシムル爲ニ必要デアルト云フコトヲ稱スルノデアリマスルガ、茲ニ一ツノ理由ハ確ニ有ルコトデアラウト思フデアリマス、永ク無産階級ヲシテ政治ニ參與セシ

メナカッタナラバ、彼等ハ自暴自棄ノ考ヲ起シテ他ノ手段ニ依ッテ彼等ノ目的ヲ達セムトスル行動ニ出デムモ期セラレヌト思フデアリマス、故ニ普通選舉ヲ行フトハ無産階級ヲシテ政治ニ參與セシメムトスルノデアアル、彼等ヲシテ政治ト無關心ニ且ツ或ハ無關係ノ位置ニ立タシムルト云フコトハ、政治上或ハ社會上、非常ナル危險ヲ伴フ所ノモノデアルト思フデアアル、故ニ普通選舉ハ政治上、社會上ニ於ケル一種ノ安全瓣デアアル、此安全瓣モ餘リ遲レテナストキニハ安全瓣用ヲナサナイノデアアル、寧ロ多少早キニ失シテモ此安全瓣ノ裝置ヲナスコトガ必要デアルト云フコトモ、一種ノ見解デアラウト思フデアリマスルガ、政府ガ此普通選舉ヲ實行セムトスル所ノ主眼ハ、矢張り此邊ヲ其考慮ノ中ニ入レテ置イタモノデアアルヤ否ヤ、唯今申シマシタ所ト聯關ヲ致シマスルガ、普通選舉法ヲ實行セラレタ場合ニ於キマシテハ、必ズ勞働者ノ代表者ナルモノヲ我ガ衆議院ニ見ルニ相違ナイト思フデアリマス、或ハ英吉利ノ議院ニ於ケルガ如ク、最初ノ選舉ニ於テハ其代表者ハ數名デアアルカモ知レマセヌガ、漸次勞働者ノ代表者ナルモノノ數ヲ増スコトハ、是ハ亦豫期シ得ルコトデアラウト思フデアリマス、斯ノ如クシテ日本ニ勞働黨ナルモノノ發生ト云フコトモ、普通選舉ノ實行ニ依ッテ十分ニ豫期シ得ルコトデアラウト思フデアリマス、若シ私ヲシテ既成政黨ニ關シテ忌憚ナキ批評ヲ致サシメマシタナラバ、是等ノ既成政黨ナルモノハ、互ニ敵味方ト別レテ相爭ウテ居リマスルケレドモ、其主義政綱ニ於テ甚シキ相違ハナイト思フデアリマス、本當ノ意味カラ申シマシタナラバ、既成政黨ナルモノハ大イニ集散離合ヲ致シテ、サウシテ茲ニ一新セラレナケレバナナイト思フデアリマス、眞ニ此利害ヲ代表スルト申シテモ宜イノデアアル、此主義政綱ニ依ッテ茲ニ甲乙丙丁ノ政黨ガ出來ルト申シテモ宜シイノデアラウト思フデアアル、サウ云フヤウナ意味ニ於テ私ハ敢テ勞働黨ニ加擔シ加入シヤウト云フモノデハナイノデアリマスルケレドモ、勞働黨ナルモノノ發生ハ、是ハ十分ニ根據ガアリ、理由ノアルコトデアラウト思フデアリマス、此勞働黨ノ發生ニ依ッテ或ハ商工黨モ出來ルカモ知ラス、資本家ヲ代表シタル所ノ政黨ガ出來ルカモ知レナイノデアラウト思フデアリマス、兎ニ角、普通選舉ヲ實行スルト云フコトハ我ガ政黨ノ將來ニ關シマシテモ大イナル變化ヲ來スデアラウト思フデアリマスガ、政府ハ或ハ普通選舉ヲ實行スルコトニ依ッテ、此邊ノ結果ヲ豫期セラレテ、而シテ茲ニ普通選舉ノ案ヲ立テラレタモノデアアルカ、我國ノ政

治ハ近頃頻ニ國民ノ實生活ニ基礎ヲ持ツタモノデナケレバナラナイト云フコトガ唱ヘラレテ來タノデアリマスルガ、成程、今日マデノ政治ナルモノハ國民ノ實生活ト何等交渉ノナイ政治ガ行ハレテ居ル、一種ノ政權ノ爭奪即チ政治デアアルト云フヤウナ觀ヲ呈シテ來タノデアリマス、此前ノ選舉ニ於テ或人ハ奇抜ナル批評ヲ致シタノデアリマスガ、所謂護憲派ナルモノハ特權内閣ナルモノノ打破ヲ叫ンデ居タノデアリマスケレドモ、彼等モ一種ノ特權階級デハナイノデアアルカ、有産階級ヲ彼等ハ代表シテ居ル所ノ者デハナイカ、其數ヲ以テシテモ三百四十萬ヲ代表スル所ノ者デアアル、國民ノ多キヨリ以テ致シタナラバ、現在ノ政黨、現在ノ代議士、又其代議士タラムトスル所ノモノ、是亦一種ノ特權階級デアアルデハナイカト云フ言ヲナサレタ人ガアルノデアリマスガ、是ハ私ハ確ニ根據ノアル理由ノアルコトデアアルト思フノデアリマス、三百萬ノ代表ニ依ッテ、サウシテ國政ヲ料理スルコトニ依ッテハ、國民一般ノ實生活ニ即シタル政治ヲ爲スコトハ出來ナイノデアリマス、稍急激ノヤウデアアルケレドモ、千四百五十萬ノ即チ國民ノ多數、相當ノ年齡ニ達シタモノ殆ド總テヲ網羅スル所ノ此多數ノ者ノ選出スル所ノ代議士ニ依ッテ議院ヲ組織スル、玆ニ初メテ我が政治ト云フモノハ國民ノ實生活ニ即シタル政治ヲ行フコトガ出來ルノデアアルト云フコトモ考ヘラレナイコトデアアルト思フノデアリマス、政府ハ或ハ此邊ニ、普通選舉ヲ斷行セラレムトスルニ當ッテ、考ヲ置カレタモノデアリマセウカ、要スルニ或ハ其他ノ理由ガアルカモ知レマセヌガ、首相ノ御演說ヲ再三拜讀イタシマシテモ、普通選舉ヲ行フコトニ依ッテ如何ナル政治上ニ有利ナル效果ガ生ズルノデアアルト云フコトヲ御示シニナッテ居ラヌノデアリマス、唯差支ナイデアラウ、國民ノ能力ガ進歩シタカラ差支ナイ時期ニ達シタト云フコトデアアルノデアリマス、果シテソレダケノ理由デアアルモノデアリマスルカ、私ハ普通選舉ト云フヤウナ斯ノ如キ重大ナル又根本的ノ改正ヲナスニ付テハモウ少シ具體的ニ、積極的ニ政治上ノ目的ヲ有サナケレバナラナイ、或ハ消極的ニ之ヲ行ハナイトキニハ政治上、社會上ノ革命ヲ阻止スルコトノ出來ナイ憂モアルト云フヤウナ、或ハソレモ一ツノ大イナル國民利福デアラウト思フノデアリマスルガ、願ハクハ其點ニ付テ普通選舉ノ目的如何、之ニ付テ主眼トセラル、所ヲ御示シニナラムコトヲ希望シテ已マナイノデアリマス、次ニハ此提案ノ理由ニ付テ衆議院アタリニ於テモ一向質問モ無カッタノデアリマスルガ、前段ニ於テ總理大臣ハ或ハ

學制ヲ頒布シテ以來五十餘年モ經テ、其間、教育モ普及シ、國民ノ知見モ大イニ開ケテ來タノデアアル、徴兵令ガ施行セラレテ以來五十餘年、數度ノ對外戰爭ヲ經テ國民ノ奉公ノ精神モ誠ニ充實ヲ致シテ居ルノデアアル、自治制ヲ施行シテ四十有餘年、國民ノ政治的經驗ト云フモノモ大イニ進歩ヲ致シテ居ルト云フコトヲ述ベラレ、普通選舉ヲ實行スル所ノ時期ガ到來シタモノデアアルト云フ御話デアッタノデアリマス、而シテ第二段ニ於テ選舉界ノ弊害ノ甚シキコトヲ力説セラレテ居ルノデアリマス、曰ク、近時ノ選舉ヲ實見イタシマスルニ、各種ノ惡弊百出シテ殆ド其極度ニ達シタリト見ラレル程デアリマス云云ト云フコトガアルノデアリマスルガ、此選舉ノ惡弊ヲ力説セラレタノハ、此文章ノ御言葉ノ關係カラ見マスルコト云フト、或ハ罰則デアアル、或ハ選舉費ニ制限ヲ置カレタ理由ノ説明ノ如クニモ見ラレルノデアリマスルガ、恒産アル者恒心アリ、又今日ノ三百四十五萬ノ者ハ確ニ國民中ノ一部分デアリマスルケレドモ、教育ノ程度ニ於テモ、他ノ新ニ選舉ヲ獲得セムトスル所ノ千有餘萬ノ者ニ對シマシタナラバ、進ンダ教育ヲ受ケテ居ル者デアアルノデアリマス、是等ノ者ノ中ニ於テハ町村ノ自治ニ關係シタ幾多ノ經驗ヲ持ッテ居ル者モ現在ノ有權者ノ中ニ多カラウト思フノデアリマス、此三百餘萬ノ現在ノ有權者ヲ以テシテ、首相ヲシテ斯ノ如ク選舉ノ惡弊ヲ力説セシムル、而シテ是ハ必シモ首相御一人ノ見ル所デハナイ、國民モ斯ノ如ク見テ居ルノデアアルノデアリマス、デ、此際ニ於テ此論據ヨリシテ申シマシタナラバ、選舉權ノ擴張ト云フコトハ今尙ホ其時期ニ達シナイト云フ結論ニナルノデハナイカト思フノデアリマスガ、此點ニ付テ或ハ現在ノ三百萬ノ有權者ナル者ハ選舉ノ大切ナルコト、選舉權ノ神聖ナルコトヲ知ラナイ所ノ者デアアル、新ニ附與セムトスル者コソ却テ政治的能力ノ進ンダ者デアアルト云フヤウナ御見込デアリマセウカ、此提案ノ理由ニ於テ私ハ誠ニ惑フノデアリマスルカラ、ソレヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、モウ一ツ此提案ノ理由ヲ御説明ニナッテ所ヲ見マスルト云フト、學制頒布以來、實ニ五十餘年ヲ經マシタル今日ニ於キマシテハ國民ノ知見モ大ニ進ミ、國民教育ノ普及並ニ程度ニ至ッテハ世界列強ニ比シテ別ニ遜色アリトモ考ヘラレナイノデアリマス、斯様ニ書イテアルノデアリマスルガ、私ハ遺憾ナガラ此事實ハ大イニ誤ッテ居ルト思フノデアリマス、我が教育ノ程度ハ或ハ其實效ニ於キマシテモ列強ニ對シテ遜色ナイト云ヒタイノデアリマスルケレドモ、今日ハ遺憾ナガラ大イニ遜色アリト申サスケレ

バナラスノデアリマス、普通選舉ノ效果ノ如キモ、我が教育ガ益進シテ來ナケレバ、普通選舉ノ效果ヲ達スルコトハ甚ダ覺束ナイト考ヘテ居ルノデアリマスルシ、其他産業ノ發達ノ上ニ於キマシテモ、或ハ國防ノ充實ニ於キマシテモ、一般文化ノ進歩ノ爲ニハ、少クトモ、日本ハ出來ルダケ短イ將來ニ於キマシテ、歐米列強ト同等ノ位置ニ進マナケレバナラスト思フノデアリマスルガ、政府ハ既ニ教育ノ程度ニ於テハ列強ニ對シテ別ニ遜色ガナイト云フ確定的ノ御意見ヲ持ッテ御居デニナルモノデアルカ、是ハ言葉ノ綾ト申シマスルカ、日本ノ教育モ相當ニ進シテ來タ、普通選舉ヲ今行フニモ必シモ甚シキ差支ヲ見ナイト云フ御趣意デアラウト思フノデアリマスルガ、併ナガラ斯ノ如ク明確ニ御述ベニナッテ居リマスルノデ、私ハ此點ニ付テモ伺ヒタイ、此事ハ普通選舉ニモ關係ヲ致シ、我が國運ノ進展ノ基礎、文化發達ノ基礎ヲナス所ノモノハ教育ノ進歩ニアリト思ヒマスルガ、政府ガ斯ノ如ク我が現在ノ教育ヲ見テ御居デニナルト云フコトデアリマシタナラバ、各般ノ施設ノ上ニ直チニ影響スルコトデアラウト思フノデアリマスルカラ、是ハ御言葉ノ綾デアアル、玆ニ文字ニ書イテアル如ク、列強ノ教育ニ對シテ遜色ナイト其事ヲ力説シタモノデナイト云フ御答辯、是ハ事實デアリマスルカラシテ御尋ネスル迄モナイコトデアラウト思フノデアリマスルガ、念ノ爲ニ御尋ヲ致シテ置キタイト思フノデアリマス、次ニ御尋ネ致シタイト思フノハ、今日、日本帝國ノ臣民ト申シタナラバ、新附ノ民ヲ加ヘマシタナラバ七千數百萬ニ上ボルコトデアラウト思フノデアリマス、今此選舉法ヲ行ハムトスル所ノモノハ、即チ所謂、内地ニ局限サレテ居ルコトハ誠ニ明カナルコトデアリマス、即チ此選舉法ヲ行ハル、ノハ、内地五千五百萬ニ對シテ行ハル、ノデアリマシテ、帝國臣民二千萬人ト云フ者ハ此改正選舉法ト何等交渉ノ無イモノデアアルノデアリマス、政府ハ此根本的ノ選舉權擴張ヲナサルニ當ッテ、朝鮮ニ對シ臺灣ニ對シ、或ハ樺太ハ暫ク措キマシテモ、之ニ對シテ如何ナル考慮ヲセラレタノデアアルカ、何人ト雖モ今日内地ト同様ニ、朝鮮人ニ對シ臺灣人ニ對シテ選舉權ヲ無制限ニ與フベシト考フル者ハ一人モ無イト思フノデアリマス、併ナガラ文化ノ程度モ異ナルコトデアリマスカラ、斯ノ如ク内地ニ於テ根本的ノ選舉權ヲ擴張ヲナス以上ハ、朝鮮、臺灣ニ對シマシテハ、制限選舉デモ設ケテ、之ニ參加セシメルト云フヤウナコトヲ考ヘラル、ト云フコトハ當然ノコトデアラウト思フノデアリマス、勿論、御考慮ノ末、即チ此選舉法ニハ現ハ

レテ參ラナカッタノデアリマスルケレドモ、其點ニ付テハ如何ナル考慮ヲ拂ハレ、斯クノ次第ヲ以テ、朝鮮、臺灣ハ從來ノ如ク是等ノ國民ニ制限セラレタル程度ニ於テノ選舉權ヲ與フルハ、其時期尙ホ早シト云フ御見解デアリマシタカ、其邊ノコトヲ承リタイト思フノデアリマス、朝鮮、臺灣ニ於キマシテハ、謂ハバ總督ガ一身ニ行政、立法、司法ノ三權ヲ收メテ有ッテ居ルノデアリマス、形ニ於テハ、確ニ是ハ專制政治ノ形式ヲ有ッテ居ルモノデアアルノデアリマス、現在ノ朝鮮總督ノ如キハ、朝鮮人ニ對シテモ非常ニ與望ヲ有ッテ居ラレル、現在ノ朝鮮總督、臺灣總督ガ決シテ專制君主ノ行ヒヲ爲スト云フコトノ無キコトハ、私ノ信ジテ已マナイ所デアアルノデアリマスルケレドモ、其政治タルヤ、專制政治ノ形式ヲ立派ニ具備シタル所ノモノデアアルノデアリマス、斯ノ如キ制度ヲ永ク維持スルコトハ到底出來ナイコトデアリマス、既ニ臺灣ニ於テハ、臺灣ニ特別ノ議會ノ設置ヲ請願イタシテ居ルヤウナ次第デアリマス

〔副議長侯爵蜂須賀正韶君議長席ニ著ク〕

其要求ノ理由ニハ確ニ聽クベキモノガ有ルト思フノデアリマス、況ヤ此帝國議會ニ於キマシテハ、臺灣ノ豫算、朝鮮ノ豫算ヲ審議決イタシテ居ルノデアリマス、臺灣ノ如キハ、既ニ經濟的ノ獨立ヲモ爲シテ居ルノデアアル、之ニ對シテ日本ニ於テハ、僅ナル缺格者ヲ除キマシテハ、二十五歳以上ノ者ハ、即チ其審議ニ間接ニ干與スルコトガ出來ルニモ拘ラズ、朝鮮ニ於テ、臺灣ニ於テ、相當ノ知識アル者、相當ノ資産アル者モ、何等ソレニ一言ヲ挾ムコトモ出來ナイト云フヤウナコトハ、決シテ當ヲ得タルコトデハナイト思フノデアリマス、是等ノ點ニ付テ、如何ナル考慮ヲ費サレタモノデアアルカ、私ハソレヲ承リタイト思フノデアリマス、又第二段ニ付キマシテハ、コノ普通選舉案ガ兩院ヲ通過イタシマシテ、法律トシテ發布セラレタル時ニ於テハ、是ハ新附ノ民ニ對シテ、如何ナル影響ヲ及ボスモノデアアルカト云フコトハ、爲政者トシテ十分ニ注意サレテ居ラナケレバナラスト思フノデアリマス、恰モ普通選舉ニ對スル所ノ國民ノ思想ガ急激ニ變化ヲナシタルガ如ク、急轉直下ノ勢ヲ以テ、普通選舉ハ痴人ノ夢デアルト考ヘテ居ッタ者ガ今日ハ普通選舉ニ贊成セザルヲ得ナイヤウニナッタ如ク、朝鮮ニ於テ、臺灣ニ於テ、此選舉法ガ通過シタ以上ニ於キマシテ、急轉直下ノ勢ヲ以テ、或種ノ思想上ノ變化ト云フモノヲ來スコトアルト云フコトハ、今日ヨリ豫想ニ難クナイコトト

思フノデアリマス、政府ハ必ず此點ニ付テモ細心ノ注意ヲ拂ハレタモノニ相違ナイト思ヒマスルガ、ドウゾ、我々ヲシテ安心スルコトノ出來ルガ如ク、又間接ニハ新附ノ民ヲシテ、此點ニ於テ政府ハ十分ニ考慮スル所ガアルト云フ所ヲ知ラシメルコトモ、必要デアルト考ヘル次第デアリマス、私ハ正直ニ申シマス、板倉子爵ハ疾クニ普通選舉賛成論者デアルト云フコトデアリマスガ、私ハ、今日ハ此大勢ニ捲カレタト申シマス、敢テ普通選舉ニ抵抗シヤウト云フノデナイデアリマス、唯、一ニ衷心ヨリ、普通選舉ヲ實行シタ以上、コノ普通選舉ヲシテ立憲政治ノ上ニ、我國、政治ノ上ニ有利ナル效果ヲ來サシメムト云フコトヲ、切ニ希望シテ居ルモノデアリマス、即チ何等反對スルガ爲ニ、阻止スルガ爲ニ此質問ヲナスノデナクシテ、此案ヲ實行シ、此案ニ賛成スルニ付テ感ウ所ガ有ルガ爲ニ此質問ヲ爲ス次第デアリマス、私ノ申上ゲマシタコトハ、總理ノ御演說ニ言及シテ居ル所モ甚ダ多カッタデアリマスルガ、主務大臣タル所ノ若槻君ヨリノ御答辯ヲ得マスレバ、私ハ満足スルノデアリマシテ、敢テ總理大臣ヲ煩ハスト云フ考ハ無イデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今、澤柳君ヨリ、普通選舉法案ヲ提出シタ其理由ニ付テ積極ナル理由ハ、ドノ邊ニ在ルノデアルカ、明瞭ニ申述ベテ貰ヒタイ、總理大臣ノ演說中ニ於テモ幾ラカ窺ハレルケレドモ、其ハッキリシタ點ガ分ラナイ故ニ之ヲ述ベルノデアルト言ウテ、表裏左右前後、方々カラシテ結局ハ政府提案ノ目的ハ何處ニ在ルカト云フコトヲ御尋ネニナラウト云フ御質問デアッタト思フノデアリマス、總理大臣ガ先程演說セラレマシタ、廣ク國民ヲシテ國家ノ義務ヲ負擔セシメ、普ク國民ヲシテ政治上ノ責任ニ參加セシメ、以テ國運發展ノ衝ニ膺ラシムルノガ刻下最モ急務ナリト認メタノデアリマス、ト云フ言葉ガ有リマス、今回ノ選舉法ノ改正案ヲ提出イタシマシタ根本ノ理由ハ茲ニ在ルノデアリマス、ソレニ付テ、唯今、御質問ニナリマシタ箇條ニ涉ッテ、簡單ニ此總理大臣ノ演說ノ意味ヲ適用シテ、御答ヲ申上ゲヤウト思ヒマス、第一ハ國民民福ヲ進ムルガ爲ニ普通選舉ヲ實行スルト云フガ、普通選舉ヲ實行シタナラバ、ドウ云フヤウニナッテ國民民福ガ増進セラレルノデアルカト云フヤウナ意味デ、御尋ネニナッタト思フノデアリマス、言葉ハ違ヒマスガ要約スルト、サウ云フ意味デアッタト思フノデアリマス、

政府ガ政治ヲスルニ付テ、國家ガ政治ヲ行フニ付テ、國民民福ノ増進ヲ目的トシテ行カナケレバナラスコトハ固ヨリデアリマス、而シテ今日ハ御承知ノ通り、三圓以上ノ國稅ヲ納メテ居ル者デアリマセスト選舉權ガアリマセヌ故ニ、ソレ故ニ選舉ヲ致ス者ノ範圍ハ三圓以上ノ國稅ヲ納メテ居ル者、即チ先程、私ガ其數ヲ舉ゲマシタ約三百四十萬人グラキノ人ノ意嚮ガ、ドウシテモ議會ニ於テハ餘計ニ反映スルモノト見ナケレバナリマセヌ、勿論、今日ノ代議士ト雖モ、唯、選舉人ノ代表者ヲ選ブノデハナイ、國民ノ代表者ヲ選ブ爲ニ選舉スルノデアリマスカラ、今日ノ代議士ハ即チ國民ノ代表者デアリマス、併シ選舉權ヲ行フ者ガ限ラレテ居リマス云フト、自ラ其限ラレタル選舉人ノ利害關係ニ重キヲ置クト云フ傾向ノ有ルコトハ免レスデアラウト思ヒマス、是ガ選舉權ガ擴張セラレテ三百四十萬人ガ千四百萬人以上ニ上ボリマス云フコトニナレバ、詰リ總理大臣ガ茲ニ申述ベテ、廣ク國民ヲシテ國家ノ義務ヲ負擔セシメ、普ク國民ヲシテ政治上ノ責任ニ參加セシム、即チ成ルベク廣イ國民ノ意思ノ反映ニ依ッテ、國民民福ヲ圖ッテ行カウト云フコトニナハ申上ゲマセヌ、併ナガラ選舉權ガ擴張イタシマスレバ、矢張りソレニ伴ッテ其擴張セラレタ有權者ノ全體ノ見ル所ニ從ッテ國民民福ト云フコトヲ判斷シテ、ソレニ依ッタル政治ガ行ハレルコトニナルノデアリマスカラ、選舉權ヲ擴張シテ、所謂、普通選舉權ニナシタノハ、大體ノ目的ハソコニ在ルト申上ゲヌケレバナラスノデアリマス、今日ノ選舉ガ總理大臣モ認メテ居ラレルヤウニ、ドウモ十分公正ニ行ハレテ居ナイ、其間ニ弊害頗ル多イ、其多イ弊害ヲ矯メルガ爲ニハ、今日ノ選舉民ニ對シテハ、如何ニ法規ノ取締ヲ嚴正ニシテモ出來ヤウガナイ故ニ、普通選舉ヲ行ッテ選舉權ノ大擴張ヲシテ、ソレデ選舉ノ腐敗ヲ防グ爲デアルヤ否ヤト云フノガ、澤柳君ノ第二ノ質問デアリマシタ、選舉ノ腐敗ヲ杜絶シテ、其公正ヲ期スルコトハ選舉權ガ現在ノ通りデアリマシテモ、是ガ擴張セラレルトシマシテモ、共ニ之ヲ圖ラヌケレバナラスト思ヒマス、如何ニ取締法ヲ嚴ニシテモ、如何ナル取締ノ方法ヲ設ケテモ、此選舉ノ弊害ナルモノノ矯正ハ出來ルト斷定スル譯ニハ參ラヌト思ヒマス、現行ノ儘デモ取締ノ方法如何ニ依リ、制裁ノ設ケ方如何ニ依ッテハ、矢張り選舉ノ公正ヲ期スルコトガ出來ルト思ヒマス、併ナガラ普通選舉法ヲ提出シタノガ、選舉ノ腐敗ヲ防グ、ソレガ目的デアルト申上ゲルコトハ出來マセヌ

ガ、併シ選舉民ガ多數ニナツテ、今日、少數ノ選舉民ニ對シテ行フヤウナ選舉上ノ弊害ガ、多數ノ者ニ向ッテハ行ハレヌヤウニナルカラ、普通選舉ガ實行セラレルト云フト、選舉ノ公正ニ行ハレルコトガ、今ヨリ一段良クナルデアラト思フガ、其意味ヲ政府ハ考ヘテ居ルヤ否ヤト云フコトデアレバ、ソレハ澤柳君ト大體ハ同様ニ見テ居ルノデアリマス、選舉權擴張セラレ、是ガ四倍以上ニモナリマス云フト、今日ノ弊害ナルモノガ行ハレナイ部分モ生ジマスカラ、其點ニ於テモ選舉ノ廓清ナルモノガ若干出來ルト思ヒマス、併シ選舉ハ公正ニスルコトハ、是ハ選舉權ノ制限セラレテ居ル時デモ、擴張セラレテ居リマス時デモ、何レノ時ニ於テモ努メスケレバナリマセスカラ、是ガ目的デ普通選舉法ヲ提出シタト言ヒマシタンデハ、稍言ヒ過ギルコトニナリハスマイカト思フノデアリマス、第三段ニ於テ、澤柳君ハ大正七八年頃カラノ政局ノ、政治上ノ勢力ノ状態ヲ觀察サレテ、一部ノ政黨ニ勢力ガ集マツテ、ソレガ爲ニ色々ナ事ガ生ジタ故、此勢力ヲ打破スルガ爲ニ他ノ途デハ到底イケナイカラ、普通選舉ニ依ッテ初メテ此勢力ヲ打破シテ、新ナル途ヲ打開スル爲ニ、之ヲ出シタンデハナイカ、其趣意ヲ含ンデ居ラレハセスカト云フヤウナ御尋ガ第三點ニアッタヤウデアリマス、政黨ノ關係ニ付テノ澤柳君ノ觀察ハ、私ノ觀察トハ全然一致シテ居マセヌ、政友會ノ勢力ヲ御覽ニナツタリ、憲政會ノ勢力ヲ御覽ニナツタリ、其他ノ政黨ノ勢力ヲ御覽ニナツテ居ル點ハ、必シモ私ガ見テ居ル所トハ同一デアリマセヌ、ソレデアリマスカラ其觀察モ澤柳君トハ違ッテ居リマスガ、政友會ノ勢力、或政黨ノ勢力ヲ打破スル爲ニ普通選舉ノ法案ヲ提出シタ、サウ云フ意味ハ一ツモ無いノデアリマス、政黨ノ勢力ハ自ラ生ズルノデアッテ、選舉法ノ改正ガ、政黨ノ勢力ヲ打開ノ爲ニ提出セラレテ居ルノデハナイト云フコトダケハ斷言シテ申上ゲテ宜シイノデアリマス、其上ニ、政黨ノ消長論ニ對シテハ、私ハ大イニ觀察ヲ異ニシテ居ルノミナラズ、澤柳君ノ仰セニナルヤウナモノデハアルマイト私ハ考ヘテ居リマスカラ、此點ニ付テハ、ドウモ選舉法ノ提出ノ理由トシテ、政黨ノ勢力ヲ批評スルコトハ、私ハ甚ダ困難ヲ覺エルノデアリマスカラ、是ハ此位ノ程度デ答辯ハ止メテ置キタイノデアリマス、今日ノ選舉法ニ於テハ、國稅三圓以上納メル者ニアラザレバ選舉權ヲ有ッテ居ラナイ、從テ大多數ノ無產階級ノ者ハ選舉權ヲ行ッテ居ナイ、ソレガ爲ニ、サウ云フ方ノ人達ハ議會ニ對シテ信用ガ置ケナイト云フヤウナ風ナ考ヲ起ス傾キガ有ル、殊ニ國民ノ極

ク一部ノ人ガ選舉權ヲ行ッテ、大多數ノ人ニ選舉權ガ無いト云フヤウナコトカラ、自然ニ其間ニ不平不滿ガ生ズル、サウ云フ場合ニ、國家ノ爲ニハ甚ダ憂慮スベキ關係ニナル故ニ、此法律ハ左様ナ不平不滿ヲ醗酵セシメナイ意味ヲ以テ提出シタノデアアルヤ否ヤ、併セテ斯様ナ法律ガ出タナラバ、結局、勞働黨ト云フヤウナ政黨ガ出來テ、今日、現存シテ居ル政黨ハ、色々黨派ハ立テ、居ルケレドモ、大體ノ政見ガ似寄ッテ居ルカラ、此法律ガ制定セラレテ、勞働黨ノヤウナモノガ出來タナラバ、自然、現在ノ政黨ハ片方ノ方ニ、大體、一緒ニナツテ其勞働黨ナドト相當ラナケレバナラヌヤウニナリハセスカ、即チ政府ハ此法律案ノ提出ニ依ッテ、政黨ノ状態ガ大イニ變化スルト云フコトヲ豫期シテ、此法律ヲ出シテ居ルノデアアルヤ否ヤ、斯ウ云フノガ第四段ノ御質問ノヤウデアリマス、其前ニ御尋ネニナリマシタ所ノ、今日ノヤウニ選舉權ガ制限セラレテ居ッテハ、イツマデモ斯様ナ状態ガ續ケバ、其間ニ選舉權ヲ有タナイ者ガ不平不滿ヲ懷クヤウニナル、ソレカラ起ル所ノ弊害ト申シマセウカ、憂フベキ現象ナルモノハ餘程酷カラウト思フガ

〔議長公爵徳川家達君議長席ニ復ス〕

ソレヲ豫メ防グト云フノガ、本案提出ノ理由デハナイカト仰セニナル、其點ニ於テハ、大體ハ御考ノ通りデアリマス、大體ハ、廣ク國民ニ既ニ今日ノ如ク政治上ノ能力ガ生ジテ居ル以上ハ、其能力ヲ生ジタル人間ニハ、選舉權ヲ與ヘルノガ當然デアアル、元來、立憲政治ハ國民ト共ニスル政治デアアル、國民ト云フ以上ハ、一部ノ國民デアッテハナラナイ、總テノ國民デナケラネバナラヌ、但シ政治能力ノ無い者ト共ニ國政ヲ議スルト云フノデハ、時ニ國政ヲ誤ル虞レガ有ル故ニ、政治能力ガ發達シテ居ナイ時ニハ、能力アルベシト認メラレル者ト共ニ國政ヲ議セナケレバナラヌガ、既ニ政治能力ガ發達シテ來タナラバ、成ルベク廣ク國民ト共ニ國家ノ政治ヲ議シ、國民ヲシテ廣ク國家ノ義務ヲ負擔セシメ、普ク政治上ノ責任ヲ分タシメルト云フノガ當然デゴザイマス、是ハ立憲政治ノ當然ノ歸結デアアル、今日、日本國民ノ政治能力ハ其處ニ達シタノデアアル、是ガ此度ノ普通選舉法案ヲ提出シタ所以デアリマス、而シテ左様ニ政治能力ガ發達シテ、自分等ハ既ニ十分政治ノ判斷能力ガアツテ、今日選舉權ヲ有ッテ居ル者ト異ナル所ナキニ、彼等ハ皆選舉權ヲ有ッテ、我々ハ選舉權ヲ有タナイ、是ガ、ドウ云フ譯ダト云ッテ茲ニ氣ヲ付ケテ、此事ニ注意ヲ拂フヤウニナリマス、其間カラ、其差別ノ上カラ生ズル不平不

満ト云フモノカラ、色々ナ憂フベキ現象ガ生ズルノデアリマスカラ、ソレヲ豫メ極度ニ至ラシメナイ間ニ於テ、ソレゾレ選舉權ヲ與ヘテ、左様ナ狀態ノ發生セナイヤウニスルト云フノガ、亦今日法律ヲ提出シタ所以デアリマス、第四ニ御尋ネニナリマシタ所ノ一部ハ、澤柳君ノ御考ト同等デアルト申上ゲテ宜シイノデアリマス、勞働黨ガ出來ルト思フ、私共モ或ハサウ云フノガ出來ヤウト思ヒマス、併ナガラ選舉權擴張ニ依ッテ權利ヲ得ル者ハ勞働者ノミデハアリマセヌ、今日ハ勞働者以外ノ、郡村ニ於ケル多數ノ國民デ選舉權ヲ有ッテ居ナイ者ガアリマスカラ、是等モ亦選舉權ヲ有ツコトニナリマス、ソレ故ニ勞働黨モ起リマセウ、其他ノ黨派モ起リマセウ、色々政黨ノ關係ニモ變化ヲ生ジマセウ、政治上ニ於テモ、選舉民ノ數ガ限ラレテ居ル時ト、廣ク是ガ普通選舉ニナリマス時ト、自ラ影響アルモノト思フノデアリマス、唯、併シ茲ニ具體ノ政黨ノ變遷マデ豫斷ヲシ、豫期シテ、コノ普通選舉法ヲ出シタカト云フ御尋ナラバ、左様ナ政黨ノ消長ナドニ向ッテ、サウ迄深ク研究ヲシテ居ルノデアリマセヌ、第五ノ御尋ハ是マデノ政治ガ國民ノ實生活ニ直接シテナイヤウナ政治ガ多イ、ソレデハ即チ選舉權ガ制限セラレテ居ル故ニ斯様ニナルノデアアルガ、普通選舉ヲ行フ目的ト云フモノガ、國民ノ實生活ニ直接スルヤウナ政治ヲ行ハシメルガ爲ニ、斯ウ云フコトヲ爲スモノト思フガ、政府提出ノ理由ハ其處ニ在ルカ否ヤ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマス、現在ノ政治モ決シテ國民ノ實生活カラ離レテ居ルトハ思ヒマセヌ、又今日ノ制度ガ國民ノ實生活ヲ離レタ空理ヲ以テ事トシテ居ルナドトハ、私共決シテ思ハヌノデアリマス、今日ノ選舉ニ依ッテ選バレタ代議士デアリマシテモ、今日ノ選舉法ノ下ニ成立シテ居ル政黨デアリマシテモ、其目的トスル所ノモノハ、國民民福ノ増進ニアルノデアッテ、國民民福ナルモノハ、國民ノ實生活ヲ離レテ決シテ之ヲ論ズルコトノ出來ルモノデアリマセヌカラ、現在ノ政治ガ國民ノ實生活ヲ離レテ居ルトハ私ハ思ヒマセヌ、併ナガラ選舉權ガ擴張セラレテ、制限セラレタル選舉權ガ廣イ選舉權ニナリマスト云フト、其國民ノ實生活ト云フコトノ見方ガ廣イ者ノ眼ヲ以テ見ル、狭イ者ノ眼ヲ以テ見ルヨリモ、一段廣イ目デ見ルト云フコトノ關係ハ固ヨリ有ルコトト存ジマス、ソレ故ニ、サウ云フ關係ハ矢張り此選舉法改正ヲ致シマスルト自然ニ生ズルコトデアル、是ノ生ズルコトハ私ハ惡イトハ思ハヌ、國民ノ考ニ依ッテ、大體ノコトヲ行ッテ行カウト云フナラバ、大多數ノ國民ガ見テ、是ガ國民ノ實

生活ト最モ直接……斯ウヤッテ貰フコトガ國民ノ生活狀態ヲ向上スル上ニ於テ大切ダト云フ其見方ヲ、最モ廣イ眼デ見テ判斷ヲシタ所ニ依ッテ行フト云フコトハ、最モ宜シイコトデアルト存ジマスカラ、ソレガ若シ普通選舉法提出ノ理由ノ一ツニナッテ居ルカト云フ御尋ナラバ、理由ノ中ノ一部ニナッテ居リマスト申上ゲテ宜シカラウト思ヒマス、但シ反對ニ、現在ハ其事ハ無視セラレテ居ルヤウニ御覽ニナリマスナラバ、私ハ決シテ現在ニ於テモ其事ハ無視セラレテ居ラナイト云フコトダケハ申上ゲテ置カスケレバナラスト思フノデアリマス、第六ニ御尋ネニナッタノハ、矢張り第二ニ御尋ネニナッタノ同様デアッテ、今日ノ選舉界ノ腐敗ハ随分ヒドイ、之ヲ矯正スルノニハ他ニ方法ハ殆ド無イ、單リ之ヲ矯正スルニハ、此選舉權ヲ擴張シテ、選舉權者ヲ多クスルノデアアル、ソレニ依ッテノミ此矯正ハ出來ルヤウニ思フガ、此度ノ改正案ハ其意味ニ於テ提出シタト見テ宜イカドウカ、斯ウ云フ御尋デアッタヤウデアリマスガ、是ハ前ニモ申上ゲタ通り選舉界ノ腐敗ヲ正シテ、選舉ノ公正ヲ期スルコトハ現在ノ儘デモ、亦擴張セラレタ場合デモ、イツノ場合デモ大切デアリマス、即チ選舉權ガ擴張セラレマスト、今日行ハレテ居ルヤウナ選舉上ノ不正ナ事ハ、或モノハ之ヲ行フコトガ不便ニナリマスカラ、幾分之ニ依ッテ矯正セラレルト云フコトハ申上ゲテ宜シカラウト思ヒマス、併シソレキリデハ到底足リマセヌ、法案デ御覽ニナリマス通り、選舉ノ方法、取締方法、罰則等ニ於テ幾多改善ヲ加ヘテ、ソレデ現在ノ選舉界ノ弊害ヲ矯正セムト努メテ居ル次第デアリマス、ソレカラ教育ノコトニ付テ總理大臣ハ、日本ノ國民ノ教育ノ普及シ向上シタ程度ハ最早外國ニ遜色ナイ所ニ至ッテ居ル故ニ、普通選舉法ヲ實行シテ差支ナイト言ハレタ、然ルニ事實ニ於テハ、日本ノ國民ノ教育程度ハマダ一歐米ニ對シテ大イニ遜色アルト思フ、其點ニ付テハ政府ハ、ドウ思フテ居ルカ、若シ遜色ナシナドト思ウテ、教育上ノ施設ナドヲ怠ルヤウナコトガアッテハ、相成ラヌト云フヤウナ意味ヲ以テ御尋ネニナッタノデアリマス、是ハ澤柳君モ仰セニナッタ通り、言葉ノ綾デアラウト仰セニナッタ、遜色ナシト云フヤウナコトハ、文章ノ上ニ於テ能ク言ウコトデアリマシテ、事柄ニ依ッテハ、物ニ依リマスレバ歐米ノ通りデナイモノモ有リマセウ、併シ物ニ依ッテハ彼等ヲ凌駕シテ居ルモノモ有ル、要スルニ、日本ノ國民ノ教育程度ハ歐米ノ教育程度ヲ將ニ壓セムトスル、サウシテ大イニ劣ッテ居ナイ所マデ來テ居ルノデアルカラ、最早、普通選舉ヲ實行シテモ宜

イ程度デアル、是ガ總理大臣ノ演說ノ趣意デアルト私ハ思ウテ居ルノデアリマス、固ヨリ私モ今日ノ教育ノ普及シタ程度ニ於テハ、普通選舉ヲ實行シテ宜シイト思ヒマスケレドモ、ソレナラバ教育ヲ進メテ行ク關係ニ於テ、是デ満足シテ宜シイカト云フト、決シテサウデハアルマイト思ヒマス、モットモット教育ノ充實ヲ圖ツテ、一段ト國民ノ道德、知識、體育等ニ於テハ進メテ行カスケレバナラヌコトハ、モットアルト存ジマス、而シテ之ヲ進メレバ進メル程、此選舉ニ於ケル弊害モ少クナレバ、普通選舉ヲ實行シタ效果ハ益、舉ラウト存ジマス、固ヨリ教育上ノ施設ナドハ今後ト雖モ、最モ努メテ行カスケレバナラヌモノト思ツテ居ルノデアリマス、此法律案ヲ提出スルニ付テハ朝鮮臺灣ナドノコトモ考ヘタヤ否ヤ、又此法律ガ通過シタ時ニ新附ノ民ガ如何ナル考ヲ有ツカト云フコトニモ考ヘ及ンデ、此法律案ヲ提出シタルヤ否ヤ、是ハ朝鮮臺灣ノコトモ考慮イタシマシタ、併シ是等ニ付テハ、現行法ニ於テモ、マダ全ク内地ノ如ク立法府ニ參與セシムルト云フコトニナツテ居ラナイノデアリマス、今又彼等自身ノ地域ニ於テモ、モウ少シ彼等ノ意思ヲ政治上ニ現ハレシメルヤウナコトヲ爲サムトスレバ、爲シ得ベキコトハマダ有ルノデアリマス、サウ云フ方面カラ、段々ニ進ンデ來ルノニアラサレバ、直チニコノ衆議院議員ノ選舉法ノ改正ノ所ニマデ關聯セシメテ、彼等ノ代表者ヲ帝國ノ衆議院ニ見ルト云フコトハ、私ハマダ早イト思フ、其前ニ彼等ノ關係ニ於テハ、マダ他ニ爲スベキ事ガ有ルガラウト思ヒマス、其點ニ付テハ當局モ考慮ヲ致シテ居ルノデアリマス、而シテ此法案ガ通過イタシマシタナラバ、サウ云フヤウナ希望ハ一層彼等ノ間ニ増進セラル、コトデアラウトハ存ジマスガ、希望ノ有無ニ拘ラズ、物事ニハ自ラ順序ガアルノデアリマスカラ、此關係ニ於テモ、順序ヲ履ムノガ當然デアラウト考ヘテ居ルノデアリマ

〔伯爵副島道正君演壇ニ登ル〕

○伯爵副島道正君 私ハ唯今質問ノ要旨ヲ總理大臣ノ御手許マデ差出シテ置キマシタ、其實問ノ要旨ハコ、ニ讀上ゲルコトニ致シマス、第一ハ政府ハ今回提出ノ衆議院選舉法改正法律案ハ、我が國體ニ不利ヲ來スノ虞レナシト斷言シ得ルヤ、第二ガ政府ハ金甌無缺ノ我が國體ヲ擁護セムガ爲ニ右法律案ニ左記ノ修正ヲ加フルヲ必要ト思ハザルヤ、而シテ修正ト云フコトニ付キマシテハ、私ハ三十箇條ニ互ツテ卑見ヲ有ツテ居ルノデアリマスルガ、政府ノ手

許ヘ出シマシタ所ノモノハ、三箇條デアリマス、今コ、ニ讀上ゲマスル所ノモノハ、一箇條ダケ讀上ゲマス、即チ第五條デアリマス、私ハ斯ク修正イタシテハ如何カト思フト云フコトデ、政府ニ唯今、質問要旨ノ中ニ書入レテ置イタノデアリマス、即チ第五條ノ帝國臣民タル男子ニシテ市町村ノ公民タル者ハ選舉權ヲ有ス、斯ク修正スルノガ今日最モ穩カナル所ノ方法デハナイカト私ハ思フノデアリマス、唯今、澤柳政太郎君ガ滔々數萬言、政府ニ向ツテ質問ヲサレタ、又單ニ滔々數萬言ノ質問ヲサレタノミナラズ、滔々數萬言答辯モサレタヤウナ譯デ、即チ立派ナ自問自答デアアル、誠ニ完全無缺ナ御演說デアタト思ツタノデアリマス、私ハ澤柳君ガ開員ノ一員ニ居ラレスト云フコトハ、政府ノ爲ニ甚ダ遺憾ニ思フト感ジタクラキデアアルノデ、又澤柳君ノ自答ニ對シテ、内務大臣ガ完全ナル所ノ補ヒヲサレタ、今私ガ茲ニ立チマシテ、此上、質問スル必要ハ無イヤウナコトデアリマスケレドモ、併ナガラ私ハ他ノ見地ヨリ、是ハ重大ナル問題デアリマスル故ニ、他ノ見地ヨリシテ、總理大臣竝ニ内務大臣ニ質問ヲ試ミタイト思フノデアリマス、諸君、今日ハ我が國民ハ、一口ニ言ヘバ「クロッス・ロード」即チ十字街ニ立ツテ居ルノデアリマス、前ニ進ムカ、右ニ行クカ左ニ行クカ、或ハ後ニ退クカ、我が國民ノ多數ガ眞ニ國ヲ愛ヘ、眞ニ國民利福ノ如何ナルコトヲ知ツテ居ルヤ否ヤト云フコトハ、コノ數日間ニ決スルモノト思フノデアリマス、此金甌無缺ナ國體ノ基礎ヲ危ウセムトスルガ如キ法律案ガ今日提出サレタ、之ニ對シテ午前中ニ總理大臣竝ニ内務大臣ヨリ、其提出ノ理由ヲ拜聽シタ次第デアリマス、私ハ主義ニ於キマシテハ、貴族院ノ改革ニシテモ、又ハ選舉權擴張ニシロ、主義トシテハ反對デハナイノデアリマスルケレドモ、併ナガラ不幸ニシテ此政府ガ斯ノ如キコトヲ斷行スルニ至ツタ所ノ動機ガ誠ニ不純デアルト云フコトヲ遺憾ニ思フノデアリマス、貴族院ノ改革ニ付キマシテハ、先頃、永田秀次郎君ガ、滔々質問ヲサレテ、政府ヲシテ殆ド答フル所ヲ知ラシメズト云フクラキ迄、完全ナル質問ヲサレタノデアリマス、十分ニ其動機ヲ解剖サレ、之ニ對シテ政府ヲシテ殆ド面目ヲ失ハシメタト私ハ思フクラキデアアルノデアリマス、普通選舉ニ付キマシテモ、其動機ト云フモノガ果シテドウ云フモノデアリマスカ、恐ラクハ、貴族院改革ト同ジヤウニ、出發點ハ甚ダ不純ナモノガアッタト云フ風ニ思ハレルノデアリマス、恒産アルモノハ恒心アリト云フコトガ屢々今日マデ述ベラレタコトデ、又ソレハ實ニ其通りデアアル、三百萬ノ有權者中ノ多

數ハ我國ノ中堅トモ言フベキ所ノ農民ニ屬シテ居ルノデ、農民ト云フモノハ、上古ヨリ、農ト云フモノハ即チ國ノ基礎トナツテ居タノデアリマスガ故ニ、農民ノ思想ト云フモノハ、最モ堅實デアアルノデ、故ニ其多數ト云フモノハ、一時極メテ穩健著實ナリト認メラレテ居タ所ノ政友會ニ、非常ナ同情ヲ以テ、政友會ノ政策ヲ支持シ來タノデアアル、茲ニ於テ一部ノ政治家ハ之ヲ遺憾トシ、煽動政治家ハ之ヲ憎ミ、或ハ山王臺ニ於テ、或ハ院前ニ於テ、時ニ依ツテハ聞ク所ニ依レバ、一圓乃至二圓ノ日當ヲ拂ッテ無職業ノ者ヲ集メテ運動ヲ起シタト云フノハ、抑、其普選運動ノ初メデアルト云フコトハ、是ハ衆目ノ見ル所デアルト思フノデアリマス、其起リノ不純ナリト云フノハ、即チ理由ハ茲ニ存シテ居ルノデアリマス、又新聞業ニ從事スル者ハ、或ハ營業政策ト云フ見地ヨリ、或ハ其他ノ理由ノ存スルモノガアツテ、固ヨリ普選ニ對シテハ、ドノ新聞紙モ反對論ヲ唱ヘル者ガ無イヤウニ思ハレマスケレドモ、併ナガラ新聞業ニ從事シテ居ル者ト雖モ、心竊ニ裏面ニ於テハ、甚シク普選斷行後ノ結果ヲ憂ヘテ居ル者ガアルノデアアル、私ハ決シテ少數デハナイト思フノデアリマス、如何ナル人モ、普選賛成論者ト雖モ、心竊ニソレヲ斷行シタ後ノ結果ハ、果シテドウデアラウト云フコトハ憂ヘテ居ルノデアリマス、今日、普選斷行ノ唯一ノ尤モラシイ所ノ理由ハ、何處ニ存シテ居ルカト申シマスルト、先頃、板倉君モ述ベラレ、又澤柳君モ述ベラレタト記憶シテ居リマス、既成政黨ガ非常ナ腐敗ヲシテ居ル、選舉界ガ甚シク腐敗ヲシテ居ルガ故ニ、若シ普選ヲ斷行スルニ至レバ政界ノ革新ヲ圖ルコトガ出來ルト云フ、是ガ普通選舉斷行ノ尤モラシイ主モナル理由デアルト云ウテモ宜カラウト思フノデアアル、併ナガラ政界ノ腐敗シテ居ルノハ、果シテ今日ノ有權者ノ罪デアラウカ、決シテ今日ノ有權者ノ罪ヂヤナイノデアリマス、即チ政黨其モノノ罪デアルト、私ハ思フノデアリマス、政黨ノ今日腐敗シテ居ルノハ政黨員其モノノ罪デアアル、決シテ今日ノ有權者ノ罪デハナイト私ハ思フノデアリマス、明治二十三年ニ明治大帝ガ欽定憲法ヲ賜ハリマシテ以來、既ニ三十五年、而モ今日ニ至ツテ未ダ憲政ノ運用ト云フモノガ其宜シキヲ得テ居ナイノデアアル、其原因ハドコニ存シテ居ルカト申シマス、國民ノ委託ヲ受ケテ居ル、即チ政權ヲ握ッテ居ル所ノ人々、或ハ立法部ニ立ツテ立法者トシテ權能ヲ持ッテ居ル人々、國民ノ委託ニ背イテ此權利ヲ濫用シタト云フコトガ、私ハ主モナル原因デアルト思フノデアリマス、凡テ此權能ヲ有ツテ居ル人ハ、悉ク

權能ノ受託者デアアルノデアアル、然ルニ動モスレバ是ガ濫用サレ來タノデアアル、是ガ即チ私ハ政界ガ腐敗シ、又國民ノ人心ガ不安ニ赴イタ所ノ主モナル原因デアラウト思フノデアリマス、而シテ今日立憲政治ニ取ツテ最モ大切ナル所ノモノハ何デアアルカト申スト、申ス迄モナク即チ選舉權デアアルノデアリマス、此選舉權ト云フモノハ、立憲政治ニ取ツテハ最モ神聖ナル所ノモノデアアル、此神聖ナル所ノ選舉權ト云フモノガ、僅カ其值ニ於テハ舶來ノ「ウキスキー」一圓グラキニ過ギヌヤウナ、商品ニ等シキ取扱ニナツテ居ルヤウナ有様ニナツテ居ル、是ガ選舉界ヲ腐敗セシメタ所ノ、モウ一ツノ原因デアルト私ハ思フノデアアル、而シテ此罪ハ誰ニ存スルカ、悉ク既成政黨ニ存スルノデアアル、而シテ又地方自治ト云フモノハ如何ナル國ニ取ツテモ、其國ノ基礎ヲ成スベキ所ノモノデアアル、一國ノ基礎ト云フモノハ、地方自治ガ健全デアアルヤ否ヤニ依ルノデアアル、故ニ地方自治ガ健全デアリマスレバ、其國ノ國民利福ヲ圖ルコトガ出來ルノデアアル、然ルニ我國ノ地方自治ハドウデアリマスカ、大ハ以テ大都會ヨリ小ハ以テ一寒村ニ至ルマデ、悉ク政爭ノ渦中ニ投ゼラレテ居ッテ、動トモスルト人々ガ黨利アルヲ知ツテ民福ヲ顧ミナイト云フヤウナ風ナ有様ニナツテ居ルノデアアツテ、恒産アレバ恒心アリト云フコトハ事實デアリマスガ、恒産アル所ノ有權者スラ、今日斯ノ如キ有様ニナツタコトヲ考ヘテ見マスレバ、恒産ヲ有セザル故ニ恒心ヲ有シナイ所ノ若イ人々ガ選舉權ヲ得ルヤウニナツタナラバ、其結果ハ果シテドウデアリマセウカ、蓋シ私ハ想像スルニ難カラズト思フノデアリマス、之ヲ要スルニ、我國ノ政黨政治ト云フモノハ、我國ノ歴史ト相容レナイト私ハ思フノデアリマス、我國ハ彼ノ王權ヲ蔑ロニシ鴟梟ノ慾ヲ逞フセル所ノ者ノ出現スルニ至ルマデハ、我國ニ於テハ非常ニ仁政ガ施カレテアツタノデアリマス、崇神天皇、仁德天皇ヲ始メ奉リ、歷代ノ天皇ハ常ニ國民利福ヲ以テ政ノ基ト遊バサレタノデアアル、故ニ或ハ民ヲ富マシムルノ詔ヲ賜ヒ、或ハ農ヲ勸ムル所ノ詔ヲ賜ヒ、或ハ又廉潔ノ士ヲ登用スル所ノ詔ヲ賜ヒ、或ハ民力ヲ涵養スル所ノ詔ヲ賜ヒ、或ハ又國家ヲ利シ、民ヲ寛カニスル所ノ詔ヲ賜ヒ、或ハ又人民ノ爲ニ米穀ヲ貯藏シ之ヲ非常時ニ備ヘルト云フ所ノ詔ヲ賜ヒ、或ハ王公諸侯及富家ノ餘リ多クノ私財ヲ蓄フルコトヲ禁ズル所ノ詔ヲ賜ウタ所ノ天子様モアツタヤウナ次第デアリマス、而シテ免稅ノ詔勅ノ如キニ至ツテハ、誠ニ其數枚舉ニ遑アラズト、我國ノ歴史ヲ見テ見レバ思ハレルノデアリマス、我が國體ノ世界ニ冠タル所ノ

原因ハ即チ茲ニ存スルノデアアル、而モ 明治大帝ノ御踐祚ノ初ニ當ツテ、ドウ云フコトヲ宣ヒマシタカ、斯ク宣ウタノデアリマス、「今般朝政一新ノ時ニ膺リ天下億兆一人モ其處ヲ得ザル時ハ朕ガ罪ナレバ今日ノ事朕自身、骨ヲ勞シ、心志ヲ苦メ、艱難ノ先ニ立チ古烈祖ノ盡サセ給ヒシ蹤ヲ履ミ、治績ヲ勤メテコソ、始メテ天職ヲ奉ジ億兆ノ君タル所ニ背カザルベシ」斯ウ 明治大帝ハ宣ウタノデアリマス、而シテ四十五年ノ後ニ國民一同、悲哀慟哭ノ裡ニ崩御遊バサル、ニ至ルマデハ實ニ躬行實踐遊バサレタヤウナ次第デアアル、其克ク蒼生ヲ撫愛遊バサレ、宸襟ヲ惱マシ給ウタ所ノ大御心ト云フモノハ未來永劫、我ガ國民ガ今日デモ忘レテハイカスコト私ハ思フノデアリマス、今日ハ立憲政治ノ御代デアリマスルガ、立憲政治ハ天皇ノ御名前デ有司ノ者ガ政ヲ行フノデアアル、今日デハ政黨ガ政ヲヤル、所ガ現代ノ政黨ハ古代ニ於ケルガ如ク、又 先帝ガ軫念遊バサレタ如ク、國民民福ヲ以テ政ノ基礎トシテ居ルヤ否ヤ、私ハ頗ル疑問デアアルト思フノデアリマス、無制限ノ普通選舉ノ如キ今日ニ之ヲ斷行スルト云フコトハ、或ハ欽定憲法ノ御精神ニ背クコトナキヲ保シ難シト私ハ思フノデアリマス、若シ賴山陽ヲシテ、今日徒ラニ普通運動ヲ起シ、人民ヲ煽動シタ所ノ政治家、或ハ心中私カニ普通ニ反對ト雖モ之ヲ提出スルニ至ツタ所ノ人々ノ心中ヲ、若シ賴山陽ヲシテ書カシタナラバ、彼ハドウ書クデアリマセウ、私ハ五十年後ノ賴山陽ハ今日ノ政黨史ヲ書クニ當ツテ、斯ウ云フコトヲ書クト思フノデアリマス、即チ「予修政黨之史。至於普通通過之際。未嘗不含筆而歎也。嗚呼。世道之變。名實之不相符。一至於此歟」ト云フコトヲ、私ハ賴山陽ハ書クト思フノデアリマス、而シテ此普通ト云フモノハドコカラ這入ツテ來タカト云フト、悉ク外國ノ模倣デアアル、外國ニ於テ今日普通選舉ガ必シモ完全ナモノト言ハレテ居ルデセウカ、英米ノ如キスラ、普通選舉ニ依ル所ノ政ヲ以テ、決シテ「ボビュラー・ガヴァーンメント」ト言ハズ、寧ロ「ボビュラー・ミスガヴァーンメント」ト言ツテ居ル、茲ニ米國人ノ書イタ所ノ本ガアル、五百頁ニ亙ツテ三十三章ヨリ成立ツテ居ル所ノ本デアリマス、此中ニハ普通選舉ガ米國ニ這入ツテ來タ所ノ原因ト云フモノハ、佛蘭西ノ革命ガ原因ニナツテ居ル、其結果、普通選舉ト云フモノガ這入ツテ參ツタ、其結果、甚シク米國ノ政治ガ腐敗シテ遂ニ今日デハ米國モ赤化ヲ恐レルヤウナ風ナ有様デアアル、故ニ若シ米國ノ赤化ヲ防ガムト欲スルナラバ、ドウシテモ納稅資格ヲ基礎トスル所ノ制限選舉ニ依ル外ハナイト云フコトヲ、此人

ハ書イテ居ルヤウナ風ナ次第デアリマス、政治的ニ自覺シタ所ノ英國ニ於テモ、米國ニ於テモ、今日、普通選舉ヲ以テ必シモ完全無缺ナモノトハ言ウテ居ナイノデ、中ニハ先程申上ゲタヤウニ、之ヲ以テ「ボビュラー・ミスガヴァーンメント」ト云フ位デアアル、今日、斯ノ如キ有様デアアルノニ拘ラズ、我國ハ一躍シテ三圓ノ納稅資格カラ無制限ノ普通ニ移リ、三百萬ノ有權者カラ千四百萬ニ飛ブト云フコトハ果シテ我國ノ利益デアアルヤ否ヤ、是ハ頗ル疑問デアアルト私ハ思フノデアアル、而モ之ヲ提出スルニ至ツタ所ノ理由ガ十分デアレバ宜シウゴザイマス、其原動力ト云フモノガ甚ダ不純デアアル、故ニ私ハ政府ニ質問イタシタイコトハ、今日、普通選舉ヲ斷行スルト云フコトハ尙ホ早シト私ハ思フノデアアル、先程、政府ノ御手許ニ出シテ置イタヤウニ、帝國臣民タル者ヲシテ、市町村ノ公民權ヲ有スル者ニ選舉權ヲ與ヘルコトニスルコトガ、今日一番穩當ナモノデハナイカ、斯ク致シマスレバ今日三百萬ノ有權者デアアルノガ、是ガ八百萬ニナルノダ、約三倍ニナル、是ナラバ先ヅ漸ヲ逐ウテ進ムノダ、然ルニ三百萬カラ一躍シテ千四百萬ニ移ルト云フコトハ餘リニ甚シイ激變デアアルト私ハ思フノデアアル、申ス迄モナク、權利ニハ必ズ義務ガ伴ハナケレバナラス、市町村ノ公民ト云フモノハ權利ヲ持ツテ居ルト同時ニ、義務ヲ持ツテ居ルノデアアル、唯徒ラニ民心ニ媚ビル爲ニ、何等義務モ無イ、政治的ニ自覺モシテ居ラナイ者ニ選舉權ヲ與ヘルト云フコトハ、果シテ國家ノ爲ニ利益デアアルヤ否ヤト云フコトハ、私ハ頗ル疑ハシイコトト思フノデアリマス、此故ニ地方自治ニ付テ發言權ヲ持ツテ居ル所ノ者ニ、中央政治ニ參與セシムルト云フコトガ最モ妥當ナコトデアアルト思フ、先程、澤柳君ガ朝鮮或ハ臺灣ニ於テモ參政權ヲ與ヘルヤウニナルノデアアルヤ否ヤト云フヤウナ意味ノ御質問ガアリマシタガ、固ヨリ今日ハ未ダサウ云フ時ニ達スベキ譯デヤナイ、臺灣ハイザ知ラズ、朝鮮ノ如キハ先ヅ第一ニ教育ヲ施シ、産業ヲ開發シ、然ル上、或ハ二三十年ノ後ニハサウ云フコトニナルカ知レマセヌガ、併ナガラ免ニ角、サウ云フ風ナ時代ニナル前ニハ、自治ノ發達ヲ圖ラナケレバナラヌト云フコトニナル、自治權ヲ有ツテ居ル者ガ、遂ニ中央政府ノ政治ニ參與スルト云フコトニナルノガ、是ガ至當ナコトデアアル、故ニ私ハ市町村ノ公民權ヲ持ツテ居ル所ノ者ガ、中央政府ニ參與スルト云フコトニスルノガ最モ妥當ダト思フ、之ニ對シテ政府ハ如何ナル御考デアアルカ、之ヲ伺ヒタイト思フノデアリマス、其次ハ第二十七條デアリマスガ、斯ク變ヘルノガ至當デハナイカト思ヒマス

ガ、之ニ付テ政府ノ御意見ヲ承リタイト思ヒマス、即チ「選舉人ハ投票所ニ於テ議員候補者ノ氏名ヲ列記セル投票用紙ニ自ラ投票セムトスル議員候補者一人ノ氏名ノ上ニ記號ヲ記載シテ投函スヘシ」、記號ノ形式ハ固ヨリ勅令ヲ以テ定ムルコトニナルノガ至當ト思ヒマスガ、何故ニ私が斯ウ云フコトヲ主張スルカ、何故ニ私が斯ノ如キ質問ヲ政府ニ向ッテ發スルカト申シマスルト、選舉界ノ弊害ト云フモノハ政府ノ能ク認メテ居ル所デアリマス、有權者ハ投票所ニ到ッテ候補者ノ名前ヲ墨ヲ筆ニタツブリ附ケテ書イテ、サウシテソレヲ手押シテ、即チソレヲ記シニシテ候補者ト後トデ取引ヲスルノガ、是ガ選舉界ノ最モ甚シイ弊害トシテ認メテ居ルデアリマス、故ニ候補者ノ名前ヲ印刷ニ付シタ所ノモノヲ投票用紙トシテ、自分ガ投票セムトスル所ノ候補者ノ名前ノ上ニ記號ヲ記スト云フコトニスレバ、選舉界ノ最モ主ナル所ノ弊害ガ之ニ依ッテ除クコトガ出來ルト思フデアリマス、故ニ私が政府ニ向ッテ斯ノ如キ考ガ政府ニ無イダラウカ、即チ二十七條ヲ斯ウ修正スルト云フ意思ハ無イノデアラウカト云フコトヲ質問スルデアリマス、其次ハ第二百二條デアリマス、即チ「選舉運動ノ費用ハ議員候補者一人ニ付左ノ額ヲ超ユルコトヲ得ス、選舉區内ノ選舉人名簿確定ノ日ニ於テ之ニ記載セラレタル者ノ總數ニ八錢ヲ乘シテ得タル額、但シ總額一萬圓ヲ超ユルコトヲ得ス」、斯ク變

ヘルガ私が最モ至當ト思フデアリマス、政府ハ選舉費ノ制限ニ付テ非常ニ重キヲ置カレテ居ルデアリマスガ、政府案ニ依リマスルト候補者ノ數デ有權者ノ數ヲ割ッテ、其得タ所ノモノニ四十錢ヲ乘ズルト云フコトニナッテ居リマスガ、斯ウスルト打算上甚ダ面倒デアアルノミナラズ、甚ダ不合理デアルト私ハ思フデアリマス、殊ニ或ハ補闕選舉ガアルトカ、或ハ選舉ノ一部ガ無効ニナッテ更ニ選舉ヲ行フ場合ニ非常ナル不便デアルト思フデアリマス、ソレヨリハ寧ロ有權者數ニ八錢ヲ掛ケルト云フコトニスレバ誠ニ打算上都合ガ宜カラウト思フデアリマス、政府ノ案ヲ見マシテ三十箇條ニ互ッテ修正スベキ所ガアルト思ヒマスケレドモ、主モルモノハ即チ此三點デ、即チ五條、二十七條、百二條ニ存シテ居ルト思フデアリマスガ、之ニ對シマシテハ政府ハ何ト考ヘルカ、此點ヲ伺ヒタイノデアリマス、之ヲ要スルニ、政府ノ迎合的政策ハ、我が國體ノ基礎ヲ危クセムトスル所ノ法律案ヲ今日提出イタサレルヤウニナッタト私ハ思フデアリマス、普通選舉其モノハ早晚來ラナケレバナラヌノデアリマスケレドモ、非常ニ不純ナル所ノ動機ニ依ッテ斯ノ如

キ急激ナル變化ヲ來シ、場合ニ依ッテハ我が國體ノ基礎ニ非常ナル影響ヲ及ボス虞レノアルヤウナコトヲ玆ニ敢テスルト云フデアリマスカラシテ、國民ノ一人トシテ憂慮ニ堪ヘナイ、賛成ヲ表向キシテ居ル所ノ人等デモ心密カニ其結果ヲ憂ウテ居ルト云フ風ナ次第デアリマス、ソレデ私ハ政府ニ向ッテ此法律案、即チ普通選舉案ト云フモノヲ實行シテモ、我が國體ノ基礎ニ決シテ影響ハ無イデアリマセウカ、斯ウ確信シテ出サレタコトト思ヒマスケレドモ、心配ノ無イト云フ所ノ證據ヲ舉ゲテ御深切ナル所ノ答辯ヲ仰ギタイト思フデアリマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 唯今、副島伯爵ガ、コノ所謂普通選舉ノ實行セラレタ結果ニ想到セラレテ、國家ノ爲ニ斯様ニ致シテ、果シテ其間ニ不都合ナルコトハ生ゼスカ、殊ニ國體ニ不利ヲ來スヤウナ虞レガ無イト斷言シ得ルヤ否ヤト云フ極メテ眞面目ナル、又極メテ國事ヲ憂慮セラル、御質問ガアッタノデアリマス、是ハ政府ガ本案ヲ發案イタシマストキニ、政府自身モ固ヨリ斯ウ云フ點ニ最モ考慮ヲ加ヘテ決心ヲ致サナケレバナリマセウカラ、若シ其事ガ國家ノ爲ニ不利デアリマスルナラバ、如何ナル行掛リガアリマセウトモ、政府ハ決シテ提案ハ致サヌデアリマス、唯今、副島伯爵ノ御述べニナッテ居ル中デ、政黨ニ對スル御批評ノ如キハ、私共ハ大變ニ所見ヲ異ニシテ居ルデアリマス、私自身モ政黨員デアリマス、併ナガラ政黨員デアアル爲ニ政黨ヲ辯護スルノデアリマセウカ、政黨員ガ黨派ノ爲ニ國家ノ事ヲ第二段ニ置イテ、物ヲ考ヘルモノデアアルヤウニ御觀察ニナリマスノハ、私ハ甚ダ遺憾ニ存ズルデアリマス、今日ノ立憲政治ノ下ニ於テ政黨ノ出來マスノハ自然ノ結果デアルト思ヒマスガ、何レノ政黨モ國民民福ヲ圖ルガ爲ニ、如何ナル政策ヲ實行スルノガ最モ其時代ノ國民民福ニ適スルカト云フコトヲ考ヘテ、是ガ實行ニ努力ヲ致シテ居ルデアリマシテ、政黨ナルモノガ何カ私心ヲ挾ンデ權力デモ壟斷シヤウトスル爲ニ、總テノ行動ヲシテ居ルヤウニ御覽ニナッテ居ルナラバ、其御言葉ヲ聽クコトハ甚ダ遺憾ニ存ズルデアリマス、又普通選舉ノ主張ガ不純ナル動機ニ出テ居ル、山王臺ノ演說會クラキカラ是ガ出テ來テ、遂ニ普通選舉ノ法案ニナッタト云フヤウニ御覽ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ決シテ左様ナモノデハナイノデアリマス、以前カラ永ク唱ヘラレテ居ッタ案ト云フコトハ私ハ申上ゲマセウ、最近、大正七八年ノ頃カラ

普通選舉ノ問題ニハ眞劍味ヲ以テ國民ガ研究ヲスルヤウニナッタノデアリマス、之ニハ先程、澤柳君ノ仰セニナツタ通り、國民ノ思想ノ上ニ大ナル變化ガ生ジタト云フコトモアリマセウ、歐羅巴大戦争ハ世界ノ國民ノ思想ノ上ニ大ナル影響ヲ與ヘタノデアリマス、惡イコトヲ考ヘタモノモアル、併ナガラ相當道理ノアル意味ニ於テ思想ノ變化ヲ來シタコトモアリマス、ソレデソレ迄ハ左程、是ガ國民ノ中ニ強ク唱ヘラレテ居ラナカッタモノデアリマスガ、大正七八年ノ頃カラハ國民ガ眞劍味ヲ以テ此普通選舉ノ問題ヲ考察シ主張スルヤウニ相成ッタノデアリマス、而シテ大正九年ニ於テハ普通選舉ノ問題デ衆議院ガ解散セラレマシタ、是ガ政治上ノ一ツノ大ナル争ノ問題ニナツテ、衆議院ノ解散ガ行ハレルト云フコトニナリマスレバ、其問題ニ對スル考察ト云フモノハ全國津々浦々マデ行渡ツテ、普通選舉ノ利害得失ガ論ゼラレ判斷セラル、コトニ相成ルノデアリマス、其判斷ノ結果、或時ニ於テ普通選舉ヲマダ實行スルヲ不可トスルモノガ多カッタウト思フコトハ、選舉ノ結果ニ於テ現ハレテ居ル時モアツタノデアリマス、ソレガ引續イテ一度問題ニナリマシタ以上ハ、全國國民津々浦々マデ皆此普通選舉ハ考究セラレテ居ルノデアリマス、サウシテ其結果、衆議院議員ノ選舉ノ結果ニ現ハレテ居ルモノモアルノデアリマス、又選舉ノ結果ノミデハナイノデアアル、是ハ地方ナドニ御出デニナツテ御覽ニナルト大抵分ルガ、斯ウ云フ問題ハ或ハ左程、利害關係ヲ感じテ居ラナイト云フヤウナ方面ニ於テ、此問題ガ最も熱心ニ考究セラレテ居ルノデアリマス、ソレハ私共ノ實見スル所ニ依リマス、確ニサウナツテ居ルノデアリマス、サウ云フヤウニシテ、十分全國ニ行渡ツテ考究セラレタ結果、國民ノ意嚮ガドノ邊ニ在ルカ、勿論普通選舉ハマダ早イト云フ論者モ有リマス、又世間ニハ今日家長ニダケ選舉權ヲ與ヘルノガ宜イト云フ議論ヲシテ居ル人モ有ル、世帯主ニダケ選舉權ヲ與ヘルガ宜イト云フコトヲ言ツテ居ル人モ有ル、併ナガラ家長ノミニ與ヘルガ宜イ、世帯主ノミニ與ヘルガ宜イト云フノハ、是ハ普通選舉デハナイノデアリマス、普通選舉デハナイケレドモ、ソレヲ唱ヘル人ガ之ヲ普通選舉デアルト言ツテ居ルノデアリマス、純正普通選舉デアルト言ツテ居ル、ドウ云フ意味デアリマスカ、私ハ能ク存ジマセスガ、其制限セラレタル選舉法ノコトデモ、普通選舉デアルト言ツテ唱ヘナケレバ、今日國民ノ前ニ選舉權ノコトヲ論ズルコトガ出來ヌ程、普通選舉ト云フモノガ、深刻ニ國民ニ考察ヲセラレルヤウニナッタノデアリマス、

ソレデ之ニ反對スル者ガアリマスコトハ私ハ能ク承知シテ居リマス、マダ早イト言ツテ居ル論者モ有リマス、或程度ニ於テトメヤウト云フノモアリマス、併シ大多數ハ何ト云フモ今日ハ普通選舉ノ主張者デアアル、是ハ私ハ確ニ左様ニ考察シテ居リマス、決シテ山王臺ノ演說會ノ尻ガ此法案ニナツテ來タト云フモノデモ何デアリマセヌ、動機ガ不純デアルト云フ仰セガソコニ在リマスナラバ、私共ハ、サウ云フ議論ニ依ッテ斯ウ云フコトヲ賛成シテ提案ヲスルヤウニ致シタノデアリマセヌ、又提案者ノ中ニモ心ニハ之ニ反對デアアル、併シ心ニハ反對デアアルケレドモ、口ニ出シテ言フコトガ出來ズ、心ナラズ、此提案ヲシテ居ルト云フヤウナ關係ニアルト云フヤウナコトヲ仰セニナル、是ハ私、政府以外ノ者ニ付テハ何トモ申上ゲマセヌガ、政府ノ當局ニハ心ナラズシテ此案ニ賛成シテ出シテ居ルナント云フコトハ、是ハ全然無イコトデアリマシテ、十分ナル考究ヲシ考慮ヲシテ、サウシテ今日ハ之ヲ實行スルニアラザレバ、實行セナイ害ヨリモ……實行シテカラ幾ラカ御心配ニナル點ガ有ルニシテモ、其心配ヨリモ實行セナイコトノ害ノ方ガ寧ロ多イ、此處マデ國民ガ自覺ヲシテ、ドウシテモ此權利ヲ要求スルヤウニナツテ居ルノヲ、一部ノ人ノミニ權利ヲトメテ置イテ、他ノ人ニ此權利ヲ及ボサスト云フコトカラ生ズル……何ガ起ルカ分ラナイガ、私ハソコニ憂フベキ現象ガ起ル虞レガ有ルト思フ、之ヲ考ヘテ見タナラバ茲ニ最早普通選舉ヲ行ハナケレバナリマセヌ、此考ノ下ニ於テ一方ニハ國民ノ政治能力ガ發達シテ居ル、是ガ土臺デアリマス、其發達シテ居ルコトノ自覺ガアツテ、一部ノ者ガ權利ガアツテ他ノ者ニ權利ガ無イ、之ニ對スル不平ガ有ル、此不平ガ長ジテ來タナラバ、恐ロシイコトデアルト云フコトヲ顧ミマシテ、其兩方面カラ考ヘテ見ルト云フト、今日ハ所謂普通選舉ヲ實行シナケレバナラヌ、斯様ナ考ニナツテ提出シタノデアリマシテ、決シテ不純ナ動機トカ、或ハ心ニモナイ發案トカ云フヤウナコトデナイ、是ハ私ハ十分申上ゲテ置キタイノデアリマス、而シテ斯ノ如キ法案ヲ出シタナラバ、國體ノ上ニ不利ヲ來スノデハナイカ、能ク世間ニハ普通選舉ヲ實行スレバ、國體ヲ破壞スルナント云フコトヲ言ハレル方ガ有リマス、國體ヲ破壞スルト云フコトハ、是ハ實ニ我々日本ノ臣子トシテ左様ナ事ガアツテ、決シテ黙ッテ見テ居ルベキコトデアリマセヌ、此提案ガ國體ニ破壊ヲ及ボスト云フヤウナコトデアッタナラバ、提案スベキモノデモ何デモナイ、我ガ金甌無缺ノ國體、萬世一系ノ天皇ヲ奉戴シタマツツテ

居ル我ガ國體、而シテ之ヲ奉戴シテ居ル者ハ我ガ日本國民、日本國民ガ相共ニ萬世一系ノ天皇ヲ奉戴シタマツル所ノ金甌無缺ノ國體ヲ擁護スルト云フコトハ、是ハ何人ニ於テモ之ニ向ッテ疑ヲ挾ムモノデナイト思ヒマス、私ハ此原案ガ國體ニ不利ヲ來スモノト云フコトハ、全ク考ヘテ居ナイコトデアリマシテ、國民全體ト共ニ我ガ金甌無缺ノ國體ヲ擁護シタイト云フガ爲ニモ、早キニ及ンデ、相當資格ノアル國民ニハ權利ヲ與ヘテ、餘リ其間ニ不平不滿ヲ醗酵セシメナイ方ガ相當デアアル、斯ウ云フヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス、第二點ノ御質問ノ、我ガ金甌無缺ノ國體ヲ擁護スル爲ニハ、所謂普通選舉ニ致サヌデ、市町村ノ公民タル者ノミニ衆議院議員ヲ選舉セシムル權利ヲ與ヘタ方ガ相當デアラウト思フガ、政府ハ之ニ付テドウ思フカト云フ御言葉デアリマス、先程申上ゲマシタヤウニ國民全體ノ大體ノ政治上ノ能力ト云フモノハ、今日ハ發達シテ居ッテ、國政ニ參與スルダケノ力ガ出來テ居ルト思フノデアリマス、而シテ我ガ國法ニ於テモ最近ノ國法ニ於テハ、公法上ノ關係ニ於テハ戶主ト家族ト云フモノヲ區別セナイト云フ制度ニナッテ居ルノデアリマス、其事ハ何回モ外ノ機會ニ申上ゲテ居リマスカラ、繰返ス必要モアリマセヌケレドモ、徴兵ノ義務デアリマシテモ、納税ノ義務デアリマシテモ、今日マデノ衆議院議員、府縣會議員、市町村會議員ヲ選舉スルニ致シマシテモ、戶主ト家族トハ區別セヌコトニナッテ居リマス、然ルニ世間ニハ戶主ナリ或ハ世帯主ノミニ此權利ヲ限ラナケレバナラスト申ス議論ガアリマス、是ハ我が最近ノ公法上ノ立法ノ狀態ニ反シタ議論デアルト私共ハ思ヒマス、而シテ副島伯爵ノ玆ニ御述ベニナッタノハ、世帯主トカ戶主トカ云フコトデハアリマセヌ、市町村ノ公民ト云フノデアリマスカラ、戶主ト家族トハ區別セヌコトニハナッテ居リマスケレドモ、併シ數字ヲ御舉ゲニナッタノハ、八百萬人程ト云フコトデアリマス、稍、世間ノ言フ所ノ世帯主ニ權利ヲ與ヘルト云フコトニ似寄ッタコトデアリヤウニ思フノデアリマス、ソレデ今日ノ市町村ノ公民ハ市町村稅ヲ納メテ居リサヘスレバ宜シイト云フコトニナッテ居ル、ソレデアリマスカラ一錢デモ市町村稅ヲ納メテ居リサヘスレバ宜シイト云フノデアリマスカラ、大抵ノ世帯主ト云フ者ハ皆市町村ノ公民權ヲ持ッテ居ル、ソレデアリマスカラ市町村ノ公民ト云フノハ、確ナ言葉デハアリマセヌケレドモ、略世帯主ト云フコトニ匹敵スルヤウデアリマスガ、サウアリマス公民權ヲ持タヌモノ、即チ家族ト云フモノニ權利ヲ與ヘルト、何カソコニ大變ナ憂

慮スベキコトガアル、戶主ナリ世帯主デアレバ國體ノ上ニ於テ差支ナイガ、家族デアルト云フト、家族ニ權利ヲ持タセルト云フト、何カ國體ノ上ニ大變ナ害ノアルヤウナ結果ニナル……ドウモ私共、如何ニ考ヘテ見テモ、同じ帝國ノ忠良ナル臣民ニシテ、戶主デナイ家族デアルカラト云ウテ、之ニ權利ヲ持タセルコトガ危險デアルト云フ理由ハ、何處カラモ發見スルコトガ出來ヌノデアリマス、家族モ忠良ナル臣民デアアル、戶主モ忠良ナル臣民デアアル、ソレデアリマス以上ハ、總テ政治能力ガ發達シタト云フコトニナッテ居ルナラバ、最近、日本ノ公法關係ニ於ケル狀態ニ基イテ、戶主ト家族ヲ區別セズシテ、權利ヲ持タセルト云フコトガ相當デアアル、家族ヲ除外スルト云フコトガ、却テ家族ニ向ッテ何カ之ヲ國法ガ危險視シタル關係ニナッテ面白クナイデハアルマイカ、政治能力ノ無イ者ナラバ、戶主デアッテモ、家族デアッテモ、其ニ是ハ權利ヲ持タセテハナラヌト思ヒマスガ、既ニ政治能力ノ有ルト云フコトヲ認メタ以上ハ、戶主ト家族トヲ區別スルト云フコトハ、ドウシテモ道理ガ無イヤウニ思ヒマス、副島伯爵ノ御提議ハ戶主トカ世帯主トカ云フノデアリマセヌデ、市町村ノ公民ト云フノデアリマスカラ、是ハ違ヒマス、私今家族ト云フコトヲ申上ゲタノハ、副島伯爵ニ向ッテ申上ゲルコトニハ當リマセヌケレドモ、市町村ノ公民ト云フモノハ大抵今日ハ世帯主ト略、一致スルヤウニナッテ居ルモノデアリマスカラ、其關係カラ云フト、世間ニアリマス所ノ家族ヲ除外シヤウト云フ議論ニハ、ドウモ政府トシテハ同意スルコトガ出來マセヌノデ、從テ副島伯爵ノ市町村ノ公民ト云フコトダケヲ以テ制限トスルコトニモ御同意申上ゲルコトニ躊躇スル次第デアリマス、第二十七條ノ改正ニ於テ、選舉人ハ投票所ニ於テ投票用紙ニ豫メ列記シタル候補者ノ中へ自分ノ投票シヤウト思フ候補者ニ何カ印シテ附ケテ、ソレデ投票スルヤウニシタナラバドウカト云フ、而シテ其印シテ附ケル方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ムルト云フコトニシタナラバ、ドウカ、此御意見ニハ私共贊成デアリマス、ドウカ他日此衆議院議員ノ選舉法ガ改正ガ出來テ、斯ウ云フコトヲ實行スルコトガ出來ルヤウニナリマシタナラバ、斯様ニ爲スコトガ宜シイト思ッ居ルノデアリマス、デ、政府モ此度ノ案ニ斯ウ云フヤウニシヤウト思ッテ、餘程考ヘタノデアリマス、然ルニ今日ハ候補者ノ届出ハ十日前マデハ宜シイト云フコトニシテアリマス、サウシマス十日マデハ候補者ガドウトモ極マリマセヌカラ、書クコトガ出來マセヌ、選舉當日ヨリ十日以内ニ於テ初メテ候補者ガ定マリ

マスカラ、初メテサウ云フ選舉用紙ニ候補者ノ名前ヲ書ク、印刷ニ付スルト云フコトニナリマスカラ、是ガ今日北海道ナドノ如ク廣イ選舉區ニナリマスト云フト、迎モサウ云フコトニシテ選舉當日マデニ候補者ノ名前ヲ書イタ用紙ヲ配ルト云フコトハ出來ナイノデアリマス、ソレサヘ出來マスレバ、副島伯爵ノ茲ニ御提議ニナッタヤウニ爲ス方ガ政府モ宜イト思ヒマス、所ガドウモ期日ノ關係ト、今日ノ交通機關ノ關係カラ考ヘテ見マシテ、ドウシテモ此事ガ行ハレヌモノデアリマスカラ、私共此事ハ至極宜カラウト思ヒナガラ、残念ナガラ此度ノ改正案ニハ此様ナ規定ヲ致サナカッタ次第デアリマス、ソレカラ第百二條ノ改正ニ關スル費用ノ制限ヲ、副島伯爵ハ選舉人名簿ノ確定ノ日ニ於テ、人名簿ニ登錄セラレタ人ノ總數ニ八錢ヲ掛ケタ其金額ヲ以テ制限トスル、而シテ如何ナル場合ニ於テモ總額一萬圓ヲ超エルコトガ出來ヌ、斯ウ云フ風ニシタナラバ宜シクハナイカト云フ御意見デアリマス、此仕組ミハ大體ハ政府ノ原案モ似寄ッテ居リマス、政府ノ原案ハ選舉區内ニ於ケル總體ノ有權者ヲ議員ノ定數デ割ッテ得タ其商ニ四十錢ト云フモノヲ掛ケタ其金額ヲ制限ニスルト云フノデアリマス、副島伯爵ノ御考案ト政府ノ案トノ違ウ所ハ、副島伯爵ハ有權者總體ニ掛ケヤウト云フ仰セデアリマス、政府ノ原案ハ有權者ヲ議員ノ定數デ割ッタ其商ニ掛ケヤウ、ソコガ御考案ト違ッテ居ル點デアリマス、又副島伯爵ノ案ハ、總數デアルガ、其代リ一人ニ付テ八錢ト云フコトニシヤウト云フ御案デアリマス、政府案ハ一人ニ付テ四十錢ト云フコトニシテ居ルト云フコトデ、ソレダケノ違デアリマスガ、此四十錢ト云フコトニ極メマシタノハ、定數デ割ッタモノノ方ガ宜シカラウト云フノハ、一選舉區デ議員ノ定數ガアリマスレバ、其全體デナク、大抵定數デ割ッタ其一分グラキヲ以テセバ當選スル稍、望ミノ生ズル譯デアリマスカラ、ソレヲ土臺ニシタ方ガ宜シカラウト云フ意味デ、サウシテ其四十錢ト云フ數字ハ、是ハモウ見計ヒデアリマス、四十錢ガ宜イカ、四十二錢ガ宜イカ、或ハ三十八錢ガ宜シイカ、ソコラノ邊ノコトハ全ク見計ヒデアリマスガ、先ヅ四十錢グラ井ノ金額ヲ掛ケタ方ガ、現在使ッテ居ルモノノ多イ者ハ是ハ餘リ使ヒ過ギテ居リマス、少イノハ此前ノ總選舉ニ於テハ千何百圓グラキデ濟ム人モ有リマスケレドモ、今日ノ選舉ハ千圓カ二千圓デ濟ムト云フ運動ハ是ハ例外デアリマスカラ、サウモ參リマセヌ、ソコデ大體ノ均ラシタ所ヲ取ッテ見ルト云フト、マア有權者ノ數ヲ議員ノ定數デ割ッタモノガ、均ラシタ所デ三萬

人グラ井ハドウモアリサウニ思ハレル、ソレニ四十錢ヲ掛ケルトチヨット一萬……二千圓出マスガ、其位ノ費用ヲ使フト云フコトハ、今日ノ選舉ニ於テハ、ドウモ選舉ヲ何カ裏面ニ於テ不正ヲ行フ爲ニ金ヲ使フト云フ疑ヲ懷ク方面デナク、正シイ運動ヲシテ居ッテモ、ソレ位ノ費用ハ要ルデアラウト云フ見込デアリマシタガ爲ニ、政府ノ原案ノヤウニ致シテ居ル次第デアリマス、大體ノ御考ニ於テ、大シタ反對スベキコトデアリマセスケレドモ、併シ政府デモ先ヅ餘程考究シテ、唯今ノ案ノヤウニ作リ上ゲタノデアリマスカラシテ、矢張り政府ノ原案ノ方ガ宜シカラウヤウニ考ヘテ居ルノデアリマス

○伯爵副島道正君 唯今、內務大臣ヨリ洵ニ御深切ナル所ノ御答辯ニ預リマシテ謹ンデ感謝イタシマス、唯、私、普通選舉ヲ斷行シテモ國體ノ基礎ヲ危ウスルヤウナコトガ有リヤ無シヤト云フ問題ニ付キマシテハ、是ハ皆想像デアル、或ハ是ガ爲メ民心ガ安定シテ意外ニ好結果ヲ見ルカ知ラス、或ハ又一部ノ者ハ之ニ乗ジテ如何ナル事ヲセヌトモ限ラス、詰リ一口ニ言ヘバ、山デアルト云フヤウナ風ナ感じガ起ルノデアリマス、私ハ元々普通選舉者ノ一人デアッタノデアリマス、併ナガラ此普通選舉ガ提出サレル前後ニハ、一部ノ人々ハ洵ニ大膽ニナッタヤウナ風ニ考ヘルノデアリマス、我々ノ所ニ來ル手紙ニモ隨分ヒドイ事ガ書イテアル、或ハ華族ノ廢止、貴族院廢止賛成カト云フヤウナ風ノ手紙モ來ルノデアアル、是ハ要スルニ、煽動政治ガ成功シタ、故ニ御前等、是カラ華族モ廢スルゾ、貴族院モ廢スルゾト云フヤウニ脅シタナラバ、ドウデモナルト云フ風ニ考ヘテ居ルヤウナ人モ有ルカモ知レスト思フ、斯クナッテ來レバ我々ハ何モサウ云フコトハ恐レヌノデ、今日マダ普選斷行ハ早イナント云フヤウナ感じガ大ニ私ハ浮ンデ來タノデアアル、元々、是ハ英國ニ於ケルヤウナ風ニ四百年間、人民ガ要望シテ、遂ニ成功シタト云フ所ノモノデヤナイノデ、元ノ起リハ、何ト內務大臣ガ仰セニナリマセウガ、詰リ矢張り煽動政治家ガ煽動シタノガ元々此普選運動ノ起リデアッタノデ、デ、斯ノ如キコトデ成功シテ、ソレガ爲ニ又色々ナ外ノ欲望ヲ有ツヤウニナッテハイカヌ、固ヨリ斯ノ如キ運動ヲスル者ハ、極ク一小部分ノ人デアリマスルノデ、動モスルト、直接行動ニ出デムトシテ居ルヤウナ風ノ傾向ノアル今日、我々ハ、今日普選ガ通過シタカラシテ、此次ハ貴族院ヲドウスルトカ、或ハ華族ヲドウスルトカ、贊成デアリヤ否ヤト云フヤウナコトヲ聞イテ來ラレルヤウニナレバデス、我々ハ……少クモ私ハ普選マダ早シ、斯ノ如キ考ヲ國民ノ一部分ニ

有ッテ居ル以上ハ、斷行スルノハ此國民ニ取ッテマダ早シト、少クモ私ハ考ヘテ居ルガ故ニ、一ツノ修正ヲ加ヘルカ、或ハ延バシテ國論ニ訴ヘテ見ルカ、或ハ閣員ノ中ニモ昨年マデハ普選ニ反對シテ御居デノ方モアッタノデアリマス、例ヘテ見レバ、政友會ノ領袖連中ハ普選ニ反對デアッタ、英國ノ如キニ於キマシテハ、大臣ニナレバ直チニ更ニ選舉ヲ仕直スト云フヤウナコトガアル、即チ大臣ニナレバ再ビ選舉區ニ惣ヘテ、サウシテ選舉ヲ仕直シテ出ル、中ニハ出ラレナイ人モアルクラキデアアル、チヨット大臣ニナツテモ、ソレ位ノコトヲシナケレバナラヌ、黨派ヲ變ヘレバ、固ヨリ直チニ自分ノ選舉區ニ惣ヘルト云フコトヲスル、然ルニ普通選舉ニ反對デアッタ或ハ高橋農商務大臣或ハ小川司法大臣ノ如キ方ガ、此内閣ニ列セラレルコトニナツタ以上ハ、私ハドウシテモ、矢張り此際、衆議院ヲ解散シテ、イマ一度國論ニ惣ヘルト云フノガ純理デハナイカ、其結果、若シ現内閣ガ多數ヲ得レバ、コ、デ初メテ國論ハ普選ニ賛成デアルト云フコトガ明カニナルト私ハ思フノデアリマス、多分、國民モ多數賛成デアラウ、普選ニ賛成デアラウト思ウテ居ッタノデアリマスガ、併シナカク有力ナル人ガ心竊ニ憂ヘテ居ル、中ニハ數十名、百數十名ノ人ガ連名シテ普選ニ反對シテ居ル人モ有ルヤウナ譯デ、一面ニハ民心ノ一部分ニハ人民ノ民衆運動ノ勝利デアルト見テ、極ク一部分ノ人デアリマスナレドモ、洵ニ大膽ニナツテ來テ居ルノモアルヤウナ風ナ譯デアリマスルシ、又此普選ノ結果ヲ眞ニ憂慮シテ居ル者ガ決シテ少クハナイ、先程私ガ述ベマシタヤウニ新聞ハ殆ド全國普選ニ賛成シテ居ルヤウデアアリマスケレドモ、新聞事業ニ從事シテ居ル所ノ人スラ、心竊ニ憂ヘテ居ルヤウナ風ノ次第デアアルノデ、私ノ先程御示シタ所ノ修正意見ノ如キ、又此處ニ數十箇條ニ互ッテ持ッテ居ル所ノモノモ、是モ中ニハ新聞事業ニ從事シテ居ル人等モ相共ニ憂ヘテ研究シタ結果、得タ所ノモノモアルヤウナ次第デアリマス、故ニ新聞紙上ニ於テ普選反對討論ガ一ツモ無イカラシテ、是ハ國民ノ輿望ナリト考ヘテ御居デニナレバ、私ハ飛ンデモナイ間違デハナイカト思フ、併シ大體ニ於キマシテ、内務大臣カラ洵ニ御深切ナル所ノ御答辯ヲ得マシテ、内務大臣ノ御誠意ノ在ル所ハ宜ク了解イタシマシタ、唯、委員會ニ於キマシテ、果シテ是ガ國家ノ爲ニナルノナラ通過イタシテ宜カラウシ、若シ然ラザルニ於テハ、私ハ相當ノ修正ヲ加ヘルガ至當ト思フノデアリマス、是デ私ハ質問ヲ終リマス

○議長(公傳德川家達君) 矢吹男爵

「男爵矢吹省三君演壇ニ登ル」

○男爵矢吹省三君 衆議院議員選舉法改正法律案、此法律案ノ重大ナルコトハ私カラ特ニ申ス必要モナイノデアリマス、即チ此法律實施ノ影響、政治上ニ於ケル影響竝ニ經濟上ニ於ケル影響、其影響ノ重大ナルコトハ今カラ想像出來ルノデアリマス、又我が家族制度ニモ大ナル影響ヲ及ボシヤシナイカト云フ處レモアル、延イテハ我が國體ニ對シテ重大ナル惡影響ヲ及ボスモノデハナイカト云フ懸念モアルノデアリマス、而モ尙ホ其惡影響ガ如何ニ重大デアツテモ、將來ニ於テ此法律ヲ改正シテ選舉權ヲ再ビ制限スルト云フコトハ、到底不可能ナモノデアルト云フコトモ、亦今日ヨリ想像出來ルノデアリマス、即チ一旦與ヘレバ最早ヤ之ヲ回復スルコトガ出來ナイ、他ノ法律デアリマス、結果ノ惡イ場合ニ於テハ之ヲ亦改廢スルコトモ出來ルノデアリマスガ、斯ノ如キ法律ハ再ビ之ヲ元ヘ戻スト云フコトハ出來ナイモノト我々ハ覺悟シナケレバナラヌ、此點ニ於テ私ハ結果ノ重大ナル點カラ見テ、而シテ是ガ憲法附屬ノ重要ナル法案、形式上重要ナル法案デアルト云フ意味カラ言ツテモ、最重要ナルモノノ一ツトシテ當院ニ於テ十分慎重ニ審議アルベキモノト考ヘルノデアリマス、此點ヨリシテ私ハ數項ノ質問ヲ致シタイト思ヒマス、先程、澤柳君ガ提案ノ理由ニ付テ御質問ガアリマシタ、一々ノ御尤ノ點ヲ御質問ニナツタモノト私モ敬承シタノデアリマスルガ、ソレニ對シテ若槻内相ノ御答辯ニ依リマシテ、或點ハ大イニ明瞭ニナリ、他ノ點ハ明瞭ニナラヌ點モアッタノデアリマス、私ハ澤柳君ノ御質問デ御答辯ノ不明瞭デアッタ點ヲ繰返シテ今御尋ネ致ス譯デハナイ、別ノ點カラ見テ此提案ノ理由ヲ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、何レノ施設ヲ致ス場合ニ致シマシテモ當然、日本ノ國情ヲ考ヘタ上デ致サナケレバナラヌト云フコトハ申ス迄モナイコトデアリマス、此選舉法改正案ノ如キハ最モ此國情ニ付テ考ヘル必要ガアルベキモノト思フノデアリマス、然ルニ我國ノ最近ノ情勢ハ國民ノ思想ガ安定ヲ缺キ、個人主義、其個人主義モ惡イ意味ニ於ケル個人主義デ、自我主義カ旺盛デアラ際デアリマス、權利ノミヲ重ンジテ義務ヲ忘レルト云フ時代デアリマス、斯ノ如キ際ニ此法案ヲ行フ、法律ヲ行フト云フコトガ適當ナリヤ否ヤ、ソレガ日本ノ國情ニ合シテ居ルモノナリヤ否ヤト云フコトハ大イニ考慮シナケレバナラヌコトドラウト思フノデアリマス、而シテ政府ハ選舉權ノ擴張ノ爲ニ法律案ヲ出

サレタノデアリマスルガ、即チ國民ノ權利伸張ノ上ニ於テハ十分御考慮ガアツタモノデアリマス、併シ之ニ伴ツテ此重大ナル時機ヲ脱却スル爲ニ國民ニ對シテ他面、大ナル義務ヲ要求スルコト云フコトガアルベキモノダラウト思フ、然ルニ此法案ノ御提出アリマシタガ、今日マデノ所デハ、國民ニ對シテ此現在困難ナル國情ニ對シテ重大ナル義務ヲ要求スル、國民ノ一致協力、勤儉努力ト云フ點ニ付テ最モ大事ナ點ダト思フ、總理大臣初メ大藏大臣ガ度、御聲明ニナツタノデアリマスルガ、斯カルコトニ對シテハ國民ニ義務ヲ強制スルコト云フコトハ今日マダ其時機デナイト云フコトモ先日モ豫算總會デ言ハレマシタルデアリマスガ、一應御尤ト思ヒマスルガ、權利ヲ國民ニ與ヘ、而モ此權利タルヤ、國民トシテ最モ重要ナル權利ヲ與ヘ、而モ權利ヲ與ヘタ結果ガ國家ノ前途ニ對シテ如何デアラウカト云フ懸念ヲ持ツ場合ニ於テ、他面、國民ノ義務ヲ自覺セシメルト云フコトノ施設ガ政府ニ無ケリヤナラヌコトダラウト私ハ思フ、併シソレニ對シテ未ダ何等間ク所ガナイノデアリマス、一ツノ例デ申シマス、子供ガ要求スルモノヲ安ンジテ親ガ與ヘル、而シテ其子供ハ喜ンデ、次ニハ其上ノモノヲ要求スル、斯ノ如キ親ハ果シテ子供ニ忠實ナモノデアルカドウカ、寧ロ其欲スルモノヲ與ヘル際ニ於テハ子供ニ對シテ十分子供ノ自覺ヲ促スベキ敎訓ヲシテ與ヘベキモノヂヤナイカ、其意味ニ於テ私ハ此際、選舉權ヲ擴張スルニ付テハ國民ノ義務ヲ自覺セシメ、又義務ヲ尊重セシメルコト云フガ如キ施設ヲ政府トシテ國權ヲ以テ遊バスコトガ必要ヂヤナイカト思フ、ソレデ今朝來、本法案ノ提出ノ理由ヲ總理大臣並ニ内務大臣ガ御述ベニナリマシタノハ既ニ諸君モ御承知ノコトデアリマスルガ、憲法政治ノ終局ハ國民ヲシテ大政ニ參與セシメ、普ク國民ヲシテ國家ノ進運ヲ扶持セシムルニアリト總理大臣ガ仰シヤッタコトハ御尤ノコトデゴザイマシテ、ソレニ付テハ私モ同感ノ意ヲ表スルノデアリマス、而シテ此際、選舉擴張、即チ普通選舉ヲ行フト云フ理由ハ、國民ノ政治的能力並ニ訓練ガ相當ニ進歩セリト認メラルベキ今日ニ於キマシテ、單ニ納稅ナル事實ヲ以テ其參政能力ノ有無ヲ判斷スルノ標準トスルコトハ出來ナイ、即チ今日ハ國民ノ政治能力並ニ政治的訓練ガ發達シタカラ納稅資格ヲ撤廢スルコトガ至當ナリト云フコトヲ言ハレテ居ルノデアリマス、事實此通りデアレバ、私ハ是モ此法案ニ對シテ何等疑義ガ起ラナイノデアリマスルガ、此法案提出ノ理由タル政治能力ノ……國民ノ政治能力ノ發達並ニ訓練ノ發達ト云フコトガ事實ニ付テ如何デアルカト云

フコトヲ私ハ疑フ、先ヅ權力ノ方面カラ申シマスレバ、從來ノ選舉法ニ於テハ恒産アル者ハ恒心アリト云フ昔カラノ諺、竝ニ多クノ場合ニ於テソレガ事實デアルト云フコトヲ基礎ニシテ納稅資格ト云フモノヲ以テ選舉ヲ與ヘラレタノデアリマスルガ、併シ此度之ヲ撤去スルニ付テハ納稅シナイ國民ニモ恒心アリト云フコトヲ假定ノミナラズ確信シナケレバナラス、其確信ガ我々今直チニ立ツヤ否ヤト言ヘバ、私トシテハマダ其確信ハ立タヌ、恐ラク多クノ諸君ハ其確信ハ御持チニナルマイト思フ、内務大臣ハ御説明ノ中ニ普通選舉ノ要求ハ此近年非常ニ盛ンデアツテ、ソレガ輿論トモナツテ居ルト云フコトヲ言ハレマシタ、何レソレガ事實デアルカモ知レマセヌ、此要求ガ盛ンデアルト云フコトガ、或ハ内務大臣ノ御考ニ政治能力ガ發達シタト云フコトノ御考ヲ作ラレタ材料ヂヤナイカト思フノデアリマス、併シ私ノ觀ル所ニ依ルト、普通選舉ノ要求ガ如何ニ激シクテモ、其要求スルコトハ政治能力ノ發達トハ言ヘマイ、要求スル者ハ必シモ能力者デアルトハ言ヘマイト思フ、現ニ先程、澤柳君モ御指摘ニナリマシタガ、今度ノ選舉法ニ於テ選舉ノ違反ノ取締ガ非常ニ嚴重ニナツテ居ルト云フコトヲ指摘サレテ、今度選舉權ヲ新規ニ與ヘヤウトスル人々ハ今日マデノ有權者ヨリモ能力ガ、政治的能力ガ優ッテ居ルモノカドウカト云フコトヲ、御聞キニナリマシタ際ニ、内務大臣ハ、ソレハ優ッテ居ルトハ仰シヤルコトガ出來ナカッタ、ソレハ寧ロ普通選舉ヲ御實施ナサレバ選舉界ガ良クナルト云フコトハ、有權者ノ數ガ多クナルト云フコトニ依ッテ良クナルト云フコトハ仰シヤラレマシタガ、今度新ニ加ヘラレル有權者ガ政治的能力ヲ餘計持ッテ居ルカラ良クナルト云フコトマデハ御斷言ニナラナカッタノデアリマス、ソレデ提案ノ理由ノ一タル政治能力ノ發達ト云フ點ニ付テモ、大ナル疑義ガアリマス、又政治的訓練ガ發達シタト云フコトモ、提案者ノ理由ノ一ツニナツテ居リマスルガ、此訓練ノ發達ト云フコトハ、如何デアリマス、現ニ從來ノ選舉ニ於テ、百弊ガ起リ、殆ド其極ニ達シテ居ルト思フト云フコトヲ總理大臣ハ言ハレテ居ルノデアリマシテ、訓練ガ出來タナラバ、斯ノ如キ惡弊ハ生ジナイ譯デアアル、訓練ガマダ未熟デアルカラ百弊ガ起ツタモノデアルト思フ、又此最近、衆議院内ニ於テ起リマシタ甚ダ亂暴狼籍ナ事實ノ如キモ、政治的訓練ノ最モ缺ケテ居ル一ツノ證據ト言ハナケレバナラス、而モソレハ衆議院内ニ起ツタコトデアアル、又代議士間ニモ……代議士間ニ起ツタコトデアアル、代議士ニナツテ居ル人ニシテ尙ホ且ツ立憲政治ヲ理

解セズ、政治的訓練が全然無イト云フコトヲ、此場合ニ付テハ言ヘルト思フ、況ヤ代議士タラザル人、又衆議院以外ノ場所ニ於テハ、如何ニ非立憲ナ行動ガ行ハレテ居ルカト云フコトハ、想像ニ難クナイノミナラズ、我々ガ時々目撃スル所デアリマス、是等カラ見テ、提案ノ理由タル政治的訓練ガ練熟セリト云フコトノ事實ハ相違シテ居リハシナイカト私ハ思フデアリマス、斯ク見マスト云フト、政府ガ提案ノ理由トシテ仰シヤイマシタコトハ、理由ヲナサナイ、從テ之ヲ強ヒテ提案サレタニ付テ、他ニ理由ガアルヂヤナイカト私ハ想像イタスデアリマス、而シテ私ノ想像スル所ニ依リマス、他ノ理由トシテ、或ハ近來流行リ言葉ノ自由平等トカ云フ思想、此自由平等ノ思想ニ基イテ、此法案ヲ提出サレタノヂヤナイカ、即チ現在ノ事實ト云フモノヲ全ク見ズシテ、タゞ此理想ニ近カラシメタイ、理想ニ近ヅキタイト云フコトカラ、何等、他ノ周圍ノ事情トカ、行キ掛リトカ云フモノヲ考ヘズシテ、唯、此理想ヲ行ウト云フコトニノミ原因ガ存スルノヂヤナイカト私ハ疑フデアリマス、何トナレバ此改正法律案ノ程度マデ選舉權ヲ擴張スルニ付テハ、其手前ニ於テ考ヘナケレバナラスコトガ多クアッタラウト思フ、即チ市町村ノ公民權ノ如キ、數年前ニ擴張サレタノデアリマスルガ、今度、此改正法律案ニ依リマシテ衆議院議員ノ選舉權擴張ノ範圍ヨリハ、マダ小サイノデアリマシテ、本來カラ申シマスルト、自治制ノ發達ノ歴史カラ申シマシテモ、地方自治ト云フモノガ、我國ニ於テハ先キニ布カレ、其後、立憲政治ト云フモノガ始タノデアリマシテ、立憲政治ノ方ガ發達カラ云ヘバ後デアリマス、ソレ等ノ事ハ地方自治カラ固メテ、初メテ立憲政治ノ基礎ガ出來ルト云フ、其理論ニ據ツタモノデアラウト思フ、此際、選舉權ヲ擴張スルニ付テハ、此點ハ全ク逆ニナツテ居ル、衆議院議員ノ選舉權ノ方ヲ先ヅ廣ク與ヘテ、次ニ公民權ノ擴張ヲスル積リノヤウニ思ハレル、是ガ果シテ順當ナル順序デアルカドウカ、私ハ順序デハナイト思フデアリマスガ、此點モ私ノ疑問トシテ伺ヒタイ點デアリマス、又數年來、司法省ニ於テ法制審議會ガ、民法刑法ニ於ケル淳風美俗ニ反スル規定ノ改正ヲ審議サレテ居ルノデアリマス、其趣意ハ家族制度ヲ十分擁護シヤウ、其家族制度ニ今日ノ法律ニ於テハ抵觸シテ居ル點ガアルカラ、ソレヲ我國ノ家族制度ニ適應スルヤウニ改メタイト云フ御趣旨デアリマス、此御趣旨ト、今度、普通選舉ヲ行フト云フ御趣旨ト相反スルモノデハナイカト私ハ思フデアリマス、即チ普通選舉ト云ヘバ個人主義ノ法制デアリマ

ス、此個人主義ノ法制ト、將來、法制審議會ニ依ッテ改正サルベキ民法刑法ノ改正トハ、果シテ適應スル結果ヲ得ラル、モノデアルカドウカ、從テ此普通選舉ヲ御出シニナル上ハ、法制審議會ニ於ケル民法刑法ノ改正、淳風美俗ヲ基トシタル改正ニ付キマシテ、大ナル變革ヲ與フルモノト私ハ思フデアリマスガ、此點ハ政府ニ於テ如何御考ヘニナルカ、是モ伺ッテ見タイト思フ、ソレカラ目下、衆議院ニ治安維持法ガ提出サレテ居リマス、此治安維持法ハ最近ノ不安ナル社會ニ對シマシテ、我が國體政體ヲ擁護スルガ爲ニ立法サレタ、サルベキモノデアリマス、即チ斯ノ如キ危險ナ域ニ國民ヲ置クト云フコトハ絶對ニ禁止シヤウト云フ御考デアリマスルカ、此度ノヤウナ急激ナル選舉權ノ擴張ガ此治安維持法ヲ出サレタ精神ト伴ッテ居ルモノデアアルカドウカ、我々ノ考ヘル所ニ依リマス、治安維持法ヲ御出シニナルヤウノ御考ナラバ、寧ろ普通選舉ハ今日ニ於テ御控ヘニナツタ方ガ宜インチャナイカト云フ感ジガ致スンデアリマス、然ルニ兩者之ヲ提出サレタコトハ私ノ不可解トスル所デアリマス、或ハ政府ハ普通選舉ヲ布イタ後ニ、社會上大ナル變革ガ起リ、其ノ極、國體政體ヲ危ウスルヤウナコトガアツテハナラヌカラ、此法律ヲ制定セムトシテ居ルンダト言ハレルカモ知レマセヌケレドモ、私ハ國體政體ヲ擁護スルト云フコトハ勿論デアリマス、是ハ最後ノ問題デアリマス、ソレヲ擁護スル爲ニハ、ソレヨリソコニ近ヅク國民ノ傾向ヲ……ソレヲ破ルコトニ近ヅク國民ノ傾向ヲ、出來ルダケ緩和スルヤウニ考ヘナケレバナラス、然ルニ普通選舉ノ如キモノハ、之ヲ緩和スル材ニナルトハ私ハ考ヘ得ナイノデアリマス、ソレ故ニ此點ニ付テモ、政府ノ御考ヲ促シタイト思ヒマス、要スルニ今、以上數項申上ゲマシタヤウニ、今日ノ實際カラ見テ、マダ普通選舉ヲ行フトコトニハ安心ガイカナイ十分其域デアル其場合ニ達シタト云フコトニハ、私ハ考ヘ得ナイニモ拘ラズ、此提案ヲナサレ、而シテ内務大臣ノ御説明ニ於テ、提案ノ理由トサレタ所ハ實際ニ當嵌ラズ、スルトサウ云フ點ヲ總テ綜合イタシマシテ、政府ガ此法案ヲ出サレタ理由ハ、或ハ人類ノ平等ト云フ思想ニ基イテ居ルンヂヤナイカト思フデアリマス、此點モ私ノ疑問デアリマスルカラ、人類平等ノ思想ニ依ッテ本案ヲ提出シタカドウカト云フコトヲ御答辯アリタイト思ヒマス、次ニ近來、人心ノ惡化シテ居ルト云フコトハ、多クノ方々ノ御心配ニナツテ居ル事柄デアリマシテ、何人モ此點ガ我が國家ノ將來ニ大ナル禍ヲ來タシヤシナイカト云フコトノ心配ヲ常ニ有ッテ居ルノデア

リマス、其人心ノ不安ノ原因ハ、生活上ノ困難ト云フコトが大ナル理由デモアリマセウガ、此好景氣以來、輕佻浮華ノ惡風ガ國民ノ間ニ彌漫イタシマシテ、何等確信ナク、唯目先ノコトニ囚ハレ、體裁ヲ裝ウテ其實質ハ養ハズ、唯、眼前ノ利益トカ權勢ト云フモノヲ得ムトスルコトニノミ國民ノ考ガ走ッテ居ル、此輕佻浮華ノ風ガ今日ノ思想上、大イニ國民ヲ危ウスル時弊デアリマシテ、之ニ依ッテ又茲ニ乘ジテ危險思想、即チ過激主義ガ跋扈ヲナシ得ル餘地ガアルノデアリマス、茲ニ於テカ、爲政家トシテハ、國民ノ生活、物質上ノ生活ヲ安定スベク、物價調節等ノ經濟上ノ施設ヲ十分講ジテ、他面、此輕佻浮華ノ弊風ヲ改メサセルコトガ必要デアリマス、又現政府ノ御方針モソコニアリモノト、私ハ拜察イタシマスノデ、ドウカ此點ニ付テハ十分御努力アリタイモノト思ッテ居ルノデアリマス、併ナガラ此本法案ヲ提出サレル迄ノ經過ニ於キマシテハ、私ハ聊カ、或ハ大イニ遺憾ノ點ガアルノデアリマシテ、政府與黨竝ニ政府ニ於テ、所謂今日ノ時弊タル輕佻浮華ノ風ヲ自ラ持ッテ居ルモノデヤナイカト私ハ考ヘルノデアリマス、即チ先程モ澤柳君ガ此演壇ニ於テ御質問ノ際ニ御話デアリマシタガ、普通選舉ノ案トナルモノハ、今カラ五六年前ニ憲政會、革新俱樂部ガ主トシテ唱ヘラレタモノデアリマス、其當時、此兩者トモ衆議院ニ於テハ少數黨デアリマシタ、一方ニ於テハ憲政會ガ……政友會ガ大ナル勢力ヲ持ッテ、此兩者ヲ壓倒スルト云フ時デアリマス、此際ニ於テ此少數黨ガ生キルノ途ヲ何カニ求メナケレバナラス、其求メルニ見當タ材料ガ此普通選舉ト云フコトデアッタト私モ思フノデアリマス、先程、澤柳君モ左様ニ御考ニナッテ居ルヤウデアリマシタガ、私モサウ思フノデアリマス、即チ其時ニ於テハ憲政會モ、革新俱樂部モ、眞ニ普通選舉ハ立憲政治ノ爲ニ必要ナモノデアリ、又今直チニ行フノガ國家ノ爲デアルトマデハ御考ニナラナイデモ、サウ云フ事ヲ唱ヘルコトガ自己ノ黨派ニ利益デアッタガ爲ニ、唱ヘラレタモノト私ハ思ヒマス、又是ハ私以外ニ於テモ、先程、澤柳君ガ言ハレマシタ位デアリマスカラ、多數ノ御方ガ斯ウ思ッテ居ラシヤラウト思フ、此事ガ私ハ最初ニ於テ……普通問題ガ生レタ最初ニ於テ輕佻浮華ノ時弊カラ起ッタト思フ、即チ腹ニモ無イコトヲ言ヒ出シテ、ソレニ依ッテ自己ノ權勢或ハ利益ヲ得ルト云フコトヲ期待シテヤッタノデアリマスルカラ、是ハ其當時ノ革新俱樂部、憲政會ハ時弊ニ囚ハレテ、輕佻浮華デアッタモノト私ハ思フ、初メニ於テ輕佻浮華ニ生レ、而カモ其後ノ經過ニ於テ、矢張り輕佻浮華ノ取

扱ガ多クアルト思フ、御承知ノ通り、今日ハ衆議院ニ於ケル憲政會、政友會、革新俱樂部三派ニ於テ此普通選舉ヲ支持シ、又其力ニ依ッテ衆議院ヲ通過シタノデアリマスガ、此與黨ノ一タル政友會ハ一二年前マデハ普通選舉早ヲ唱ヘ、是ハ今朝程、板倉君ガ御質問ノ際ニ仰シヤッタコトデアリマスケレドモ、今日ハ豹變シテ之ニ賛成シ、ノミナラズ一步ヲ之ニ進ムトシテ居ル、斯ノ如ク政友會ガ其考ヲ一變シタト申スコトハ、豫算委員會ニ於テ板倉君ニ對シテ高橋農相ハソレハ進歩ナリト言ハレタサウデアリマスルケレドモ、私ハ進歩デアッテモ豹變デアッテモ何レニシロ、矢張り確信ノナキ行動ト言ハザルヲ得ナイ、所謂輕佻浮華ノ惡弊ニ囚レテ居ルモノト思フノデアリマス、有體ニ申スト、斯ク豹變スルコトガ今日ノ政權ニ參加シテ居ル上ニ於テ利益デアルト云フコトカラ、自己ノ本來ニモナイコトヲ言ッテ、ソレデ現在ノ有利ナル立場ヲ造ラムトシテ居ルコトハ、是レ輕佻浮華ト言ハズシテ何デアアルカト私ハ思フノデアアル、ソレカラ最初三派ニ於キマシテ、選舉權擴張ノ法案ニ付テ、或案ヲ作ッテ、ソレガ政府案トナッテ樞密院ニ提出サレ、樞密院ハ之ニ修正ヲ加ヘタ、ソレガ衆議院ニ現ハレ、衆議院ニ於テハ亦御承知ノ通り政友會ガ首唱トナッテ、之ニ修正ヲ加ヘタ、而シテ出來タ案ガ今日我々ノ手許ニ廻ッテ居ル案デアリマス、斯ノ如ク幾多ノ曲折ヲ經タノデアリマスガ、其曲折ヲ經ル際ニ於テ、多クハ輕佻浮華、何等ノ確信ナク、唯斯ク主張スルコトガ自分達ノ利益トカ或ハ權勢ノ爲デアルト云フコトヲ主トシテ考ヘテ、斯ク度々變革サレタモノト私ハ思ヒマスノデ、今日、政府ガ一方ニ於テハ輕佻浮華ノ弊風ヲ戒シメ、勤儉努力ヲ以テ此國難カラ國民ヲ救ハウトシテ居ル際ニ於テ、斯ク巧緻ナル輕佻浮華ノ事實ヲ天下ニ示シタト云フコトハ、甚ダ遺憾ナコトデアルト私ハ思フ、即チ此改正案ヲ兩院ヲ此際、通スコトノ爲ニ努メラレタコトハ、政府ニ於テモ與黨ニ於テモ、此國民ノ最も緊張ヲ要求スベキ此際ニ於テ、其緊張ニ對シテ大ナル弛緩ヲ與ヘタモノト思フノデアリマス、今政府ガ國民生活ヲ安定セムトシテ居ル其際ニ於テ、斯ノ如キコトヲサレタコトハ、如何ニ其案ヲ通スニ御熱心デアッタトシテモ、ソレニ伴ッテ斯ノ如キ見方ヲ、輕佻浮華ノ精神カラ出タモノデアルト云フコトヲ、人ニ思ハセル如キ經過ヲ取ッタト云フコトハ、此國難ノ場合ニ於テ最も慎ムベキコトデアッタラウト思フ、又斯ク思ハシメルガ如キ場合ヲ想像シタナラバ、寧ロ此法案ハ今日御出シナルコトヲ控エテ、次ノ議會等ニ御廻シニナルコトガ、此意味カラ言ッテモ私

ハ宜カッタデナイカト思フノデアリマス、此點ニ付キマシテ政府ハ如何御考ヘニナルカ、先程、板倉君ノ御問ノ中ニハ、事實ノ御話ニ付キマシテ、唯今私ノ申シタヤウナコトモアリマシタガ、併シ御問ニナッタ趣意ハ私ノ唯今申ス趣意トハ違ッタヤウデアリマスカラ、此點ヲ御答ヲ願ヒタイト思ヒマス、次ニ私ノ伺ヒタイ點ハ此普通選舉ヲ行フニ付キマシテハ、國民ノ、有權者トナッタ國民ノ政治的能力ハ十分ニ養ハセナケレバナラス、現在、多少缺ケテ居ルトシテモ、之ヲ養ハシメナケレバナラス、又將來、選舉權ヲ有スベキ子弟等ニ對シテハ、將來、其選舉權ヲ得ベキ場合ニ於テ直チニ有力ナル有權者トシテ、其資格ヲ造ッテ置クコトガ今カラ必要デアラウト思フ、此點ニ對シテ今此法案ヲ提出スル此際ニ、政府ハ將來我ガ國民ニ對シテ、斯ノ如キ能力ヲ與ヘル爲ノ用意ガ既ニ出來テ居ルモノデアアルカドウカト云フコトヲ私ハ伺ヒタイノデアリマス、即チ普通選舉ヲ實施スレバ、國民ハ益々責任ヲ重シ義務ヲ重シ、國家ノ爲ニ至誠ヲ盡スト云フ精神ハ益々旺盛ナラシメルコトガ必要ナノデアリマス、先程、大臣ノ御説明ノ際ニ學制布カレテ五十年ト云フコトヲ言ハレ、智育ノ發達ヲ說カレマシタ、併シ政治的能力ト云フ上ニ於テハ、智育ノ發達ト云フコトノミニ依ッテハ足りナイノデアリマス、智育バカリデハ政治的能力アリトハ斷言出來ナイ、智育ニ伴ッテ國民ノ德育ノ發達、國民ノ德性ガ向上サレナケレバ政治的能力發達セリトハ言ヘナイノデアアル、ソコデ普通選舉ヲ實施シタ後ニ、國民ノ此德性ヲ向上セシムベキ施設ガ今カラ用意出來テ居ルカドウカト云フコトヲ伺ヒタイノデアリマス、又學校ニ這入ッテ居ル者ハ學校ニ於テ、德育ノ訓練モ將來政府ノ御注意ニ依リマシテハ出來マセウガ、學校ヲ出タ者或ハ學校ニ這入ラナイ者ニ對スル國民ノ一般社會教育、此方面ニ於テ今ノ普通選舉ヲ施行後、國民ニ對シテ國家ガ要求スル政治的能力ノ發達ノ爲ニスル施設ハ如何ナ事ヲ御考ヘニナッテ居ルカト云フコトモ伺ヒタイノデアリマス、而シテ此社會教育ノ爲ニ今日最モ有力ナモノト認メラレテ居ル新聞、此新聞ニ對シテハ此目的ノ爲ニ如何ナル取締リ或ハ監督ヲ政府ハナス積リデアアルカドウカ、今日マデノ通り、新聞ニハ何等條ヲ容レナイ、放任シテ置クト云フコトデアリマス、ソレトモ此新聞ヲ通ジテ、國民ニ必要ナル政治的能力ノ發達ノ爲ニ、新聞ヲ利用スルコトヲ御考ヘニナッテ居ルカドウカ、以上、言換ヘマスト、國民教育ノ爲ニ普通選舉實施後、國民ノ政治的能力ノ發達ニ資スル教育上ノ施設ハ如何ナルコトヲ用意サレテ居ルカドウカト云フコトガ、私ハ伺

ヒタイノデアリマス、次ニ伺ヒタイノハ、普通選舉實施後ノ影響デアリマス、先程、澤柳君ハ普通選舉ヲ行ッタ後ニ勞働黨ガ出來、從テ政治ノ分野ニ大ナル變動ガアラウト云フコトヲ御問ニナリマシタニ對シテ、若槻内相ハサウ云フ變化ノコトハマダ考ヘテ居ラヌ、變化ノ起ルベキコトトハ考ヘテ居ルガト云フ御答辯デアリマシタ、私ハ其點ヲ重ネテ伺フノデハナイノデアリマス、ガ、私ノ伺ヒタイ點ハ、普通選舉ヲ實施シタ後ノ我國ノ經濟上ノ影響如何ト云フコトデアリマス、先程モ申述ベマシタ通り、現在ノ我が國民經濟ハ非常ニ行詰ッテ居リマス、政府ガ熱心ニ勤儉力行ヲ唱道セラル、ノモ茲ニ原因ガアルノデアリマス、幸ニシテ政府ノ御努力ノ結果、國民生活ガ現在ヨリモ安定ヲ得、更ニ又向上スルコトガ出來マシタナラバ、誠ニ仕合デアリマス、レドモ、或ハ其效現ハレズ、益々生活ハ安定ヲ缺キ、同時ニ國民ノ生活ハ低下スルト云フガ如キ情勢ガ作ラレテ參リマシタヤウナ際ニ於テハ、此普通選舉ヲ行フト云フコトガ、如何ナル結果ヲ及ボスモノデアアルカ、其際ニ於テハ、普通選舉ヲ行ハナカッタ方宜カッタト云フ憾ミヲ、多クノ人ニ與ヘルデヤナイカト私ハ思フノデアリマス、或ハ又斯ノ如キ國民生活ガ低下スルト云フ如キ場合ハ想像シナイ、從テサウ云フヤウナコトハ考ヘル必要ガナイ、普通選舉ヲ行ッテ惡イ場合ハ想像スル必要ガナイト云フコトヲ言ハレルカモ知レマセヌガ、併シ事ハ有ラユル場合ヲ想像シテ置カナケレバナラスコトデアリマス、今日ノ如キ場合ニ於テハ是レ以上尙ホ國民ガ窮迫ノ場合ニ陷ルコトモ、爲政家トシテハ考ヘテ置カナケレバナラスコトト私ハ信ズルガ爲ニ、此點モ一ツノ場合トシテ伺ヒタイノデアリマス、生活難ガ今日ヨリ一層加ハル際ニ於テ、此普通選舉ハ我が國民經濟上、如何ナル影響ヲ及ボスモノト御思ヒニナルカドウカト云フコトヲ、經濟上ノ影響ノ一ツトシテ伺ヒタイノデアリマス、又先日モ豫算總會ニ於テ藤山君ガ大藏大臣ニ御質問ガアリマシタガ、今日マデハ我國ノ經濟政策ハ農工商共ニ併行主義デアアル、所謂、自給自足主義ヲ採ッテ來タノデアリマス、最早今日ハサウ云フコトハ行ヒ難イ時代ニナッタヤウニ思フ、商工ヲ主ニシテ、農ヲ或程度マデ犠牲ニシテ行クト云フコトハ、却テ國民全體ガ生キルノ途デハナイカト考ヘルノデアアルガ、政府ハドウ思フト云フヤウナ御質問ガアリマシタ、既ニ當院ニ於テモサウ云フ御考ノ御方ハ藤山君アリ、其他ニモ有ラウカト思フノデアリマス、又院外ニ於テハ尙ホ多ク有ラウカト思フ、工業ノ方面カラ申シマスト云フト、ドウシテ

モ勞銀ガ安クナケレバ外國ノ工業ト競争ガ出來ナイ、今ノ我國ノ工業ト云フモノハ、海外ノ市場ガナケレバ成立チ得ナイ程度マデ發達シテ居ルノデアリマス、此工業ヲ維持シ發展スル上カラ申スト云フト、出來得ルダケ賃銀ヲ安クスル、賃銀ヲ安クスル爲ニハ、生活費ヲ低下シナケレバナラス、生活費ヲ低下セシムル爲ニハ農産物ノ價格ヲ安クシナケレバナナイ、ソコデ今日マデハ農工商共ニ併進シテ、餘リ大ナル其間ニ利害ノ衝突ハナカッタノデアリマスルガ、是カラ先キハ農工商ノ間ニ利害相一致セズ、大ナル杆格ヲ生ズル場合來ルモノト私ハ想像スルノデアリマス、斯カル場合ニ於テ、普通選舉ヲ布イテ、勞働黨ガ出來、或ハ小作人黨ガ出來ルト云フガ如キ政治上ノ變化ハ、我が經濟上ニ如何ナル變革ヲ與ヘルモノカト想像シテ見マスルト云フト、必シモ其變革ガ、國民經濟ノ爲ニ仕合セナモノデアルトハ言ヘナイ、即チ國民福利カラ見マシテ、其結果ガ現在ヨリモ惡クハナイカト云フコトモ思ヘル場合ガアルノデアリマス、即チ一例ヲ申シマス、農産物ノ價格ヲ安クスルト云フコトガ工業家ノ私益デアリ、農業保護ト云フコトヲスレバ農産物ノ價格ガ高クナルノデアリマスカラ、此農業保護ニ對シテハ、農工商家ハ反對ヲスル、地主黨ガ衆議院ニ多數デアレバ、農工商ハ農業保護ノ撤廢ヲ叫ンデモ、其聲ハ通ラスデアリマスガ、其場合ニ於テ農工商ノ方ノ力ガ大デアッタ致シマス、農業保護ト云フコトハ行ハレズシテ已ムノデアリマス、而シテ今後、起リ得ベキ勞働黨、或ハ小作人黨ト云フガ如キモノハ、農工商ニ就クカ、地主黨ニ就クカ、斯ウ申シマス云フト、私ハ工場勞働者ハ勿論、生活費ノ低下サレルコトデアリマスカラ、農工商資本家ノ主張ニ賛成シヤウト思ヒマス、小作人黨ハ農業ニ從事シテ居ルモノデアリマスルカラ、農業ノ保護ノコトニ關シテハ、或ハ撤廢ニ對シテハ反對スルガ如キコトモ想像出來マスル如ク、此小作人黨モ亦農工商、農工商資本家並ニ勞働者ノ味方ヲスルモノデアナイカト私ハ思フ、何トナレバ農業ノ保護ト云フコトハ、多クノ場合ニ於テ地主ノ保護デアリマス、從テ其保護モ小作人ニ對シテハ餘リ利益ナ結果ヲ持來サナイ、地主ノ懷ロヲ良クスルコトニナツテモ、小作人ノ懷ロハサウ大シタ利益ヲ齎ラサナイノデアリマス、ソレ故ニ斯ノ如キ問題ニ對シテハ地主ト小作人トハ矢張り利害共通トハ參リマセズ、小作人ハ平生、地主ト小作人トノ分配ニ付テ反對シテ居ル其行掛リ上カラ申シテモ、農工商資本家並ニ勞働者ノ方ノ主張ヲ支持シハシナイカト思フ、斯ク考ヘマスルト云フト……又小作人カラ

申シマス、農工商ガ發達イタシマスレバ、自然都會ニ集中スル傾向ヲ有ツコトニナリマス、農工商ガ榮エレバ自然都會ニ人ガ集ル、都會ニ集レバ田舎ノ人が減ル、從テ小作人タル人ハ働クベキ餘地ガ多クナル、之ニ反シテ農工商ガ萎微イタシマスルト云フト、田舎ニ歸ッテ來ル人間ガ多クナツテ來テ、其結果、小作人ノ供給ニ付テノ競争ガ起ル位ニ相成リマシテ、地主ニ對シテ對抗スル上ニ不利益ナ情況ガ作ラレルコトモ亦想像ガ出來ルノデアリマス、ソレ故ニ農業保護ノコトニ付キマシテハ、チヨット考ヘルト、小作人ハ農業ニ從事シテ居ルモノデアリマスカラ、地主ト運命ヲ共ニスルモノノヤウニ思ヘマスケレドモ、今申シマシタヤウナ譯デ、小作人モ亦農工商資本家、勞働者ト共鳴シテ、地主ハ孤立ニナルト云フ場合ヲ想像出來ルノデアリマス、斯ノ如キ場合ヲ想像イタシマスルト云フト、現内閣ニ於テ農村振興トカ云ツテ、大ニ農業ヲ尊重サレテ居ル其御趣意ハ沒却サレ、其結果ハ全ク得ズシテ終ルコトニ相成リハシナイカト私ハ想像スルノデアリマス、ソコデ農業ヲ捨テルカ、農業ヲ捨テテ農工商ヲ盛シナラシメル、或ハ三者併進スベキカト云フ其主義ハ、普通選舉ヲ行フノ際ニ於テハ當然決定シテ居ラスケレバナラス事柄デアラウト私ハ思フノデアリマス、此點ニ付テ政府ハ普通選舉ノ實施後、經濟上ノ影響ヲ考ヘテ我が産業政策ノ上ニ、新ナル方針ヲ立テラレタモノデアルカドウカ、此事ヲ私ハ伺ッテ見タイト思フノデアリマス、以上大分細イ質問マデ入レマス、多數相成リマシテゴザイマスガ、政府ノ御答辯ヲ得レバ誠ニ仕合セニ存ジマス

〔國務大臣若槻禮次郎君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(若槻禮次郎君) 矢吹男爵ノ御質問ノ第一點ハ、チヨットドノ點ニ於テ御質問ノ御趣意ガアルカ了解シ兼ねマスガ、權利ヲ與ヘルトキニハ必ズ義務ヲ課スルノガ相當デアラウト思フ、權利ヲ與ヘルキリニシテ義務ヲ與ヘナイ、即チ國民ニ義務ノ自覺ヲ生セシメナイト云フコトデハ、唯、増長スルバカリデアツテ、一向權利ニ對スルダケノ國民ノ貢獻ガナイノデイクナイガ、其點ニ付テハ何カ政府ハ選舉權ヲ擴張シテ權利ヲ與ヘルト共ニ、國民ヲシテ義務ヲ自覺セシムル計畫ヲ立テ、居ルカ否ヤト云フヤウナ御質問デアッタヤウデアリマス、此質問ニ對シマシテハ直チニ御答ヘスルコトハ極メテ困難ナ御質問デ、ドウ云フ意味合ニナリマスカ誠ニ分リ兼ねマス、例ニ御舉ゲニナツタ所ヲ見ルト、豫算總會カ何處カデ、總理大臣、大藏大臣ニ御尋ネニナル時

ニ、今日ノヤウナ情況ニ於テハ國民ガモット自覺セナケレバナラス、勤儉力行ニ努メルトカ、其他精神ノ振作ニ努メルトカ云フコトヲセナケレバナラスガ、其勤儉力行モ唯獎メタケデハ容易ニ行ハレヌカラ、法律ヲ以テ之ヲ強制スルヤウニシテ、國民ノ義務トシテ之ヲ爲サシムルト云フコトニシタラドウカト云フコトニ言タケレドモ、政府デハ其處マデ行ク考ガナカッタヤウデアルガ、サウ云フヤウナ義務ノ觀念ヲ起サセヌデ置イテ、權利ノミ與ヘルノハ宜クナイト云ッタヤウナ御質問ノヤウニ了解シタノデアリマス、若シソレデアリマスと云フト、國民ニ責任觀念ヲ重クナラシメ、義務ヲ重シズルト云フ風習ヲ徹底セシメルト云フコトハ、固ヨリ結構ナルコトデアリマシテ、是ハ努メテ左様爲サスケレバナリマセヌガ、貯蓄ガ大切ナコトデアアル、勤勉ガ大切ナコトデアアル、贅澤ヲシナイコトガ大切ナコトデアアルト云ツテ、法規ヲ設ケテ此事柄ヲ強制スルト言フ事柄ハ、事ニ依リマスガ、大體ニ於テサウ云フ方面ハ、德義上ノ問題ニ屬セシメルコトガ相當デアアル、法規ヲ以テ之ヲ強行スルト云フコトハ如何デアラウカト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ此度、普通選舉ノ法律案ヲ提出シテ、選舉權ヲ擴張スルト云フコトニ致シマシタガ、ソレガ爲ニ法律ヲ設ケテ、唯今例示シタヤウナコトヲ強制スルト云フ迄ノ考ハナイノデアリマス、併シ目下政府ガ贅澤ヲ戒メ勤儉貯蓄ヲ獎勵シ、勤勉ヲ獎メテ居リマスコトハ是ハ人間ガ社會ニ生活シテ行ク上ニ於テ、如何ナル時代ニ於キマシテモ大切ナコトデアリマスガ、目下ノ如キ日本ノ經濟界ノ情況ノ下ニ於テハ、此事最モ必要デアアルノデアリマスカラ、政府ハ種々ナル手段ヲ以テ國民ニ向ッテ勤儉力行ヲ勸誘シテ居ルノデアリマス、是ハ今後モ怠ラズ斯様ニシテ、其結果、國民ヲシテ將來ニ備ヘル所アラシムルノミナラズ、目下財界ノ悲況ヲ成ルベク速ニ恢復スルコトニ與ッテ力アラシメタイト考ヘテ居ルノデアリマス、併シ法律ヲ強行スルカト云フ御尋ナラバ、法律デソコマデ強制スル考ハ持タナイノデアリマス、第二ノ御質問ハ國民ノ政治能力ガ十分發達シタト云フケレドモ、事實上是ハ疑ハシイコトデアアル、左様ニマダ發達シテ居ナイト思フ、斯ウ云フヤウナ御意見デ、サウシテ是ガ一ツノ質問ニナツテ居タカト思フノデアリマス、恒産アレバ恒心アリト云フノデ、今日ハ納稅ヲシテ居ル者ハ即チ恒心アリト看做サレテ、選舉權ヲ與ヘラレテ居ルノニ、此納稅ノ條件ヲ撤廢スル、サウスレバ恒産ナキ者ニ選舉權ヲ……恒心ナキ者ニ選舉權ヲ與ヘル、言葉ヲ換ヘテ言ヘバ政治能力ノ無イ者ニ選舉權ヲ

與ヘルコトニナル、ソレデハ宜クナイト云フ御意見カラ出タ御質問ノヤウデアリマス、私共ハ左様ニ國民ノ政治能力ガマダ不十分デアルトハ見テ居ナイノデアリマス、學制頒布五十年ダカラ決シテ國民ノ政治能力ガ充實スルモノデナイ、學制ガ頒布セラレテカラ五十年経ッタカラト云フノミデ、サウハナイト云フヤウナ御意見ノヤウデアリマス、併シ學制頒布セラレテ五十年後、普通選舉ヲ行フ、又高等ノ教育モ大分進ンデ居ル、其間、政治上ニ於テモ段々自治制度ガ出來ル、立憲政體ガ成立セラレ、其間ニハ選舉モ行フ、選舉ニ依ッテ選バレタ者ハ自治行政ニ關係スル、中央ノ政治ニ關係スル、社會一般交通ナリ出版ノ發達シタ關係カラシテ、學校デナクトモ知識ヲ求メテ智能ヲ啓發スルコトガ段々便利ニナツテ居ルト云フ今日ノ情勢ニ於テハ、國民ノ政治能力ナルモノハ是ハ知ラズ識ラズノ間ト申上ゲテハ或ハ語弊ガアルカ知レマセヌガ、自然ノ間ニ餘程發達シテ居ルカラ、私ハ今日ハ政治能力ガ發達シテ此衆議院ノ議員ヲ選舉スル時ニ判斷スル、其判斷ノ能力ガ無イヤウナ國民デアルトハ思ハヌノデアリマス、恒産アレバ恒心アリト云フ孟子ノ言葉ハ、大體ニ於テハサウ云フ意デアリマセウケレドモ、是ガモウ原則デ、恒産ナケレバ恒心ナキ者デ、納稅ヲセナイ者ハ恒心ナキ者、勞働者其他無産階級ノ者ハ恒心ナキ者、サウ判斷シテ行クコトハ私ハ却テ事實ニ反スルト思ヒマス、今日ハ財產ハ無クトモ立派ニ智能ハ啓發セラレ、相當ニ道德ヲ辨ヘテ居ル、國政ヲ判斷スル上ニ於テ、何等差支ナイダケニ國民ガナツテ居ルト云フコトハ、私ハ疑ヒナイト思ヒマス、恒産ナケレバ恒心ナシトカ、或ハ恒産アレバ恒心アリト云フコトハ洵ニ形容詞デアリマスガ、之ヲ直チニ政治上ノ原則ニシテ、總テ此問題カラ物事ヲ判斷スル譯ニハ行カスト思ヒマス、ソレヨリモ大局カラ達觀シテ見テ、大體、今日ハドウナツテ居ルカト云フコトカラシテ判斷シナケレバナラスト思ヒマスガ、其意味ニ於テハ國民ガ衆議院議員ヲ選ンデ、ドノ政策ヲ實行スルノガ今日國民利福ノ上ニ至當デアルカト云フ判斷スル位ノ能力ハ、今日ハ一般ニ普及シテ居ルト政府ハ見テ居ルノデアリマス、普通選舉ヲ要求スル聲ガ今日ハ非常ニ高クナッタト申上ゲタ爲ニ、要求スル聲ガアルカラト言ツテ、ソレデ能力ノ發達シタ證據ニハナラナイト云フ御話デアリマス、ソレハサウナリマス、是ハ必シモ要求ノ聲ガ多イカラソレデ政治能力ガ發達シテ居ルト申上ゲタノデハアリマセヌ、先程、普通選舉ハ國論ト云フケレドモ、ナカ／＼反對論者モアツテ、決シテ國民多數ノ意向デナイト云フ御

論ガアリマシタカラ、ソレデ私ハサウデハアリマセヌ、ソレハ國民ノ間ニ反對シテ居ル者モアリマス、尙早ノ議論ヲ唱ヘテ居ル者モ或程度デ一時止ッテ、更ニ第二段トシテ普通選舉ニスルガ宜イト云フ意見ヲ唱ヘテ居ル者モアリマス、併シソレガ多イカ、普通選舉ヲ要求シテ居ル者ガ多イカト言ヘバ、最早普通選舉ヲ行ハヌケレバナラストシテ居ル者ガ多イ、其事ヲ申上ゲル爲ニ大正七八年以後、此事ガ國民ノ深刻ナル研究ノ題目ニナッテ津々浦々此事實ハ考究セラレヤウニナリマシタカラ、サウ今日ハ國民ガ普通選舉ニ付テ無頓着デハアリマセヌ、是ニハ非常ニ注意ヲ拂ッテ考究スルヤウニナッテ、其結果、要求スル者ノ方ガ、マダ早イト云フ者ヨリモ多イト申上ゲタノデアッテ、ソレガ智能啓發ノ原因デアルトシテ申シタノデハアリマセヌ、政治能力ノ發達ノ程度ハ要求ニ依ッテ決マルノデハアリマセヌ、大體教育ノ普及ノ狀態、社會ノ文化ノ進展シテ居ル狀態、交通出版等ノ便利ニナッタ狀態、總テサウ云フ方面カラ見テ、國民ノ政治能力ガ出來テ居ルヤ否ヤト云フコトヲ判斷シテ行カナケレバナラスト云フ、斯ウ云フ意味デアルノデアリマス、政治的ノ訓練ガ出來テ居ルト云フケレドモ、一向、國民ハ訓練ガ出來テ居ナイデヤナイカ、或所デハ選舉違反ノ事件モアル、又議院ナドニ於テモ隨分亂暴ナルコトガアッタリ何カスルカラ、訓練ガ出來テ居ナイデヤナイカト云フヤウナ御意見デ御尋ニナッタヤウデアリマスガ、政府ガ相當ノ政治上ノ訓練ヲ經タト言ヒマスノハ、色々ナ制度ガ行ハレテ、前ニ申上ゲマシタ學制ノ頒布モアレバ、元老院ノ制定ト云フモノモアリ、地方官會議ト云フモノモ起サレ、又自治制度ガ出來ル、立憲政體ガ出來ル、其間ニハ自治ニ關シテ選舉ヲ行フ、自治ノ行政ヲ爲ス、總テサウ云フヤウナ工合ニ於テ、日本ニ於テハ漸次ニ政治的ノ訓練ガ積ンデ來テ、今日ハ國民ノ政治ニ對スル判斷ノコトモ段々増シテ參リマシタ、其意味ハ、政府ノ稱スル所ノ政治的ノ訓練ガ漸次出來テ來タト云フノハ、ソコニ在ルノデアリマス、偶、何處カニ於ケル出來事ガ場合ニ依ッテ聊カ常軌ヲ脱シテ居ッタカラト云ッテ、ソレデ國民ノ政治的訓練ガマダ出來テ居ナイト判斷スルノハ、私ハ少シク判斷スル上ニ於テ方向ガ違ッテ居ルノデハナイカト思フノデアリマス、ソレデ是等ノ理由ヲ擧ゲラレテ矢吹男爵ハ、何レモ政府ノ言フ所ハ道理ガナイト御判斷ニナッタ、私ハ政府ガ是マデ説明ヲ致シテ居リマシタ所ハ唯今申上ゲル通りデ、政治能力ノ發達シテ居ル、又一般ノ國民ヲ擧ゲテ見タ所デ、普通選舉ニ對スル贊成ト不贊成ヲ求メタナラ

バ、私ハ寧ロ不贊成ヲ變態ト見テ居ル、而シテソレガ多イト否ト決シテ政治判斷能力ヲ見ルモノデナイト云フ點ハ、矢吹君ト同論デアルト申上ゲルノデアリマス、而シテ政治的ノ訓練ト云フノハ、明治初年以來カラ今日マデ諸制度ガ行ハレテ、ソレニ對シテ國民ガ關係シテ今日マデ來テ居ル、其間ニ於ケル政治上ノ訓練ガ……政治的訓練ガ國民ヲ養ッテ政治ノ判斷ヲスルコトニハ、大イニ便宜ヲ與ヘテ居ルト云フコトハ確ニ申上ゲテ宜シイト思フノデアリマス、併シ矢吹男爵ハ、ソレハ理由ニナラスト前提サレテ、何レ外ノ道理ガアルニ相違ナイ、外ノ道理ト云フノハ自由平等ト云フコトニ原則ヲ置イテ、國民ハ自由平等デナケレバナラスト、ソレダカラ何レノ國民ニモ選舉權ヲ持タシメルト云フ考デ、政府ハ此普通選舉ノ……所謂普通選舉ノ……衆議院選舉法ヲ提出シタカ否ヤト云フ御尋デアリマシタガ、政府ハ此抽象的ノ理論デアリマス所ノ自由平等ト云フヤウナ理論ニ依ッテ、此度ノ改正案ヲ提出シタノデハアリマセヌ、此自由平等ト云フ事柄ハ惡イトカ、或ハ善クナイトカ、間違ッテ居ルトカ云フヤウナ、左様ナ批評ハ私ハ致スノデハアリマセヌ、ソレハ別ニ又其問題ハ考究スベキデアラウト思ヒマスガ、此度ノ提案ハ自由平等ト云フ原則カラ提案シタノデハアリマセヌ、立憲政治ヲ布カレル以上ハ國民ニ諮ッテ政治ヲスルト云フ政治デアアル、國民ト云フモノハ即チ例外ナイ總テノ國民デアアルコトガ本當ハ原則デアラネバナラスト、但シ國民中ニ皆政治ノ判斷能力ガアレバ、至極結構デアルケレドモ、マダ憲政ノ發達ノ幼稚ナル時ニハ國民ノ能力ガソコマデ達シテ居ナイ時ガアル、サウ云フ時ニハ總テノ國民ニ參政權ヲ與ヘルト云フ風ニ行カナイ、或ハ何カノ標準ヲ設ケテ、是ナラバ能力ガアルト見ラル、者ノミニ選舉權ヲ與ヘテ置カナケレバナラスト必要ガアラウ、納稅ヲ制限シタノモ、サウ云フ趣意カラ出テ居ルノデアラウガ、若シ國民ノ智能ガ啓發セラレテ、政治ノ判斷能力ガ十分ニ出來タナラバ、ソレナラバ最早サウ云フ納稅ナドト云フ標準ヲ設ケテ、サウ云フコトデ目安ヲ付ケテ選舉權ノ有無ヲ定ムルノハ宜クナイ、能力ガアル以上、之ニ與ヘテ宜シイ、而シテ今日ノ日本ノ國民ハ二十五年以上ニデモナルヤウナ男子ハ、大體ハ皆政治上ノ判斷能力ガ出來テ居ルト見ラル、狀態ニナッテ居ル、故ニ之ニハ選舉權ヲ與ヘテ宜シイト云フノガ根本デ、今回ノ法律ハ提出セラレテ居ルノデアリマシテ、自由平等論デ此改正案ガ提出セラレテ居ル譯デハナイノデアリマス、ソレカラ其次ニハ、市町村ノ公民權ヲ有ッテ居ル者ニ選舉權ヲ與ヘル位ナ所

ガ相當デハナイカト思フ、斯ウ云フ御尋デアリマシタ、是ハ副島伯爵モ其御論デアリマシテ、現ニサウシタ方宜クナイカト云フ御質問デアリマシタカラ、私ハ同ジク日本國民デアリマスナラバ、サウシテ政治能力ヲ皆持ツヤウニナツテ居リマスナラバ、ソレハ總テニ與ヘタ方ガ相當デアツテ、市町村ノ公民權ヲ有ツテ居ル者ノミニ止メルト云フコトデハ理由ガ乏シイヤウニ思フト云フコトヲ申上ゲマシタガ、矢張り矢吹男爵ニ向ツテモ左様申上ゲナケレバナラスノデアリマス、市町村ノ公民權ニ付テ今日ハ市町村ノ稅ヲ納メテ居ルコトガ條件ニナツテ居リマス、市町村デスラモサウナツテ居ルノニ、國ノ權利ヲ與ヘル時ニソレヨリモ廣ク與ヘルノハイカスデヤナイカト云フヤウナ御論デアリマス、勿論解釋デ……勿論ノ論理デ御論ニナツタヤウデアリマス、私共ハサウハ考ヘテ居リマセヌノデ、市町村ノ公民權モ今ヨリ或ハ擴張スル必要ガアルカモ知レマセヌ、是ハ市町村ノ自治制ノ上デ考慮スル、是ヨリモモット擴張スルガ宜シイカ、茲ニ止メテ置クガ宜シイカト云フコトヲ、大イニ考ヘナケレバナラスト思ヒマス、今後之ニ付テハ十分ニ研究スル積リデアリマスガ、假ニ市町村ノ公民權ハ現在ノ通りガ宜イトシタ時ニ、ソレナラバ勿論ドウ云フ論理デ衆議院議員ノ選舉權ハ其以內ニ置クノガ宜イカ、私ハサウ思ヒマセヌ、國政ニ付テノ參與ニ付テハ一般國民ニ……之ヲ參與セシメテモ市町村ノ自治ニ對シテハ税金ヲ納メテ居ルトカ、或ハソコニ居住シテ居ルトカ、何等カ一家ヲ持ツテ居ルトカ云フヤウナ工合ニ、市町村トノ關係ガ稍、多イト云フヤウナ土臺ノアル者ニ公民權ヲヤル方宜イト云フ議論ガ立ツノデアリマス、私ハソレデアリマスカラ、ドコマデモ市町村ノ公民權ハ納稅ヲ條件ニセナケレバナラストハ申シマセヌ、他日ハ是ハ自治制ノ關係カラ改正スル必要アルト云フコトデ提案ヲセナケレバナラス必要ガアルカモ知レマセヌケレドモ、假ニ現在ノ通りデアツテモ市町村ノ公民權ハ、自治制ノ關係カラ考ヘテ如何ナル條件ヲ付ケナケレバナラスカト云フコトヲ顧慮セナケレバナリマセヌ、之ニ反シテ國政ニ參與スル者ハ、大體、立憲政治ニ於テハ國民ト共ニ政治ヲ爲サセル御趣旨アルノデアリマスカラ、政治能力ノアリマスルモノニハ權利ヲ與フルト云フノデ、市町村ノ公民權ガ限定セラレテ居ツテモ、衆議院議員選舉人ニ對シテハ選舉權ハソレヨリモ擴張スルノガ……シテモ一向差支ナク、現在、政治能力ガ發達シテ居ルナラバ擴張スルノガ當然デアラウト斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、其次ニハ普通選舉ノ制度ヲ實行スルト家族

制度ト矛盾ヲスルコトガ起ラスカ、今日、法制審議會ニ於テハ日本ノ家族制度ヲ以テ良風美俗ナリトシテ、刑法ナリ民法ヲ成ルベク家族制度のニ改正セムトシテ居ラル、際ニ、普通選舉ヲ實行スルコトハ之ト矛盾シヤセヌカト云フヤウニ御考ヘニナツテ御質問ガアツタヤウデゴザイマス、民法刑法ノ改正ニ付テ如何ニスルノガ宜イカト云フ事柄ニ付テハ、條文ガ出來マセヌト云フト、私ハ必シモドウ改正スル方宜イト云フコトハ言ヒ得ヌト思ヒマス、同ジク家族制度ヲ維持スルニシテモ、民法刑法ノ改正ニ付テハ餘程顧慮セナケレバナラスト思ヒマス、其點ハ假ニ茲ハ留保シテ置キマスガ、家族制度ヲ日本デ維持セナケレバナラスト云フ事柄ニ付キマシテハ私ハ矢張り其考デアリマス、日本ノ家族制度ナルモノハ、ドコマデモ之ヲ維持シテ行クノガ相當デアルト云フ考ニ於テハ大體矢吹男爵等ト其意見ヲ異ニスルモノデナイノデゴザイマス、而シテ今回ノ衆議院議員ノ選舉權ヲ家族ニマデ與ヘタカラト云ウテ、家族制度ニ向ツテ矛盾ヲスルコトハ全然ナイト思ヒマス、今日ノ選舉法ニ於テモ家族ニ向ツテモ選舉權ガ與ヘテアルノデアリマス、現ニ現行法ニ於テモ家族ニ選舉權ヲ與ヘテアリマス、而シテ別ニソレガ爲ニ家族ノ破壊ニナルヤウナ虞レガアリトハ認メラレスノデアリマス、勿論、今回ハ選舉權ガ擴張イタサレマスルカラ、家族ノ權利ヲ持ツ者ガ殖エルコトハ殖エマス、ソレハ唯、數ノ増減デアリマスガ、今日マデ家族ニ權利ガアツテ、戸主ト家族トガ權利ヲ行フコトニナツテモ、別ニ家族制度ノ破壊ニナルコトガナイ以上ハ、選舉權ガ擴張セラレタカラ、ソレデ家族制度ガ破壊セララル、ト云フヤウニ私ハ考ヘル必要ハナイト考ヘマス、曾テ斯ウ云フ場合モ想像セナケレバナリマセヌ、私ハ是ハ十分學識ノアル大家ニ伺ツタ說デアリマスガ、明治六年頃、徵兵令ノ出マシタ當初ニ於テハ、戸主ハ兵役ニ就ク義務ガナカッタデアツテ、徵兵ニ依ツテ徵募セラル、モノハ次男以下、家族ノ中ノ、シカモ長男モ義務ガナカッタ、戸主ト長男ハ義務ガナクテ、次男以下ガ義務ガアツタト云フ時代ガアル、サウ云フ時ニハ戸主デアレバ兵役ノ義務ハナイガ、家族ニハアルト云フコトニナリマスト、此家族ト云フ狀態ヲ戸主ト云フ狀態ニ直シテ、ソレデ兵役ニ就カヌヤウニシタ試ミガ大變アツテ、ソレガ爲ニ無暗ニ分家ト云フモノガ出來タノデアリマス、或ハ女戸主ガアルト云フト入夫婚姻ヲスル、甚シキハ年齡ノ甚ダ老イタ女戸主ノ所ヘ、洵ニ、若入夫ガ出來ルト云フヤウナ、不倫ノコトガ生ジタト云フコトヲ聞イテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ戸主ト家族トノ

權利義務ヲ異ニシテ置クト云フト、サウ云フヤウナコトモ起ルノデアリマス、今日ハ徵兵令ガ改正セラレテ、戸主デアラウガ、家族デアラウガ、共ニ義務ガアリマスカラ、サウ云フ事ハ無イコトニナリマシタガ、若シ家長ニダケハ權利ヲ與ヘル、世帯主ニダケハ權利ヲ與ヘル、併ナガラ家族ニハ、權利ヲ與ヘスト云フヤウニスレバ、不必要ナ分家ヲスルト云フヤウナ事ガ起ル、場合ニ依レバ唯今申上ゲル不倫ナ入夫婚姻ト云フヤウナ事ガ起ラヌトモ限ラヌト云フヤウナコトニナリマスレバ、却テソレカラシテ家族制度ノ上ニハ困ッタ現象ガ生ゼストモ限ラヌデアリマス、私ハ悉クサウナルトハ申シマセヌケレドモ、曾テ徵兵令ニ於テ左様ナル事ガアッタコトヲ考ヘマスト云フト、若シ家長ノミニ權利ヲ與ヘテ、家族ニ權利ヲ與ヘスト云フト、又サウ云フヤウナ弊ガ起ラヌトモ限ラヌデアリマス、又斯ウ云フコトノ結果モ起リマス、戸主ト共ニ居ル家族ガ立派ナ會社ノ役員、或ハ従事員トカ、役人ニナルトカ云フ、妻子モアル位ノ立派ナ人デアッテモ、若シ戸主デナケレバ權利ガ無イ、世帯主デナケレバ權利ガ無イト言ヒマスレバ、サウ云フ人ハ選舉權ヲ持タヌデアリマス、ソレガ何カ任地デモ變ハッテ外ヘ行クト云フト、ソレハ選舉權ヲ持ツ、同ジダケノ状態ヲ世ノ中ニ於テハ有ッテ居リナガラ、親ト家ヲ同ジクシテ居ル時ニハ權利ガ無イガ、任地ガ變ハッテ何處カヘ行ケバ權利ガアル、サウ云フコトデハ、如何ニモ理窟ガナイト思フデアリマス、ソレデ政府ハ戸主デアルト、世帯主デアルト、家族デアルト、世帯主ノ許ニアルトハ問ハズ、苟モ政治能力ノ發達シテ、十分政治ノ事ガ判斷ノ出來ル者ニハ、選舉權ヲ持タシムルト云フコトニ致シタデアリマシテ、ソレハ決シテ家族制度ト矛盾スルモノデモ、何デモナイト思フデアリマス、治安維持法ヲ政府ガ議會ニ提出シタ、治安維持法ヲ出サナケレバナラヌヤウナ時ニ普通選舉ヲ實行スルト云フコトハ又聊カ矛盾デハナイカト云フヤウナ御質問デアリマシタ、治安維持法ト云フノハ、誠ニ少數ナ部分デアリマセウケレドモ、遺憾ナガラ日本ノ現在ニ於テ一部ノ國民ノ中ニ不健全ナル思想ニ因ハレテ危險ナル行動ヲセムトスル者ガアリマス、是ハ普通選舉ヲ行ヒマシテモ、行ヒマセヌデモ、必ズ取締ヲセヌケレバナラヌモノデアアルデアリマス、ソレデ治安維持法ト云フモノハ議會ニ提出ヲ致シタデアリマス、普通選舉ヲ行フニ付テ治安維持法ヲ出シタト云フコトハ、全然左様ナ考デハアリマセヌ、普通選舉ヲ行ッタナラバ、何デ國民ノ思想ガ危險ニナルト云フコトガアルノデアリマセウ、若

シ國民ノ思想ガ危險デアラナラバ、普通選舉ヲ行ヒマセヌデモ危險デアアルデアリマス、普通選舉ヲ行ヒマスト、行ヒマセヌトハ、國民ノ思想ノ危險デアアルヤ否ヤト云フコトハ關係ガ無イデアリマス、今日例ヘバ政府ガ衆議院議員ノ選舉法ノ改正案ヲ提出イタシマセヌデモ、目下ノ如ク不健全ナル思想ヲ懷イテ居ル者ガ、誠ニ少數デアリマシテモ、一部アリマスカラバ、國家ノ治安ノ上ニ甚シク害ガアルノデアリマスカラ、ドウシテモ治安維持法ナルモノハ制定シナケレバナラヌト思ウテ居ルノデアリマス、此意味ニ於テ政府ハ治安維持法ヲ提出イタシタデアリマシテ、普通選舉ヲ行フ、治安維持法ヲ提出スル、何等其間ニ牴觸ガアルモノトハ思ハヌデアリマス、其次ニハ、今日ハ人心ガ輕佻浮薄デアアル、輕佻浮薄デアアル故ニ、色々危險ナル思想ガ生ズル、左様ナ時ニ斯ウ云フ法律案ヲ……普通選舉ノ案ヲ提出スル、而モ其普通選舉ノ案ト云フモノハ、憲政會、革新俱樂部モ、何カ自分ノ活路ヲ求メルガ爲ニ拊ヘル、思ヒ付イタ計畫デアアル、政友會ハ最近マデ反對シテ居ッテ、ツイ一年バカリニ俄ニ之ニ賛成シタ政黨デアアル、サウ云フヤウナ法律案ヲ出スト云フコトハ、矢張り其行動ガ輕佻浮薄デアッテ、サウ云フコトハ宜クナイト思フ、斯ウ云フヤウナ御論ニ依ッテ、今日ノ場合ニ此案ヲ提出スルノガ宜クナイト云フ御質問ノヤウデアリマス、憲政會ガ此問題ニ熟慮ヲ致シマシタ結果、結局茲ニ行カヌケレバナラヌト考ヘマシタノハ、何モ自ラ活キル路ヲ求メテヤッタト云フ譯デモ何デアリマセヌ、國民ノ間ニサウ云フヤウニナッテ來タノデアアル、智能ガ十分發達サレテ居リ、サウシテソレヲ國民ガ自覺シテ、此權利ヲ與ヘテ居ラナイト云フコトガ、國民ガ一方ニ於テ不平不滿ヲ醗酵セムトスル虞レガアルト云フヤウナ情勢ニマデ相成ッテ、サウ云フ所ニ立ッテ政治家トシテ其間ニドウ問題ヲ解決スルカ、何時マデモ普通選舉ヲ行ハズトシテ置イテ、能クサウ云フ間ニ處シテ行クコトガ出來ルカドウカ、ソレヲ十分熟慮ヲ致シマシテ、國家ノ爲ニ何レノ途ニ出ヅル方ガ相當デアアルカト言ッテ、結局ソコマデニ自覺ヲシテ居ル以上ハ、之ヲ喰ヒ止メタナラバ、却ッテ害ノ方ガ甚シクナルカラ、寧ロコ、ハ選舉權ヲ與ヘルト云フ方法ニ依ッテ、自覺シタル國民ヲシテ不平ヲ起サシメナイ方ガ宜シイト云フ考ニナッテ、ソコデ普通選舉案ヲ提出スルコトニ致シタデアリマス、決シテ黨派自ラノ勢力ヲ維持スルトカ、自ラ活キル路ヲ求メテ、斯様ニシタト云フノデモ何デモアリマセヌ、政友會ニ付テハ、私ハ代辯スルコトハ致シマセヌ、併ナガラ

政友會モ一時ハ外ノ考ヲ有ツテ居ラレテモ、國民ノ政治能力ノ狀態、國民ノ之ニ對スル自覺ノ狀態、ソレ等ヲ考ヘラレテ、今日ハ普通選舉ヲ行ハヌケレバナラヌト決心セラレタノデアルト存ジマスノデ、之ヲ以テ輕佻浮薄デアアルナドト云フ御批評ヲ戴クノハ、私ハ甚ダ殘念ナルコトデアルト思フノデアリマス、此案ガ樞密院ニ於テ修正セラレ、衆議院ニ於テ修正セラレ、何遍モ修正セラレタ、ソレヲ政府ガ出ス、如何ニモ輕佻浮薄デアアル、斯ウ云フヤウニ仰セニナル、此點ニ付テハ午前中ニ板倉子爵ノ御質問ニ對シテ私ハ御答ヲ申上ゲタノデアリマスガ、普通選舉ハ……此選舉法ノ改正ノ要點ハ、四ツカ五ツバカリ舉ゲテ申上ゲマシタガ、所謂普通選舉ト云フノハ、選舉權ノ選舉資格ノ中カラ納稅ノ條件ヲ撤廢スルト云フコトニアルノデアリマス、之ニ手ガ著カヌケレバ、普通選舉法案ノ骨子ト云フモノハ決シテ傷ツケラレルモノデアリマセヌ、ソコデ色々ナ機關ノ審議ヲ經テ來マス間ニ、審議ヲ經マス以上ハ、ソコニ意見ガアルト云フコトハ已ムヲ得ナイノデアリマス、而シテ其審議ノ結果、現ハレタ修正ノ考ガ、政府ノ根本ニ於テ考ヘテ居ル骨子ヲ全ウスルコトガ出來ルナラバ、政治上ニハ幾ラカ他人ノ說ヲ容レテ、サウシテ圓滿ニ問題ノ解決セラレルヤウニスルト云フコトガ、是ガ或場合ニ於テ大切デアアルト思ヒマス、今日ハ國民ハ自覺ヲシテ居ル、國民ハ普通選舉ヲ要求シテ居ル、一日モ速ニ此問題ヲ解決セスト云フト、何時マデモ國內ノ騒ギガ止マラスト云フヤウナ情勢ノ時ニ、骨子ニ觸レズシテ、大體圓滿ニ問題ノ解決セラル、途ガアリマシナラバ、聊カノ修正ヲ容レタカラト云フテ、ソレデ決シテ政府ノ自信ガナイモノデアアルナドト云フコトノ言ハレル譯合ノモノデハ、私ハナカラウト存ジマス、而シテ樞密院ノ修正ノ理由ニモ、何處ヲ修正セラレテ居ルト云フコトヲ申上ゲルコトガ出來ヌノハ、官制ノ上デ已ムヲ得ナイコトデアリマスガ、衆議院ノ修正ナルモノハ樞密院デ修正セラレタ箇條ヲ、政府ノ原案ノ方ヘ戻ス方ノ修正デアアルト云フコトマデハ、申上ゲテ宜シイト思フノデアリマス、ソレデアリマスカラ樞密院デモイデラレ之ニ屈服スル、衆議院デモイデラレ之ニ屈服シタト云フヤウニ仰セラレテ居リマスケレドモ、大體ニ於テハ樞密院ト衆議院トノ修正ヲ經テ、政府ノ初メノ案ノ大體ノ骨子ヲ助クルヤウナ工合ニナツテ此法律案ハ提出セラレテ居ルノデアリマス、決シテ根本ニ觸レタ改正ニ屈服シテ、如何ニモ自信ノ無イヤウナ法案ヲ提出シタト云フノデアリマス、普通選舉法ヲ提出スル以上ハ國民ノ政

治能力ヲ増加スルヤウナ用意ヲシテ掛ラヌケレバナラヌ、ソレガ爲ニハ教育上ノ施設、社會教育、其他サウ云フコトニ付テ政府ハ何等カ施設ヲスルト云フ用意ヲシテ居ルカ、國民ノ全體ノ狀態ヲ向上セシメル爲ニ學校ノ教育ハ固ヨリノコト、社會教育ヲ進メテ行カヌケレバナラヌト云フコトハ勿論デアリマス、之ニ付テハ普通選舉法ガ行ハレマスト否トニ拘ラズ、出來ルダケ政府ハ施設ヲヤラヌケレバナリマセヌ、普通選舉ノ法律案ヲ執行スルガ爲ニ斯ウ斯ウ云フコトヲ致シマスト云フヤウニ、關聯シテ申上ゲルコトハアリマセヌ、併シ全體ニ於テ國民ノ智能ヲ啓發スルガ爲ニ學校ノ教育並ニ學校外ノ教育、社會教育等ヲ努メテ行クト云フコトニ付テハ、政府ハドコマデモ努力スル考デアアル、新聞紙ニ對シテ今日ノ通りデ置クカ否ヤ、新聞紙ノ議論ガ放任シテアツテ、何カ社會ノ秩序デモ案ルヤウナコトヲ政府ハ默ツテ居ルカノ如キ語氣ヲ以テ、新聞紙ニ對シテ普通選舉ガ行ハレテモ尙ホ現在ノ通りニシテ置クヤ否ヤト云フ御問デアリマシタ、新聞紙ノ取締リハ、普通選舉ガ行ハレマシテモ、行ハレヌデモ同様デアルト思ヒマス、今日ニ於テモ治安ヲ妨害スルヤウナ新聞紙ノ議論、所謂安寧秩序ヲ害スル事柄ハ政府ハ嚴重ニ取締ツテ居ルノデアリマス、其見方ニ至ツテハ或ハ矢吹男爵ト政府ノ見ル所ト異ナツテ居ル、此事實ハ安寧秩序ニ害ガアルヤ否ヤ、風俗ニ害ガアルヤ否ヤト云フコトノ見方ハドウナルカハ存ジマセヌガ、政府ハ嚴重ニ是ガ取締リヲシテ居ル積リデアリマス、隨分新聞紙ノ發賣ヲ止メタモノモアリマス、或ハ發行ヲ止メタモノモアリマス、外部ニハ現ハレテ居ラナイカモ知レマセヌガ、可ナリ新聞雜誌ニ對シテハ相當ノ取締ヲ立テ、居ルノデアリマス、此點ニ付テハ普通選舉法ガ行ハレタカラ特ニソレヲ格段ニ嚴重ニスルトカ、普通選舉法ガ行ハレヌケレバ放任シテ置クトカ云フ考ハアリマセヌ、何レニシテモ新聞紙ニ於テ安寧秩序ヲ害スルヤウナ記事ガアリマスケレバ、十分ナル取締ヲスル考デアリマス、普通選舉法實施後ニ於ケル經濟上ノ影響如何、今日ハ財界不況デアツテ、國民全體ガ大ナル努力ヲシテ、是ガ恢復ヲ圖ラナケレバナラヌト思フガ、普通選舉ヲ實施シタ後ニ於ケル經濟上ノ影響ニ付テ考慮スルヤ否ヤ、今日ノ財界ノ不況ハ私ハ改メテ申上ゲル迄モアリマセヌ、戰時中ノ好景氣ノ時代ニ、餘リ計畫ノ熟セナイ事業ヲ澤山起シタ者ガ經濟界ノ反動ニ依ツテ見込ミ通りニ事業ヲ進ムルコトガ出來ヌ、ソレガ爲ニ大イニ整理ヲ要スル關係ニナツテ、事業ヲ中止シテ居ルモノ整理ヲシテ居ルモノガアルト云フヤウナ狀態、竝ニ

外國貿易が逆調ニナツテ、ソレガ爲ニ日本ノ正貨が外國ニ流出スル、其間、金貨ノ輸出が自由ニナイガ爲ニ、爲替相場ニ影響ヲ來シテ居ルト云フヤウナ種種ナ關係カラ、今日ノ狀態ヲ呈シテ居ルノデアリマス、是ハ私ハ國民ニ選舉權ガ制限セラレテ居ルト否トニ依ッテ變ハツテ居ル狀態トハ思ヒマセヌノデアリマス、選舉權ガ擴張セラレタカラ財界ノ恢復ガムヅカシクスル、選舉權ガ制限セラレ、バ財界ノ恢復ガ速カデアルト云フヤウナ譯ニハ參リマセヌ、此目下ノ財界ノ情況ヲ恢復スル爲ニハ今日選舉權ヲ有ツテ居リマス者モ、有ツテ居ナイ者モ共ニ十分ナ努力ヲシテ此難關ヲ經過セナケレバナリマセヌノデ、之ニ付テ選舉權ヲ有タシメルト云フト財界ノ恢復ヲ遅カラシムルト云フヤウナ虞レノアル問題デモ何デモナイト思ヒマス、或ハ選舉權ヲ有タシメタナラバ同盟罷工ノヤウナコトヲヤルカモ知レヌ、サウ云フヤウナコトヲヤレバ經濟界ノ恢復ガ遅クナルト云フヤウニ考ヘテ居ラル、御方モアルカ知リマセヌガ、同盟罷工ヲ起サムトスレバ選舉權ガ無クテモ今日幾ラデモ同盟罷工ガ出來ルノデアリマス、之ヲ爲サナイ所以ノモノハ、勞働者ガ能ク今日ノ財界ノ情況ヲ理解シテ居リマスノデ、今日ノ經濟狀態ニ於テ同盟罷工ナドヲシテ益、經濟界ヲ惡クスルト云フヤウナコトデハ、自己ノ職ヲ得ル上ニ於テモ善イ途デナイト云フコトハ能ク存ジテ居リマスカラ、彼等モ今日ハ餘程注意ヲシテ居ルコトト思フノデアリマス、其注意ヲシ、能ク理解シテ居ルコトカラシテ、彼等ニ權利ヲ有タシメタカラ、有タシメナイカラト云フコトニ依ッテ變ハルコトハナイト思ヒマスカラ、普通選舉法ヲ實施シタ爲ニ、經濟上ノ情況ガ、影響ガ惡クナルト云フヤウナコトハ私ハ考ヘテ居ラナイノデアリマス、最後ノ御質問ハ農工商ノ關係デアリマス、農工商ハ併進セシメル考デアルカ、或ハ商工ヲ本位ニシテ農業ヲ犠牲ニスル考デアルカ、ソレニ關シテ普通選舉法ヲ行フニ付テハ其何レノ場合ニ於テモ如何ナル影響ヲ蒙ルノデアルカ、斯ウ云フ御質問ノヤウデアリマス、而シテ日本ハ是マデ自給自足ノ政策ヲ執ツテ居ッタガ、モウ自給自足ノ政策ハ執ル譯ニ行カスカラ、農工商ノ間デ何カラ犠牲ニシテ、何カラ本位ニセナケレバナラヌト云フ言葉ガ日本ニ盛ニ行ハレマシタ今カラ七八年前ニ於テ、私ハ當時カラサウ申シテ居リマシタガ、總テノ事ガ自給自足ガ出來ルナラバ是ヨリ結構ナコトハアリマセヌ、併シ自給自足ガ出來ナイノニ、自給自足ヲ叫ンデ居ッテ、其方針ヲ執ッテ行クト云フコトニシタナラバ、却テ國事ヲ過

マルト思フテ居ルノデアリマス、私ハ出來ルダケノ自給自足ヲヤルガ宜シイト思ヒマスガ、日本ノ如キ領土ノ狹イ所デ總テノ物ヲ自給自足ヲシヤウト言ッタ所ガ、ソレハ到底出來ヌト思ヒマス、食糧ニ付テ自給自足ヲシヤウ、其代リ衣服ノ原料ニナル棉花羊毛ニ付テモ自給自足ヲシヤウ、又鐵其他機械ノ原料ニナル礦物ニ付テモ自給自足ヲシヤウ、サウ總テノコトハ私ハ出來ヌト思ヒマス、ソレデアリマスカラ自給自足ト云フ言葉ヲ單獨ニ離シテ言ヘバ、善イ言葉デアリマスケレドモ、日本ト云フ所ニ於テ總テノ物ヲ自給自足ヲシテ行カウト云フ事柄ハ言フベクシテ行フベカラザルコトデアルト思ヒマス、當時、此言葉ノ流行リマシタ時ニモ私ハ貴族院議員トシテ此壇上デ、サウ云フコトヲ言ウテ見た所ガ到底行ハル、事デナイト云フ議論ヲ致シマシタガ、今日モ私ハサウ信ジテ居ルノデアリマス、併シソレナラバト云ツテ矢吹男爵ノ仰セニナルヤウニ、農工商ノ何レカラ犠牲ニシテ、何レカラ本位ニスルヤウニシテ日本ノ政策ヲ進メテ行ク考カト云フ御尋ナラバ、私ハ左様ニハ考ヘマセヌ、矢張り農工商ハ共ニ進メテ行カナケレバナラヌト思フノデアリマス、サウヤルコトガ自給自足ニナル譯デハアリマセヌ、自給自足ハ別ナ事デアツテ、農工商共ニ進マナケレバナラヌト云フ事ト、自給自足ト云フ事柄ハ別ノ事柄デアラウト思ヒマス、而シテ商工ニ付テ、外國カラ原料ヲ取ツテ日本デ加工シテ之ヲ外國ニ出シテ、其ノ間ノ利益ヲ儲ケルト云フヤウナ政策ヲ執ラヌケレバ日本ニ於テイケナイト云フ事柄ニ付テハ、私ハ矢張り左様ニ信ジテ居リマスケレドモ、ソレデアアルカラト云ツテ、農業ヲ犠牲ニシテ其目的ヲ達スルト云フ迄ニ考ヘナイノデアリマス、何ト云ツテモ日本ニ於テハ農業者ガ國民ノ中、大多數ヲ占メテ居ルノデアリマス、大多數ノ生産者ニシテ同時ニ大多數ノ消費者デアリマス、其者ノ狀態ヲ考慮セズシテ日本ノ經濟ヲ進メテ行クコトハ出來ヌト考ヘマスカラ、農ヲ犠牲ニシテ商工ヲ進メルト云フコトハ、是ハ私共考ヘナイノデアリマス、矢張り農工商共ニ進メテ行ク方針ヲ執ッテ行カナケレバナラヌ、而シテ其事ガ普通選舉ヲ實施スル上ニ於テ何カ考慮シナケレバナラヌカ、私ハ普通選舉ヲ實施スル上ニ於テ何カ考慮シナケレバナラヌトハ別ニ矛盾スルコトガアルトハ存ジマセヌカラ、ソレデ特ニ考慮シナケレバナラヌコトハナイト思ヒマス、但シ今日マデ選舉權ノ無カッタ、多クハ無カッタ存ジマス、全然無イトハ申シマセヌガ、多クハ無カッタ所ノ小作人ト云フヤウナ者、或ハ極ク小サイ農民モ此度、權利ヲ得ルコトニナル、又

商工業者ニシテ、小サイ商工業者ニシテ此度利權ヲ得ルヤウニナリ、ソレト共ニ勞働者モ權利ヲ得ルヤウニナル、左様ニナリマスレバ、權利ヲ得タ人間ガ其方面ニ利害關係ヲ持ツコトニ付テ成ルベク進ンデ行カウト云フ主張ヲ致スヤウニナルコトハ、其傾向ノアルコトハ免レナイト云フコトハ先程申上ゲマシタ、併シソレガ日本國ヲ拵ヘテ居ル狀態デアリマス以上ハ、一部ノ者ノ考ハマルデ實現セシムルコトノ出來ヌヤウニシテ進メテ行ケバ宜シイカ、總テノ者ノ考ヲ言ヒ表ハサシメ、サウシテ其結果ニ依ル所ノ農工商ノ併進ヲサセテ行ク方ガ宜シイカト云ヘバ、矢張り總テ國家ノ意志ヲ表明セシメテ、ソレニ基イタル國利民福デ農工商ヲ進メテ行ク方ガ相當デアルト考ヘテ居ルノデアリマス、大體ニ於テ御質問ハ左様ナ點デアッタヤウニ存ジマスカラ是ダケ御答申上ゲテ置キマス

〔男爵矢吹省三君發言ノ許可ヲ求ム〕

○議長(公爵徳川家達君) 矢吹男爵ハマダ御質疑ヲ御希望デゴザイマス……御相談イタシタウゴザイマスガ、本日ハ最早六時ニナリマシタカラ、次回ノ會議ノ時ニ御譲リニナツテハ如何デゴザイマセウカ

○男爵矢吹省三君 承知イタシマシタ、左様イタシマス

○議長(公爵徳川家達君) 御異存ゴザイマセスカ……此際、本院規則第五十八條ニ依リマシテ、本日ノ議事ハ延會イタシマス、次回ノ會議ハ明日午前十時ヨリ開會イタシマス、議事日程ハ本日ノ通リト御承知ヲ請ヒマス、本日ハ是ニテ散會イタシマス

午後六時四分散會

